

2023年度

---

# 第6学年 授業計画表

〔シラバス〕



鶴見大学歯学部

# 〔 シラバス 〕

## 第 6 学年 目 次

授業科目

ページ

---

臨床実習Ⅱ ..... 1

総合歯科医学Ⅵ ..... 23

# 臨床実習Ⅱ

学 年	科目分類	前期・後期	単 位
第6学年	必修	前期	2単位

## 一般目標

診療参加型臨床実習を通して基本的な診察・臨床技能について自験を通じて習得した後、その知識や技能を振り返り、歯科医師として必要な専門知識に基づいた問題解決能力を身に付ける。

## 評価方法

授業の出席状況、受講態度を考慮した上で、客観試験の結果をもとに総合的に評価する。

## 評価基準

出席状況、受講態度、客観試験の結果をもとに総合評価として基準を満たしたものを合格とする。

基準は、本科目開始時に学生に公表する。

# 臨床実習Ⅱ

## ■ 授業日程

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
1	口内 ①	上野繭美	総論 精神疾患	精神疾患の 概念	精神疾患 認知症 統合失調症 うつ病	精神疾患と歯科治療 時の対応を説明でき る。	シラバスを確認し、講義内 容に関わる範囲を参考書を もとに予習する。授業の理 解を深めるため講義資料と 参考書で復習する。 コアカリ： E-5-3)-①～⑥ 国試出題基準： 必-6-イ-r 総-V-6-ア-f 総-VI-1-エ-g 各Ⅲ-4-シ-a～f
2	口内 ②	上野繭美	各論 精神疾患の 病態・診 断・治療	口腔領域に 関連して現 れる精神・ 心身医学的 病態	a 気分(感情) 障害 b 不安障害 c 重度スト レス反応 および適応 障害 d 身体表現性 障害(身体 症状症) e 心身症 f 歯科心身症	うつ病、双極性障害、 パニック障害、心的 外傷後ストレス関連 障害(PTSD)、t適 応障害、不安障害、 身体表現性障害、心 身症、口腔灼熱症候 群(burning mouth syndrome)、口腔セ ネストパチー、咬合 違和感症候群、歯科 恐怖症を説明できる。  一般心理療法、カウ ンセリング、自律訓 練法、行動療法、認 知行動療法を説明で きる。	シラバスを確認し、講義内 容に関わる範囲を参考書を もとに予習する。授業の理 解を深めるため講義資料と 参考書で復習する。 コアカリ： E-5-3)-①～⑥ 国試出題基準： 各Ⅲ-4-シ-a～f
3	口解 ①	浅田由佳	1 人体の 正常構造 と機能	1 A 全身・ 口腔の構 造・機能	1 Aa 器官系 (骨格、筋系、 消化器系、 呼吸器系、 循環器系、 泌尿器系、 生殖器系、 内分泌系、 神経系、 感覚器系)	1 Aa ①器官系につ いて説明する。	講義の理解を図るため、あ らかじめ教科書や参考書を 熟読して臨むこと。 ノート等を見直して、理解 が不十分な場合は教科書、 参考書やアトラス等を参照 し補うこと。 C-3-4)-(-1)①、②、 C-3-4)-(-2)①、 C-3-4)-(-3)①、③、 C-3-4)-(-4)①②⑤⑥、 C-3-4)-(-5)①～④、 C-3-4)-(-6)①②、 C-3-4)-(-7)①～③、 C-3-4)-(-8)①②、 C-3-4)-(-9)①、 C-3-4)-(-10)①、 C-3-4)-(-11)① 必5アe、総Ⅱ1イab、 総Ⅱ1ウab、 総Ⅱ1エab、総Ⅱ1オa、 総Ⅱ1カac、 総Ⅱ1キbcd、総Ⅱ1クa

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
4	口解 ②	石川美佐緒	1 歯と歯周組織の常態と疾患	1A 歯と歯周組織の発生及び構造と機能	1Aa 歯と歯周組織の発生	1Aa① 歯と歯周組織の発生について説明する。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直して、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-2)①、E-2-2)①、E-2-3)①、E-3-1)①④～⑥ 必5-ア-e、必6-ウ-a、b、 総Ⅱ5-イ-a、b、 総Ⅱ9-イ-a～d
5	修復 ①	山本雄嗣	1 歯の硬組織疾患の治療	1A. 保存修復学概論	1Aa. 歯の構造  1Ab. 検査・診断	1Aa① エナメル質の構造を説明できる。 1Aa② 象牙質-歯髄複合体の構造を説明できる。 1Ab① 歯の硬組織疾患の検査法と診断を説明できる。	「第五版 保存修復学21」第1章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-3-1)④、 E-3-3)-(1)①② 必7イb、必9オa、 総Ⅵ1アa
6	修復 ②	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1B. 齲蝕、齲蝕以外の硬組織疾患	1Ba. 歯の硬組織疾患の特徴と病因	1Ba① 齲蝕の病因と病態を説明できる。 1Ba② 齲蝕以外の硬組織疾患の病因と病態を説明できる。	「第五版 保存修復学21」第2～3章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-3-2)①、E-3-3)-(1)① 必6イa、必7イb、 総Ⅲ2アb、総Ⅳ2ア、 各Ⅱ1アa～f
7	生理 ①	本谷安正	生理学全般 A.細胞、血液・体液 B.神経系 C.内分泌系 D.循環・呼吸 E.感覚 F.消化機能・排泄系・加齢 G.口腔機能	生理学全般	生理学全般	現時点での国家試験に向けた学習習得状況を把握することを目標とする。	コアカリ C-2-1), 3), 4)C-3-4)-(1) (3)～(10)E-1-3)-3 E-2-2)-568～10 E-2-3)-2 E-5-1)-13 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必6-エ-a～c必10-Ⅰ-a 必10-オ-c～g<総論> 総Ⅱ-1-ア～ク 総Ⅱ-6-ア～オ 総Ⅱ-8-ウ、エ 総Ⅲ-1-ケ-a、b 総Ⅳ-1-キ、ク 総Ⅴ-1-ア、イ 総Ⅴ-4-ア、イ 総Ⅴ-5-ア-b

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
8	生理 ②	大貫芳樹	細胞、 血液・体液	A. 細胞  B. 血液・体 液	Aa. 細胞膜  Ab. 膜タンパ ク  Ac. 細胞小器 官  Ba. 血液  Bb. 体液	A① 細胞膜について 説明する。 A② 膜タンパクの機 能について説明す る。 A③ 細胞小器官の働 きについて説明す る。 B① 血球の生成と処 理について説明す る。 B② 血液の働きにつ いて説明する。 B③ 細胞外液と内液 について説明する。 B④ 体液の移動と脱 水、浮腫について 説明する。	スタディー生理学の予習復 習範囲：p2-32。また、配 布物、ノートを整理し復習 すること。 コアカリ C-2-3)-1～4 C-2-4)-1～3 C-3-4)-(4)-1～7 C-3-4)-(10)-1～3 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e <総論> 総Ⅱ-1-ウ-a,b 総Ⅱ-1-オ-a 総Ⅱ-1-カ-a,b
9	倫理	勝村聖子	1. 医の倫理	1 A. 歴史 1 B. 規範  1 C. 患者 の権利  1 D. イン フォーム ドコンセ ント	1 Ba. 医の倫 理に関 する規 範  1 Bb. 専門職 として の倫理  1 Ca. 患者の 権利	1 Ba① 医の倫理に 関する倫理規範を 説明する  5 Bb① 医療の専門 職としての倫理を 説明する  1 Ca① 医療におけ る患者の権利を説 明する	予定されている講義内容を 1, 3年次の講義資料で予 習し、講義後は資料を参照 に復習すること。  A-1-1)①～⑥、 A-1-2)①～④、 A-4-2)⑥⑦、C-5-7)① 必1-ア-a,b、必1-イ-a,b、 必2-ウ-a,b、
10	部分床 ①	白井麻衣	I 可撤性 部分床義 歯の概念 1. 定義 2. 目的 3. 臨床的意 義 4. 分類	A. 欠損によ る障害 B. 臨床的意 義 C. 特徴 D. 分類		①可撤性部分床義歯 の定義と特徴を説 明する。 ②治療効果と臨床的 意義を説明する。 ③固定性義歯および インプラント義歯 との相違を説明す る。 ④各部構成要素を説 明する。 ⑤各種の分類を説明 する。	「予習」部分床義歯補綴学 講義ノート1, 2, 3, 4, 5章 「復習」 E-3-4)-(2)①～③ 各論Ⅳ1ア～オ、 各論Ⅳ4アb
11	部分床 ②	白井麻衣	5. 構成要素 6. 可撤性支 台装置	E. クラスプ F. アタッチ メント		⑥可撤性支台装置の 構造、機能を説明 する。 ⑦所要条件と設計の 基本を説明する。 ⑧分類と基本的機能 の関係を説明する。 ⑨クラスプ用材料を 説明する。 ⑩アタッチメントの 構造と機能を説明 する。	「予習」部分床義歯補綴学 講義ノート6, 7章 「復習」 E-3-4)-(2)④ 各論Ⅳ4アb

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
12	細菌 ①	大島朋子	感染	A. 総論 B. 感染の概念 C. 感染成立に関わる因子	微生物の分類と構造 感染と発症 感染経路 宿主の感受性 寄生体の病原性 病原微生物	①微生物の基本的事項を説明する。 ②感染と発症の違いを説明する。 ③(感染成立に関わる)宿主側の因子を説明する。 ④感染経路を説明する。 ⑤寄生体の病原性を説明する。 ⑥病原微生物と常在微生物を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C4-1)①~⑤ 国家試験出題基準: 必修4イab、必修6アe、必修9Ie、必修11スb(感染症、免疫疾患)、必修12ア、総論I5アc、総論I7アab、総論II2アab、総論III1キab、総論IV6アi、総論V6アi、総論VI3アe、総論VII1Ic、各論III4ウabc、各論V2Ikm
13	細菌 ②	大島朋子	感染	D. 感染の種類	日和見感染 院内感染 菌交代症 菌血症・敗血症 病巣感染 食中毒(毒素型、感染型) 新興・再興感染症	⑦感染の種類を説明する。 ⑧食中毒の種類を説明する。 ⑨新興・再興感染症を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料(ノート)を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。 モデルコアカリキュラム: C4-1)①~⑤ 国家試験出題基準: 必修4イab、必修6アe、必修9Ie、必修11スb(感染症、免疫疾患)、必修12ア、総論I5アc、総論I7アab、総論II2アab、総論III1キab、総論IV6アi、総論V6アi、総論VI3アe、総論VII1Ic、各論III4ウabc、各論V2Ikm
14	麻酔 ①	阿部佳子	医学史 歯科麻酔学の基礎	麻酔の歴史 歯科麻酔学の基礎知識	歴史・適応 自律神経系 呼吸・循環系 酸塩基平衡 内分泌系	①麻酔に関する歴史を知る ②周術期全身管理に必要な自律神経系の知識を理解する ③周術期全身管理に必要な呼吸・循環系の知識を理解する ④周術期全身管理に必要な酸塩基平衡の知識を理解する ⑤周術期全身管理に必要な内分泌系の知識を理解する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必13ア/必5アe 総II1カbキdクab 総V6アah C-3-4)-(4)①② C-3-4)-(5)①-③ C-3-4)-(8)①② C-3-4)-(9)②

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
15	麻酔 ②	阿部佳子	全身状態評価 術前管理 臨床検査	術前・術後管理の基本 全身管理上問題となる疾患の術前・術後管理 臨床検査	術前全身評価 術前検査 ASA PS分類 その他の分類	①全身状態の術前評価を説明する ②基本的な術前検査を説明する ③ASA PS分類を説明する ④その他の全身状態評価分類を説明する ⑤術前・術後管理の基本を説明する ⑥全身管理上問題となる疾患の術前・術後管理を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必10ウエ/必9エオ/ 必12Sb 総V 6 a-h 総VI 3アa-c, 4アab 総VII 1Eb-l, 4イbd 各III 4スa-l E-1-3)①-⑤ E-1-4)①⑥ E-6)①-③
16	病理 ①	尾曲大輔	1 病因論  2 代謝障害  3 細胞傷害、組織傷害及び萎縮  4 修復と再生  5 循環障害	1 A 内因  1 B 外因  2 A ビタミン欠乏症  3 A 退行性病変  4 A 進行性病変 4 B 肉芽組織、器質化、創傷治癒、再生  5 A 循環障害	1 Aa 一般的素因 1 Ab 個人的素因 1 Ba 栄養性外因 1 Bb 物理的外因 1 Bc 化学的外因 1 Bd 病原性微生物 2 Aa 脂溶性ビタミン欠乏 2 Ab 水溶性ビタミン欠乏 3 Aa 変性 3 Ab 萎縮 3 Ac 壊死 3 Ad アポトーシス 4 Aa 肥大 4 Ab 過形成 4 Ac 化生 4 B 治癒の分類と過程 5 Aa 充血 5 Ab うっ血 5 Ac 虚血 5 Ad 浮腫(水腫) 5 Ae 出血 5 Af 血栓 5 Ag 塞栓 5 Ah 梗塞 5 Ai ショック	1 A① 内因を説明できる。  1 B① 外因を説明できる。  2 A① ビタミン欠乏の種類と症状を列挙できる。  3 A① 細胞傷害と組織傷害を説明できる。 3 A② 変性と関連疾患の病態を説明できる。 3 A③ 疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。 3 A④ 萎縮と仮性肥大を説明できる。 4 A① 肥大と過形成を説明できる。 4 A② 化生を説明できる。 4 B① 修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。 4 B② 創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。 4 B③ 器質化を説明できる。 5 A① 虚血、充血、うっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。 5 A② 出血の原因、種類及び転帰を説明できる。 5 A③ 血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 5 A④ 梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 5 A⑤ 浮腫の原因と転帰を説明できる。 5 A⑥ ショックの原因と種類を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-1)①② C-5-2)①~④ C-5-3)①~⑤ C-5-4)①~⑥ C-5-7)① E-2-4)-(2)① E-2-4)-(10)⑧⑨ E-6① F-1-1)⑦ 必-6-ア-a~c, h 必-6-イ-h 必-7-ア-a 必-7-ウ-b 必-7-ウ-c 総III-1-ア 総III-1-イ-a, b 総III-1-ウ-a~c 総III-1-エ-a~d 総III-1-オ-a, b 総III-2-ア-a 総IV-1-ア 総IV-1-ウ 各I-1-エ-a, b 各III-4-オ-f 各III-4-カ-j, k 各III-4-キ-a, b



回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
17	病理 ②	松本直行	1 血液疾患	1 A 貧血  1 B 出血性 素因	1 Aa 鉄欠乏 性貧血 1 Ab 溶血性 貧血 1 Ac 再生不 良性貧血 1 Ad 巨赤芽 球性貧血 1 Ba 壊血病 1 Bb IgA 血 管炎 <アレルギー 性紫斑病> 1 Bc Osler 病 1 Bd 血小板 無力症 1 Be 特発性 血小板減少 性紫斑病 1 Bf 白血病 1 Bg von Willebrand 病 1 Bh 血友病 1 Bi 播種性 血管内凝固 症候群 <DIC>	1 ① 血液疾患(貧血、 出血性素因)を説 明できる。	授業の理解を図るため、あ らかじめ教科書や参考書を 熟読して講義に臨み、復習 すること。ノート等を見直 し、理解が不十分な場合は 教科書や参考書等を参照し 補うこと。 C-5-4)② E-2-4)-(10)①③⑧⑨ E-6 ① F-1-1)⑦ 必-6-ア-h 必-7-イ-a 必-7-ウ-a~c 総Ⅲ-1-ク-a~c 総Ⅲ-2-ア-g 総Ⅳ-1-ア 総Ⅳ-1-オ 各Ⅲ-1-ク-r 各Ⅲ-4-エ-b 各Ⅲ-4-オ-e, f 各Ⅲ-4-カ-k 各Ⅲ-4-キ-b 各Ⅲ-4-ク-a 各Ⅲ-4-ケ-a 各Ⅲ-4-コ-a~f
18	口外 ①	江口貴紀	良性腫瘍	軟組織に発生 する腫瘍 および腫瘍 類似疾患 腫瘍・腫瘍 類似疾患に 対する診 断・治療	a 歯原性良性 腫瘍 b 非歯原性良 性腫瘍 c 上皮異形成 o 腫瘍類似疾 患 エプー リス、義歯 性線維腫、 薬物性歯肉 増殖症など	各種良性腫瘍の病態 を理解し、各種デー タに基づいた診断と 鑑別診断および治療 について理解できる。 良性腫瘍の概略・治 療効果・留意すべき 解剖学的構造につ いて理解できる。	授業の理解を図るため、必 ず予習し、授業後は繰り返 し復習すること。ノート等 を見直し、理解が不十分な 場合は教科書等を参照し補 うこと。 C-5-6)①~⑥ E-2-1)①~⑦ E-2-4)-(6)③~⑥ E-2-4)-(10)④ 各論Ⅲ 1 才 a, b
19	口外 ②	江口貴紀	良性腫瘍	顎骨に発生 する腫瘍お よび腫瘍類 似疾患	a 歯原性良性 腫瘍 b 歯原性悪性 腫瘍 c 非歯原性良 性腫瘍 d 非歯原性悪 性腫瘍 e 骨関連病変 f 線維骨性病 変 g 巨細胞性病 変	良性・悪性腫瘍の治 療方法とその概略・ 治療効果・留意すべ き解剖学的構造につ いて理解できる。	授業の理解を図るため、必 ず予習し、授業後は繰り返 し復習すること。ノート等 を見直し、理解が不十分な 場合は教科書等を参照し補 うこと。 C-5-6)①~⑥ E-2-1)①~⑦ E-2-4)-(6)③~⑥ E-2-4)-(10)④ 各論Ⅲ 2 才 a-g

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
20	歯周①	長野孝俊	歯周病の病因	1. 病因関連因子 2. 宿主因子 3. 環境関連因子	1. 歯周病原菌 2 a.局所性修飾因子 2 b.全身性修飾因子 3 a.喫煙 3 b.常用薬物	1 ①. 歯周病原菌を列挙しその特徴を説明できる。 2 a①. 局所性修飾因子を列挙し説明できる。 2 a②. 外傷性修飾因子を列挙し説明できる。 2 b①. 全身疾患と歯周病との関係を説明できる。 3 a①. 喫煙が歯周病に与える影響について説明できる。 3 b①. 薬物性歯肉増殖症について説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2)③ E-3-3)-(-3)① 必7イc 必8ウc, d, h 必9キc 総Ⅲ2アb 総Ⅳ2イ 総Ⅶ2アc 各Ⅰイc, j 各Ⅱa 各Ⅱ3アb, d, f 各Ⅱ3ウe, b, j各Ⅲ4アd 各Ⅲ4ケ
21	歯周②	長野孝俊	歯周組織検査	1. 検査	1 a.歯周ポケット検査 1 b.アタッチメントレベル 1 c.歯の動揺度検査 1 d.歯周病の画像検査 1 e.付着歯肉幅の検査 1 f. 模型による検査	1 a①. 歯周ポケット検査を説明できる。 1 b①. アタッチメントレベル測定法を説明できる。 1 c①. 動揺度の検査を説明できる。 1 d①. 歯周病の画像検査を説明できる。 1 e①. 模型による検査を説明できる。 1 f①. 付着歯肉幅の必要性和検査法を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2)③ E-3-3)-(-3)①②③④ 必10オb 総Ⅵ1アc 各Ⅱ3アa 各Ⅱ3アc 各Ⅱ3イb, d 各Ⅱ3ウd, h
22	CrBr①	重田優子	総論 診察、検査、 診断総論  総論 口腔検査、 顎口腔機能 検査  各論 診察、検査、 診断	検査と評価  口腔検査 顎口腔機能 検査  診察 検査と評価 診断	補綴装置の評価  歯列・咬合の 検査  下顎運動検査 顎関節・筋機 能検査  形態的評価・ 審美的評価 機能的評価 力学的評価 身体社会的・ 心理的評価 栄養評価 研究用模型に よる検査 口腔衛生状態 の評価	E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ①クラウンブリッジの意義と具備すべき条件を説明できる  E-1-3) ①臨床検査の目的と適応を説明できる。 ②診断に必要な臨床検査項目を列挙できる。  E-1-3) ①臨床検査の目的と適応を説明できる。 ②診断に必要な臨床検査項目を列挙できる。	「予習」 Answer2023 P110-120  「復習」 Answer2023 P110-120 各論Ⅳ2イf E-3-4)-(1)-①  「予習」 Answer2023 P3-57, P110-120、 P121-132  「復習」 Answer2023 P3-57, P110-120、 P121-132 総論Ⅵ1アe, イab 各論Ⅳ2ア、イabcdegh, ウ、エ E-1-3)-①②⑦

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
23	CrBr ②	重田優子	各論 クラウンブ リッジによる 治療	臨床操作	プロビジョナ ルレストレー ション	E-3-4)-(1) クラウン ブリッジによる治療 ⑦プロビジョナルレ ストレーションの 意義とその製作方 法を説明できる。	「予習」 Answer2023 P188-206, P239-252  「復習」 Answer2023 P188-206, P239-252
			各論 クラウンブ リッジによる 治療	臨床操作	顎間関係の記 録 患者情報の記 録と伝達 前処置	E-3-4)-(1) クラウン ブリッジによる治療 ⑩平均値咬合器及び 調節性咬合器の種 類と特徴を説明で きる。	必修12セc 各論Ⅲ 3イd,e D-2-② E-3-4)-(1)⑤⑦  「予習」 Answer2023 P207-238  「復習」 Answer2023 P207-238 各論Ⅳ 3イf,g E-3-4)-(1)-⑤⑩  「予習」 Answer2023 P121-132, P165-187  「復習」 Answer2023 P121-132, P165-187 各論Ⅳ 3イa,b E-3-4)-(1)③④
24	放射 ①	五十嵐千浪	エックス線 画像	X線画像の 原理 X線単純撮 影	a 電離放射線 b 放射線の性 質と作用 c X線撮影装 置	・電離放射線が分類 できる ・X線の性質が説明 できる ・X線の発生がで説 明できる	既出問題での予習、 マナバとうでの復習 D-1①③、E-1-2)①⑤ 必修9カd、総論Ⅵ2ア
25	放射 ②	五十嵐千浪	エックス線 画像	X線画像の 原理 画像検査に おける医療 情報	a コントラス トと分解能 b 医療画像シ ステム c 口内法X線 検査 d 検出器、撮 影補助器材	・X線画像形成の原 理を説明できる ・画質への影響を説 明できる ・デジタルシステム について説明でき る ・口内法X線検査が 分類できる	既出問題での予習、 マナバとうでの復習。 E-1-2)④⑤ 必修2サ、必須9カb d、 総論Ⅵ2アイエ
26	歯内 ①	長谷川雅子	歯内疾患の 病因  歯と歯周組 織の構造と 機能	硬組織疾患、 歯髄疾患、 根尖性歯周 炎の概念  歯の正常構 造  歯・歯髄の 形態の異常 形態的变化	硬組織疾患、 歯髄疾患、 根尖性歯周 炎  歯の硬組織、 歯髄(象牙 質・歯髄複合 体)、歯周組 織の構造と機 能  歯根、歯髄腔 の形態(異常 と変化)老化 による歯髄の 退行変性を含 む	①歯の硬組織疾患、 歯髄疾患、根尖性 歯周疾患の原因、 治療を説明できる。 ②歯内療法目的と 意義を説明できる。 ③正常な歯と歯周組 織の構造と機能を 説明できる。 ④歯、歯根、歯髄腔 の異常形態と好発 部位を説明できる。 ⑤老化による形態変 化、歯髄の退行変 性について説明で きる	予習：教科書を読み、講義 に備えること。 復習：正常な歯・歯周組織 の構造と機能、歯の異常形 態と好発部位を列挙できる。 歯髄の退行変性を列挙でき る。配布資料に記載した関 連問題番号を解答すること。 E-3-1)②③④⑤、 E-3-2)①②③④、 E-2-3)③④、E-3-3)-(2) ⑦、C-3-3)②、必6イa,b、 必9オa,b、必9カd,e、 総Ⅱ5アa,c,d、 総Ⅱ5イa,b、総Ⅱ8イb、 総Ⅲ2アa,b、各Ⅰ2アa、 2イa,b,c,d,e,f,g,h、 2ウb、各Ⅴ3イb

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
27	歯内 ②	長谷川雅子	診察の基本  歯の硬組織疾患	歯・歯周組織の診察、検査  歯の硬組織疾患の病因と病態	①硬組織、歯髄、根管の検査  ②象牙質知覚過敏症	①歯の検査法について説明できる。  ②象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断、治療法を説明できる。	予習：教科書を読み、講義に備えること。 復習：歯の検査法、象牙質知覚過敏症の治療法と薬剤を列挙できる。象牙質の痛みについてを説明できる。 配布資料に記載した関連問題番号を解答すること。 D-1①③、D-2⑥、 E-1-1)①②③④⑤⑥、 E-1-2)⑦⑨、 E-3-1)②③④⑤、 E-3-2)①⑤、 E-3-3)-(1)① 必7イabc、必8イa、 キa, b, c、必9アa、イa、 オa, b、カd, e、総Ⅱ6アc、 総Ⅵ1アa, b、2エオコ、各Ⅱ1アド、
28	薬理 ①	二藤 彰	1. 薬理学総論	1 A. 薬物療法の目的  1 B. 薬物適用とその特徴	1 Aa 病因療法 1 Ab 対症療法 1 Ac 補充療法 1 Ad 予防療法  1 Ba 経口適用 1 Bb 注射 1 Bc 動・静脈内適用 1 Bd 吸入 1 Be 舌下部適用 1 Bf 直腸内適用 1 Bg 局所適用	1 A① 病因療法、対症療法、補充療法、予防療法とそれらの具体例を述べる。  1 B① 薬物の適用方法の種類を説明する。 1 B② 適用方法それぞれの長所ならびに短所を説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 C-6-2)-①、② C-6-3)-① 必11-オ-a~d 総Ⅶ-8-ア-a 総Ⅶ-8-イ-a
29	薬理 ②	二藤 彰	1. 薬理学総論	1 C. 薬物動態	1 Ca 吸収  1 Cb 分布  1 Cc 代謝 1 Cd 排泄	1 C① 薬物の吸収に影響する因子を説明する。 1 C② 薬物の分布に影響する因子を説明する。 1 C③ 薬物の代謝と排泄について説明する。 1 C④ 生物学的半減期、生体利用率の意味を説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 C-6-3)-② 必11-コ-b 総Ⅶ-8-ア-c

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
30	理工 ①	野本理恵	生体材料の科学	<p>材料の素材</p> <p>材料の物性</p> <p>A. 物理的性質</p> <p>B. 機械的性質</p> <p>C. 化学的性質</p> <p>D. 生物学的性質と生体安全性</p>	<p>有機材料、高分子材料、無機材料、セラミック材料、金属材料、複合材料</p> <p>密度、熱膨張係数、熱伝導率、比熱</p> <p>応力、ひずみ、弾性係数、強さ、耐力、降伏点、レジリエンス、靱性、展延性、硬さ、耐摩耗性、疲労、衝撃強さ、クリープ</p> <p>吸水、溶解、腐食</p> <p>生体親和性、毒性、アレルギー</p>	<p>①有機材料、無機材料、高分子材料、セラミック材料、金属材料、複合材料の特徴を説明する。</p> <p>②応力-ひずみ線図を説明する。</p>	<p>予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。</p> <p>復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。</p> <p>D-1-②</p> <p>必12セa 総Ⅷ1</p>
31	理工 ②	野本理恵	印象材	<p>非弾性印象材</p> <p>弾性印象材</p> <p>A. ハイドロコロイド印象材</p> <p>B. 合成ゴム系印象材</p> <p>印象材の性質</p>	<p>石膏、インプレッションコンパウンド、ワックス、酸化亜鉛ユージンロール印象材</p> <p>寒天印象材、アルジネート印象材</p> <p>付加型シリコーンゴム印象材、縮合型シリコーンゴム印象材、ポリサルファイドゴム印象材、ポリエーテルゴム印象材</p> <p>細部再現性、弾性ひずみと永久ひずみ、応力緩和</p>	<p>①各種印象材の組成、硬化機構および特徴を説明する。</p> <p>②弾性ひずみと永久ひずみについて説明する。</p> <p>③寸法安定性について説明する。</p>	<p>予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。</p> <p>復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。</p> <p>E-3-4)-(1)-⑤、 E-3-4)-(2)-⑥</p> <p>必12セc 総Ⅷ3(才除く)</p>

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
32	衛生 ①	山田秀則	口腔衛生学 1	1A健康の 概念  1B医の倫 理  1C疾病の 自然史  1D障害の 概念	1Aa 健康の 定義  1Ab プライ マリヘルス ケア  1Ac ヘルス プロモーシ ョン  1Ba 医の倫 理  1Bb 医学研 究の倫理  1Bc 患者の 権利  1Ca 疾病の 自然史と予 防医学の概 念  1Da 生活機 能分類	1Aa① WHOの健 康の定義を説明で きる。  1Ab① アルマ・ア タ宣言を説明でき る。  1Ac① オタワ憲章 を説明できる。  1Ba① ヒポクラテ スの誓いを説明で きる。  1Ba② ジュネーブ 宣言を説明できる。  1Bb① ニュルンベ ルグ綱領を説明で きる。  1Bb② ヘルシンキ 宣言を説明できる。  1Bc① リスボン宣 言を説明できる。  1Bc② シドニー宣 言を説明できる。  1Ca① 第一次、第 二次、第三次予防 を説明できる。  1Da① ICFを説明 できる。  1Da② ノーマライ ゼーションを説明 できる。  1Da③ パリアフリ ーを説明できる。	事前に教科書で予習すること。受講に際しては、指定教科書を用意すること。講義の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は講義担当教員に個別に質問すること。 【コアカリキュラム】 A-1-1)①~⑥、 A-1-2)①~④、 A-1-3)①~③⑤、 A-5-1)⑤~⑦、 B-11、B-2-2)⑦、 B-3-1)①~③ 【国家試験出題基準】 必1アab、必1イab、 必2アa~e、総11アa ~d
33	衛生 ②	山田秀則	口腔衛生学 2	2A感染症 の予防	2Aa 感染症 対策	2Aa① 感染成立の 三要因を説明でき る。  2Aa② 感染症法を 説明できる。  2Aa③ 新興・再興 感染症を説明でき る。  2Aa④ 予防接種法 を説明できる。  2Aa⑤ 院内感染対 策を説明できる。	事前に教科書で予習すること。受講に際しては、指定教科書を用意すること。講義の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は講義担当教員に個別に質問すること。 【コアカリキュラム】 A-6-3) ②、B-2-1) ⑤、 B-3-1)④ 【国家試験出題基準】 必2カa~e、 総17アa~c
34	解組 ①	黒田範行	生命の分子 的基盤	細胞の構造 と機能	細胞内小器官	細胞内小器官の名称 と機能を理解する	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-2-3)-①② C-2-4)-① 5-A-a
35	解組 ②	黒田範行	生命の分子 的基盤	遺伝子と遺 伝	核酸、遺伝子、 転写、翻訳	核酸、遺伝子及び染 色体の構造と機能を 説明できる転写と翻 訳の家庭と調節機序 を説明できる	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-2-2)-①~⑤ 5-A-b, c

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習					
36	生化 ①	山越康雄 山本竜司	1 生体成分	1 A タンパク質	1 Aa アミノ酸	1 Aa① アミノ酸の種類と構造の特徴を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準： 必4 a,a,c,f コアカリ： C-2-1)-①～⑤					
				1 B 糖質	1 Ab ペプチドとタンパク質	1 Ab① ペプチドとタンパク質の構造と機能を説明する。						
					1 Ba 単糖、オリゴ糖、多糖	1 Ba① 単糖、オリゴ糖、多糖の種類と構造の特徴を説明する。						
					1 Bb 単糖誘導体	1 Bb① 糖アルコール、ヘキソサミン、ウロン酸を説明する。						
				1 C 脂質	1 Ca 脂肪酸	1 Ca① 脂肪酸の種類と構造の特徴を説明する。						
					1 Cb 中性脂肪	1 Cb① 中性脂肪の構造と機能を説明する。						
					1 Cc リン脂質	1 Cc① リン脂質の構造と機能の特徴を説明する。 1 Cc② 細胞膜の構造を説明する。						
					1 Cd コレステロール	1 Cd① コレステロールの構造と誘導物質を説明する。						
				37	生化 ②	山越康雄 山本竜司		2 代謝	2 A 代謝概要	2 Aa 異化と同化	2 Aa① 異化と同化を説明する。 2 Aa② ATPの構造とエネルギー通貨を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準： 必5 a,a,c,e,f, 総Ⅱ 1 a,a,b, 総Ⅱ 1 c,a,b コアカリ： C-2-1)-①～⑤、 C-2-3)-①
									2 B 糖質代謝	2 Ab 酵素	2 Ab① 酵素の種類と性質を説明する。	
2 Ba 糖質の消化・吸収	2 Ba① 糖質の消化・吸収機構を説明する。											
2 Bb 糖質のエネルギー産生	2 Bb① 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系、酸化リン酸化を説明する。											
2 C 脂質代謝	2 Bc グルコース産生	2 Bc① 糖新生を説明する。										
	2 Ca 脂質の消化・吸収	2 Ca① 脂質の消化・吸収機構を説明する。										
	2 Cb 脂質の運搬	2 Cb① 脂質の運搬を説明する。										
	2 Cc 脂質のエネルギー産生	2 Cc① β酸化を説明する。										
2 D アミノ酸代謝	2 Cd ケトン体生成	2 Cd① ケトン体の種類と生成機構を説明する。										
	2 Da タンパク質の消化・吸収	2 Da① タンパク質の消化・吸収機構を説明する。										
	2 Db アミノ酸の利用	2 Db① アミノ基転移反応、酸化的脱アミノ反応を説明する。 2 Db② 糖原性およびケトン性アミノ酸を説明する。 2 Db③ 尿素回路を説明する。										

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
38	小児 ①	守安克也	1 小児の成長発育 2 頭蓋顎顔面の発育	1 A 身体の発育 1 B 身体発育の特徴 1 C 小児の発達の特徴 1 D 小児の生理的特徴 1 E 口腔機能の発達 2 A 頭蓋顎顔面の発育	1 Aa 小児期の分類 1 Ba 生理的年齢 1 Bb 出生時および出生後の発育 1 Bc 各器官の発育 1 Ca 運動機能の発達 1 Cb 言語の発達 1 Cc 情動の発達 1 Da 原始反射 1 Db 生理的特徴 2 Aa 脳頭蓋の発育 2 Ab 顎・顔面の発育	1 Aa① 小児期の分類を列挙する。 1 Ba① 生理的年齢を説明する。 1 Bb① 小児の身体発育を説明する。 1 Bc① 各器官の発育の特徴を説明する。 1 Ca① 小児の運動機能の発達について説明する。 1 Cb① 小児の言語の発達過程を説明する 1 Cc① 小児の精神的発達の特徴を説明する。 1 Da① 代表的な原始反射について説明する。 1 Db① 小児の生理的特徴を説明する。 2 A① 脳頭蓋顎顔面の発育の特徴を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。 講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 C-3-2)①,③,④ E-2-3)②,③ 必5 イa,b,c 必5 ウb 総II 7アa,b,c 総II 7イa,b,c 総II 7ウa,b 総II 8 Ia 総III 2アa,b,c,d,e,f,g
39	小児 ②	守安克也	1 歯の発育と異常 2 歯列・咬合の発育と異常	1 A 歯の発育 1 B 歯の萌出 2 A 歯列・咬合の発育	1 Aa 歯の形成 1 Ba 歯の発育段階 1 Bb 歯の萌出 1 Bc 吸収と脱落 2 Aa 無歯期 2 Ab 乳歯列期 2 Ac 第一大臼歯・切歯萌出期 2 Ad 側方歯萌出期 2 Ae 第二大臼歯萌出開始期 2 Af 乳歯列期から永久歯列期への咬合変化	1 Aa① 正常な歯の形成過程を説明する。 1 Bb① 正常な歯の萌出時期を述べる。 1 Bc① 歯の吸収と脱落のメカニズムを説明する。 2 A① 正常な歯列・咬合の発育過程を説明する。 2 A② 咬合発育段階とその特徴について述べる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。 講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて、理解度を確認して復習すること。 E-3-1)③ 必5 ウa 総II 5アa,b,c,d 総II 8 イa,b,c,d 総II 8 Ia



回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
40	法医 ①	勝村聖子	1. 死因究明	1 A 死因究明 1 B 解剖 1 C 死の種類	1 Aa 死因究明制度 1 Ab 死因・身元調査法 1 Ba 刑事訴訟法 1 Bb 死体解剖保存法 1 Ca 心臓死 1 Cb 脳死	1 A① 我が国の死因究明制度について説明する。 1 B① 解剖の種類について説明する。 1 C① 我が国における死の定義を説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-3)②、C-5-7)① 総 I-3-ア-a,c
41	法医 ②	勝村聖子	1. 歯科法医学と個人識別	1 A 死後変化 1 B 身元確認 1 C 個人識別における歯科の有効性	1 Aa 死体現象 1 Ba 年齢推定 1 Bc 性別判定 1 Ca 歯科所見	1 A① 死後変化について説明する。 1 B① 個人識別の重要性について説明する。 1 C① 歯科所見による身元確認について説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-3)①② 総 I-3-ア-a,b,c
42	高齢者 ①	菅 武雄	高齢者の栄養療法	1. 高齢者の栄養問題 2. 栄養問題の発見 3. 栄養投与方法と投与方法選択	1) 高齢者の低栄養の発生率 2) 栄養スクリーニングと栄養アセスメント 3) 栄養方法の選択肢 4) 栄養投与ルートの選択	栄養問題に歯科がどのように関係するのか、臨床の場でどんなことが行われているのかを説明する。	<b>【予習】</b> 1. 4年次の高齢者歯科学の資料を確認しておく。 2. 歯科医師国家試験の既出問題で「栄養」のキーワードで括れる問題をピックアップしてみる。 <b>【復習】</b> 1. 提示された各種ガイドライン、分類等を整理する。  B-1-③、E-5-10)-⑩ 必12サa、総V5ウa、 総V5ウb、総VII9ク、 各V3アe、 各V4イc、各V6オ E-5-8)-⑨、必7イf、 必8ウi、総V5イe、 総VI1イe、 総VI1イg、 各V1ウa、 各V1ウc、 各V1エa、 各V1エb、 各V2アb、 各V3イa E-5-9)-⑨、必2アc、 必2アf、必12イb、 必12シa、総VII6ア、 総VII6イa、 各V6アa、 各V6アb、各V6イ、 各V6ウ、各V6エ

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
43	高齢者 ②	菅 武雄	摂食嚥下障害の評価と対応（臨床編）	1. 嚥下障害の症状 2. 嚥下機能のスクリーニング検査 3. 嚥下機能の精密検査 4. 嚥下障害への対応の基本	1) EAT-10、聖隷式質問紙 2) 反復唾液嚥下試験 3) 改訂水飲み試験 4) 食物検査 5) 嚥下造影検査 6) 嚥下内視鏡検査 7) 嚥下障害への具体的対応①医学的管理、②訓練③口腔管理、④代償的介入方法	摂食嚥下リハビリテーションの流れを把握し、リハビリテーションをどう組み立てるか説明する。	【予習】 4年次の摂食嚥下障害の資料を探し出しておく（デジタルデータで持ちあえるようにする）。 【復習】 1. 摂食嚥下リハビリテーションの流れを説明できるようにする。 2. 各種検査の手順、評価基準を列挙できるようにする。  B-1-③、E-5-10)-⑩ 必12サa、総V5ウa、 総V5ウb、総VII9ク、 各V3アe、 各V4イc、各V6オ E-5-8)-⑧、必7イf、 必8ウi、総V5イe、 総VI1イe、 総VI1イg、 各V1ウa、 各V1ウc、 各V1エa、 各V1エb、 各V2アb、 各V3イa E-5-9)-⑨、必2アc、 必2アf、必12イb、 必12シa、総VII6ア、 総VII6イa、 各V6アa、 各V6アb、各V6イ、 各V6ウ、各V6エ
44	矯正 ①	関谷利子	口腔・顎顔面の発生・成長発育	頭頸部の形成 頭部の成長 発育区分における成長・発達の評価	顎顔面頭蓋年齢による成長評価法（暦年齢、生理的年齢） 歯列・咬合	①顎顔面頭蓋の成長発育のメカニズムを理解する。 ②歯・歯列弓の成長発育、咬合の推移を説明できる。	教科書を事前に読み予習し、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 C-3-2)①③④、C-3-4)-(2)④、E-2-1)②、 E-2-3)①②、E-3-1)① 必5ウa,b、総II7イb、 総II7ウa、総II8アb、 総II8ウa、総II8イa,c
45	矯正 ②	関谷利子	口腔機能の発達正常咬合・不正咬合	嚥下機能の発達 正常咬合の定義 不正咬合の病因・病態	乳児型嚥下と成熟型嚥下 正常咬合の条件・考え方 不正咬合の分類 個々の歯の異常 歯列弓形態異常 上下顎関係異常 Angle分類	①嚥下の発達と障害を説明できる。 ②正常咬合の概念を説明できる。 ③正常咬合の成立と保持条件を列挙できる。 ④不正咬合による障害を列挙できる。 ⑤Angle分類を説明できる。	教科書を事前に読み予習し、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 E-2-1)③⑥、E-2-2)④、 E-4-1)②③ 必6アb、必6イd,h、 必7イe、必8カa,b,c、 総II7ウa、総IV2ウ、 各I5ア～エ

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
46	スポーツ 歯科	栗原大介	1. スポーツ 歯学	1A. スポーツ 歯科 医学につ いて  1B. スポー ツデン ティス トにつ いて  1C. 医科学 サポー トにお ける歯 科の役 割  1D. 口腔顎 顔面領 域のス ポーツ 障害へ の安全 対策  1E. マウス ガード	1 Aa. スポ ーツ歯学 の定義と目的  1 Ab. スポ ーツ歯学 の歴史  1 Ba. スポ ーツデン ティスト の役割につ いて  1 Ca. 医科 学サポー トにつ いて  1 Cb. ドー ピングコン トロールに ついて  1 Da. 顎口 腔領域への 障害につ いて  1 Ea. 目的 と意義  1 Eb. 種類 と特徴  1 Ec. 材料 と特性  1 Ed. サー モフォーミ ングの特性  1 Ee. 使用 上の注意と メンテナンス	1 Aa① スポ ーツ歯 学の定義と目的を 説明する.  1 Ab② スポ ーツ歯 学の歴史を説明す る.  1 B① スポ ーツデ ンティスト の役割 について説明する.  1 Ca① 医科 学サポー トについて説明 する.  1 Cb① ドー ピングコ ントロールにつ いて説明する. (禁止薬物を含む)  1 Da① 顎口 腔領域 への障害について 説明する.  1 Ea① 目的と意義 について説明する.  1 Eb① 種類と特徴 について説明する.  1 Ec① 材料と特性 について説明する.  1 Ed① サーモフォー ミングの特性につ いて説明する.  1 Ee① 使用上の 注意とメンテナンス について説明 する.	予習：シラバスを確認し、 講義内容に関わる範囲を参 考書をもとに予習する。授 業の理解を深めるため講義 資料と参考書と ANSWER2023 - 7 巻 P387-391で復習する。 E-2-4)-(2)③、 E-4-2)⑦、D-1① 各論Ⅰ-4オ、 各論Ⅲ-5イd
47	全部床 ①	大久保力廣	(総論) 口腔・顎顔 面領域の疾 患の病因・ 病態	歯の喪失に 伴う変化・ 障害	口腔の変化 顎骨の変化 顔貌の変化 顎関節の変化 全身への影響	①無歯顎の解剖学的 構造を説明できる。 ②歯の喪失に伴う口 腔・顎顔面領域の 変化・障害を説明 できる。	「予習・復習」全部床義歯 補綴学講義ノート1, 29章 E-2-2)-① E-2-3)-④ E-3-4)-(2)-① 必5-エ-a 必6-イ-efg 必11-ケ-e 総Ⅱ-7-エ-ab 総Ⅲ-2-イ-a 総Ⅳ-2-ク 総Ⅴ-5-イ-abg 必11-シ-a 各Ⅳ-1-アイ 各Ⅴ-3-イ-c

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
48	全部床 ②	大久保力廣	(総論) 口腔検査、 顎口腔機能 検査  (各論) 診察、検査、 診断	顎口腔機能 検査	咀嚼機能検査 (直接法・間 接法) 発声・構音・ 発語検査 鼻咽腔閉鎖機 能検査 機能的・力学 的評価	①無歯顎の解剖学的 構造を説明できる。 ②無歯顎の口腔内検 査を説明できる。 ③咀嚼機能検査を説 明できる。 ④発声・構音・発語 検査を説明できる。 ⑤鼻咽腔閉鎖機能検 査を説明できる。	「予習・復習」全部床義歯 補綴学講義ノート1, 23, 28 章 E-1-1)-①② E-2-2)-⑧ E-2-4)-(11)-①②③ 必9-オ-g 必11-シ-a 総Ⅱ-6-ウ-a 総Ⅵ-1-ア-e 総Ⅵ-1-イ-abcfg 各Ⅳ-2-アウエ 各Ⅳ-2-イ-abcfg 各Ⅳ-8-カ
49	衛生 ③	山田秀則	3. 口腔衛生 学3	3 A 生活習 慣病の 予防	3 Aa 生活習 慣病の種類 と予防  3 Ab 栄養	3 Aa① 生活習慣病 を説明できる。 3 Aa② NCDs を説 明できる。 3 Aa③ 健康増進法 を説明できる。 3 Aa④ 健康日本21 (第二次) を説明 できる。 3 Ab① 食事摂取基 準を説明できる。 3 Ab② 食事バラン スガイドを説明で きる。	事前に教科書で予習するこ と。受講に際しては、指定 教科書を用意すること。講 義の理解を図るため必ず復 習すること。理解が不十分 な場合は講義担当教員に個 別に質問すること。 【コアカリキュラム】 B-1③、B-2-1)⑤、 B-3-1)④ 【国家試験出題基準】 必3アa～f、総ⅠⅠエab、 総Ⅰ8アa～c、 総Ⅰ8イa～c
50	衛生 ④	山田秀則	4. 口腔衛生 学4	4 A 食品衛 生	4 Aa 食の安 全  4 Ab 機能性 食品  4 Ac 食育	4 Aa① 主な食中毒 の原因を説明でき る。 4 Ab① 機能性表示 食品を説明できる。 4 Ab② 特別用途食 品を説明できる。 4 Ac① 食育基本法 を説明できる。	事前に教科書で予習するこ と。受講に際しては、指定 教科書を用意すること。講 義の理解を図るため必ず復 習すること。理解が不十分 な場合は講義担当教員に個 別に質問すること。 【コアカリキュラム】 B-1③、B-2-1)⑤、 B-3-1)④ 【国家試験出題基準】 総Ⅰ7アab、 総Ⅰ8イa～c
51	口内 ③	館原誠晃	総論 唾液腺疾患	ア 唾液腺 疾患の概 念  イ 唾液腺 疾患の症 候  ウ 唾液腺 疾患の診 察・検査  エ 唾液腺 の機能障 害	a 唾液腺解剖  b 唾液腺機能  c 唾液腺の症 候 d 唾液腺の診 察・検査	a 唾液腺の解剖およ び機能について説 明できる。 b-1 唾液腺機能障害 により生じる口腔 疾患を説明できる。 b-2 唾液腺機能障害 を引き起こす原因 を説明できる。 c 唾液腺症候につ いて説明できる。 d 唾液腺の診察法お よび各種検査法を 説明できる。	シラバスを確認し、講義内 容に関わる範囲を参考書を もとに予習する。授業の理 解を深めるため講義資料と 参考書で復習する。 コアカリ： E-2-2)-⑥ E-2-4)-(8)-①～⑦ E-2-4)-(11)-⑤ F-2-2)-⑨ 国試出題基準： 必-6-イ-n 必-7-イ-l 必-8-オ-e 必-9-オ-e 総Ⅳ-2-ク 総Ⅵ-1-イ-d

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
52	口内 ④	舘原誠晃	各論 唾液腺疾患	ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療	a 発育異常	a 発育異常を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関する範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： E-2-4)-(6)-①～④ E-2-4)-(8)-①～⑦ E-2-4)-(11)-⑤ F-2-2)-⑨ 国試出題基準： 各Ⅲ-1-エ-e 各Ⅲ-1-オ-d 各Ⅲ-1-ク-q 各Ⅲ-3-ア-a～m 各Ⅲ-4-オ-d
					b 異所性唾液腺	b 異所性唾液腺を説明できる。	
					c 唾液腺損傷	c 唾液腺、Frey症候群、唾液腺疾患での外来異物を説明できる。	
					d 唾液腺炎、唾液管炎	d ウイルス性を含む唾液腺炎、唾液管炎を説明できる。	
					e Sjögren症候群	e Sjögren症候群を説明できる。	
					f 粘液嚢胞	f 粘液嚢、ラヌーラ、Blandin-Nuhn(腺)嚢胞(前舌腺嚢胞)について説明できる。	
					g 良性腫瘍	g 唾液腺良性腫瘍の分類、特徴を理解し、診断法と治療法を説明できる。	
					h 悪性腫瘍	h 唾液腺悪性腫瘍の分類と特徴を理解し、診断法と治療法を説明できる。	
					i 唾液腺腫瘍類似疾患	i 唾液腺の腫瘍類似疾患の診断と治療法を説明できる。	
					j IgG4関連疾患	j IgG4関連疾患について説明できる。	
					k 唾石症	k 唾石症の症状と治療法を説明できる。	
					l 口腔乾燥症	l 放射線や薬物による口腔乾燥症を説明できる。	
					m 流涎症	m 流涎症の原因とその対処法を説明できる。	
53	口外 ③	川口浩司	悪性腫瘍	軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療	c 口唇癌	各種悪性腫瘍の病態を理解し、各種データに基づいた診断と鑑別診断について理解できる。 悪性腫瘍の治療方法とその概略・治療効果・留意すべき解剖学的構造・治療の副作用について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-6)①～⑥ E-2-1)①～⑦ E-2-4)-(6)③～⑥ E-2-4)-(10)④ 必修12アb 各論Ⅲ1オa-o 各論Ⅲ1カa-c
					d 舌癌		
					e 頬粘膜癌		
					f 口蓋癌		
					g 歯肉癌		
					h 口底癌		
					i 上顎洞癌		
					j 軟組織の肉腫		
					k 白血病		
					l 悪性リンパ腫		
					m 悪性黒色腫		
					n 上皮異形成		
					o 腫瘍類似疾患		

回数	日程	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
54	口外 ④	川口浩司	悪性腫瘍、 がん患者の 管理	がん治療患 者の管理	a がんの告知 b 治療時の患 者管理 口腔衛生管 理、口腔ケ ア c 社会復帰 d 末期癌患者 の管理 e 緩和医療	がん患者の管理や口 腔ケア、緩和ケア、 疼痛コントロールに ついて理解できる。	授業の理解を図るため、必 ず予習し、授業後は繰り返 し復習すること。ノート等 を見直し、理解が不十分な 場合は教科書等を参照し補 うこと。 A-5-1)①～⑦ 総Ⅶ5ア a、b 総Ⅶ5イ、ウ 各論Ⅲ1キ a-e
55	小児 ③	守安克也	1 歯の発育 と異常	1 A 歯の発 育と異 常	1 Aa 歯の形 成障害 1 Ab 歯数の 異常 1 Ac 構造の 異常 1 Ad 形態の 異常 1 Ae 色調の 異常 1 Af 萌出時 期の異常 1 Ag 萌出量 の異常 1 Ah 萌出方 向の異常	1 Aa① 歯の形成障 害の原因について 説明する。 1 Ab① 歯数の異常 に関連する疾患を 列挙し、その特徴 を説明する。 1 Ac① 構造の異常 を伴う疾患を列挙 し、その特徴を説 明する。 1 Ad① 形態異常を 列挙し、その特徴 を説明する。 1 Ae① 色調の異常 の原因を説明する。 1 Af① 萌出時期の 異常の原因とその 対応法を説明する。 1 Ag① 萌出量の異 常の原因とその対 応を説明する。 1 Ah① 萌出方向の 異常の原因とその 対応を説明する。	中項目に該当する講義内容 について事前に配布した教 科書や授業プリントを参照 し、十分な予習を行うこと。 講義終了後に実施する講義 内容に関する問題演習にて 理解度を確認して復習する こと。 E-3-1)① 各 I 2ア a,b 各 I 2 イ a,b,c,d,e,f,g,h,l 各 I 2 ウ a,b,c 各 I 3ア a,b,c,d,e
56	小児 ④	守安克也	1 齲蝕と予 防	1 A 小児の 齲蝕の 特徴 1 B 口腔環 境と齲 蝕	1 Aa 乳歯齲 蝕の疫学 1 Ab 乳歯齲 蝕の特徴 1 Ba 幼若永 久歯の齲蝕 の特徴	1 Aa① 乳歯齲蝕の 疫学について説明 する。 1 Ab① 乳歯齲蝕の 特徴について説明 する。 1 Ba① 幼若永久歯 の齲蝕の特徴につ いて説明する。	中項目に該当する講義内容 について事前に配布した教 科書や授業プリントを参照 し、十分な予習を行うこと。 講義終了後に実施する講義 内容に関する問題演習にて 理解度を確認して復習する こと。 E-4-2)①,② 各 II 1 Ia,c

**指導教員：**上野繭美、館原誠晃  
 塩崎一成、浅田由佳、石川美佐緒  
 山本雄嗣  
 本谷安正、大貫芳樹  
 勝村聖子  
 白井麻衣  
 大島朋子、高尾亞由子  
 阿部佳子  
 尾曲大輔、松本直行  
 江口貴紀、川口浩司  
 長野孝俊、松島友二  
 重田優子、重本修伺、中村善治  
 五十嵐千浪、伊東宏和  
 長谷川雅子  
 二藤 彰、中島和久、出野 尚  
 野本理恵  
 山田秀則  
 黒田範行  
 山越康雄、山本竜司  
 守安克也、朝田芳信  
 菅 武雄  
 関谷利子  
 栗原大介  
 大久保力廣

**参 考 書：**「口腔外科学」 白砂兼光 古郷幹彦 医歯薬出版株式会社  
 ISBN：978-4-263-45635-4 C3047

「口腔内科学」 山根源之 草間幹夫 久保田朗 編集主幹 永末書店  
 ISBN：978-4-8160-1304-1

「カラーアトラス口腔組織発生学」 磯川桂太郎 ほか 編著 わかば出版 ￥9,975 (税込)  
 ISBN：978-4-89824-046-5 C3047

「口腔組織・発生学 第2版」 脇田 稔 ほか 著 医歯薬出版 ￥10,000 + 税  
 ISBN：978-4-89824-046-5 C3047

「カラーアトラス口腔組織発生学」 磯川桂太郎 ほか 編著 わかば出版 ￥9,975 (税込)  
 ISBN：4-263-45600-9 C3047

「人体解剖学」 著者：藤田恒夫 出版社：南江堂 ￥9,500 + 税  
 ISBN：978-4-524-24237-5

「口腔解剖学 第2版」 監修：脇田稔、井出吉信 医歯薬出版 ￥12,000 + 税  
 ISBN：978-4-263-45810-5

「第五版 保存修復学21」 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、斎藤隆史 監修 永末書店 2017年  
 ISBN：978-4-8160-1321-8

「基礎歯科生理学 第7版」 医歯薬出版  
 ISBN：978-4-263-45846-4

「スタディ生理学・口腔生理学 第3版」 永末書店  
 ISBN：978-4-8160-1338-6

「臨床のための法医学 第6版」 朝倉書店  
 ISBN：978-4-254-31091-7 C3047

「部分床義歯補綴学講義ノート」  
 「歯学生のパーシャルデンチャー 第6版」  
 「スタンダードパーシャルデンチャー補綴学」  
 「口腔微生物学—微生物の性状と感染— 第7版」 石原和幸 他編著、学建書院、￥8,500 + 税  
 ISBN：978-4-7624-6654-0

- 「口腔微生物学サイロリーダー 第4版」 前田伸子、大島朋子著 学建書院、¥3,520 + 税  
ISBN : 978-4-7624-3143-2
- 「歯科麻酔学 第8版」 医歯薬出版株式会社  
ISBN : 978-4-263-45829-7
- 「新口腔病理学」 下野正基・高田隆・田沼順一・豊澤悟 編著 医歯薬出版：第3版 2021  
ISBN : 978-4-263-45859-4
- 「最新 口腔外科学 第5版」 榎本昭二 道 健一 医歯薬出版  
ISBN : 978-4-263-45806-8
- 「臨床歯周病学 第3版」 医歯薬出版社  
ISBN : 978-4-263-45844-0
- 「クラウンブリッジ補綴学 第6版」  
ISBN : 978-4-263-45856-3
- 「歯科放射線学 第6版、解説と例題で分かる歯科放射線テキスト」  
ISBN : 978-4-263-45812-9 C3047、978-4-8160-1384-3
- 「歯内治療学 第5版」 医歯薬出版 10,800円(税込み)  
ISBN : 978-4-263-45823-5
- 「エンドドンティクス 第5版」 永末書店 9,720円(税込み)  
ISBN : 978-4-8160-1340-9
- 「解る! 歯科薬理学 第3版」 学建書院株式会社  
ISBN : 978-4762426643
- 「現代歯科薬理学 第6版」 医歯薬出版株式会社  
ISBN : 978-4-263-45811-2
- 「スタンダード歯科理工学 第7版」 学建書院  
ISBN : 978-4-7624-5614-5
- 「基礎歯科理工学」 医歯薬出版  
ISBN : 978-4-263-45831-0
- 「公衆衛生がみえる2022-2023 第5版」 医療情報科学研究所 編 メディックメディア  
ISBN : 978-4-89632-858-5
- 「ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス」 医歯薬出版、  
南江堂
- 「入門組織学 改訂第2版」  
ISBN : 978-4-263-45826-6 978-4-524-21617-8
- 「ベーシック生化学、口腔生化学 第6版」  
ISBN : 9784759811766、9784263458228
- 「小児の口腔科学 第5版」  
ISBN : 978-4-7624-4646-7
- 「フレイルハンドブック」  
ISBN : 978-4-89801-735-7
- 「高齢者の栄養」 Geriatric Medicine  
ISBN : 978-4-89801-770-8
- 「歯科矯正学 第6版」 飯田順一郎 他 医歯薬出版 2019年  
ISBN : 978-4-263-45832-7
- 「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学 第2版」 清水典佳 医歯薬出版 2022年  
ISBN : 978-4-263-45874-7
- 「要説スポーツ歯科医学 第2版」 上野俊明 他編 医学情報社  
ISBN : 978-4-903553-79-5
- 「スポーツ歯科臨床マニュアル 第2版」 一般社団法人日本スポーツ歯科医学会編 医学情報社  
ISBN : 978-4-903553-84-9
- 「無歯顎補綴治療学 第3版」 市川哲雄、大川周治、平井敏博、細井紀雄 編 医歯薬出版、東京、2016。  
ISBN : 978-4-263-45792-4



# 総合歯科医学Ⅵ

学 年	科目分類	前期・後期	単 位
第 6 学年	必修	前・後期	10 単位

## 一般目標

臨床実習での経験と学んできた臨床と基礎の知識を統合し、歯科医師として総合的な医療を行うために、歯学部での 5 年間の学習を振り返り、再整理を行い、社会に求められる歯科医師として必要な問題解決能力を修得する。

## 評価方法

学科目期間中に客観試験を複数回実施し評価する。客観試験は多肢選択方式とする。

## 評価基準

歯科医師国家試験の出願基準に準じた問題の得点を基に基準を定め、その基準を満たしたものを合格とする。基準は、本学科目開始時に学生に公表する。

## も く じ

	ページ		ページ
口腔解剖学	24	クラウンブリッジ補綴学	62
解剖・組織細胞学	26	口腔顎顔面外科学	65
生理学	28	口腔内科学	68
分子生化学	31	歯科麻酔学	75
口腔微生物学	34	口腔顎顔面放射線画像診断学	77
病理学	37	歯科矯正学	79
薬理学	42	小児歯科学	82
歯科理工学	44	高齢者歯科学	85
保存修復学	48	法医学	89
歯周病学	51	口腔衛生学	91
歯内療法学	54	口腔インプラント学	96
全部床義歯補綴学	57	一般教養的事項	98
部分床義歯補綴学	59		

# 総合歯科医学Ⅵ（口腔解剖学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口腔解剖 1	塩崎一成	1 頭頸部の構造	1 A 頭頸部の筋系	1 Aa 頭部の筋群	1 Aa① 表情筋について構造と機能を説明する。 1 Aa② 咀嚼筋について構造と機能を説明する。 1 Aa③ 舌筋について構造と機能を説明する。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直して、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4) (-2) ①～④、E-2-1) ② 必5アe、総Ⅱ4イa
口腔解剖 2	塩崎一成	1 頭頸部の構造	1 A 頭頸部の筋系	1 Ab 頸部の筋群	1 Ab① 舌骨上筋および舌骨下筋について構造と機能を説明できる。 1 Ab② 咽頭および喉頭の筋について構造と機能を説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直して、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4) (-2) ①～④、E-2-1) ② 必5アe、総Ⅱ4イa
口腔解剖 3	石川美佐緒	1 歯と歯周組織の常態と疾患	1 A 歯と歯周組織の構造と機能	1 Aa 歯の微細構造 1 Ab 歯周組織の微細構造	1 Aa① 歯の微細構造について説明する。 1 Ab① 歯周組織の微細構造について説明する。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直して、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 E-2-2) ①②、E-3-1) ④～⑥ 必5ア-e、必6ウ-a,b、総Ⅱ5イ-a,b、総Ⅱ9イ-a～d
口腔解剖 4	浅田由佳	1 人体の正常構造と機能	1 A 頭頸部の基本構造と機能	1 A 頭頸部の内臓系	1 Aa① 頭頸部の内臓系（口腔、舌、扁桃、咽頭、喉頭）について説明する。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直して、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 E-2-1) ①②③、E-2-2) ①②③⑥ 総Ⅱ4才acd
口腔解剖 5	石川美佐緒	1 歯と歯周組織の構造	1 A 歯の形態	1 Aa 基本的事項 1 Ab 永久歯	1 Aa① 歯に関する基本的事項を説明する。 1 Ab① 永久歯の全歯種について歯冠、歯根、歯頸線、根管形態の特徴と形態の推移を説明する。 1 Ab② 同一歯種内の順位による形態の推移について説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直して、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 E-3-1) ①～③ 必5ア-e、総Ⅱ5イ-a,c

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口腔解剖 6	浅田由佳	1 頭頸部の構造	1 A 頭頸部の骨格系	1 Aa 頭蓋	1 Aa ①頭蓋の形態と構造について説明する。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直して、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4) (-2) ①～④、E-2-1) ② 必5 A'e、総II 4イa
口腔解剖 7	塩崎一成	1 頭頸部の構造	1 A 頭頸部の骨格系	1 Ab 頭蓋骨、頸椎	1 Ab① 個々の頭蓋骨の形態と構造を説明する。 1 Ab② 頸椎の形態と構造を説明する。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直して、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4) (-2) ①～④、E-2-1) ② 必5 A'e、総II 4イa
口腔解剖 8	塩崎一成	1 歯と歯周組織の構造	1 A 歯の形態	1 Ac 乳歯  1 Ad 特殊な形態	1 Ac① 乳歯の全歯種について歯冠、歯根、歯頸線、根管形態の特徴と形態の推移を説明できる。 1 Ad① 歯の特殊な形態および異常を説明できる。	講義の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して臨むこと。 ノート等を見直して、理解が不十分な場合は教科書、参考書やアトラス等を参照し補うこと。 C-3-4) (-2) ①～④、E-2-1) ② 必5 A'e、総II 4イa

指導教員：塩崎 一成、石川 美佐緒、浅田 由佳

参考書：「カラーアトラス口腔組織発生学」	磯川桂太郎 ほか 編著	わかば出版	¥9,975 (税込)
ISBN：978-4-89824-046-5 C3047			
「口腔組織・発生学 第2版」	脇田 稔 ほか 著	医歯薬出版	¥10,000 + 税
ISBN：978-4-89824-046-5 C3047			
「カラーアトラス口腔組織発生学」	磯川桂太郎 ほか 編著	わかば出版	¥9,975 (税込)
ISBN：4-263-45600-9 C3047			
「人体解剖学」	著者：藤田恒夫	出版社：南江堂	¥9,500 + 税
ISBN：978-4-524-24237-5			
「口腔解剖学 第2版」	監修：脇田稔、井出吉信	医歯薬出版	¥12,000 + 税
ISBN：978-4-263-45810-5			
「ぜんぶ分かる骨の名前と仕組み辞典」	監修：山田敬喜、肥田岳彦	成美堂出版	¥1,400 + 税
ISBN：978-4-415-31001-5			
「口腔顎顔面解剖学ノート」	井出吉信 ほか 編著	学建書院	¥3,000 + 税
ISBN：978-4-7624-0687-4			
「歯の解剖学」	藤田恒太郎 原著	金原出版	¥5,913 (税込)
ISBN：978-4-307-45007-2			
「楽しみながら身につく 歯を見分ける技術」	下田信治、塩崎一成著	学建書院	¥1,200 + 税
ISBN：978-4-7624-0688-1			

# 総合歯科医学Ⅵ（解剖・組織細胞学）

## ■授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
解剖・組織 1	原矢委子	人体の正常構造・機能	全身・口腔の構造と機能	組織（上皮、結合（支持）、筋組織、神経組織）	①上皮組織の構造と機能を説明する。 ②支持組織の基本構造と機能を説明する。 ③筋組織の基本構造と機能を説明する。 ④神経組織の基本構造と機能を説明する。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-4)-(1) ①～③ 必4 A d, 総II 1 A a, b
解剖・組織 2	黒田範行	人体の正常構造・機能	身体を構成する組織と器官	血液・リンパ	血液の構成要素と役割を説明できる 造血器官と造血機構を説明できる	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-4)-(4)-③～⑥ 5-A-d
解剖・組織 3	原矢委子	人体の正常構造・機能	全身・口腔の構造と機能	内分泌系	内分泌に関わる器官とその構造について説明できる。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-4)-(9)-①、② 必4 A e, 総II 1 ケ a, b
解剖・組織 4	黒田範行	人体の正常構造・機能	感染と免疫	免疫	免疫系担当臓器・細胞の種類と機能を説明できる	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-4)-(4)-④～⑥ C-4-2)-①～④ 5-A-d～f
解剖・組織 5	原矢委子	人体の正常構造・機能	脳	髄膜 脳	髄膜、脳の構造・機能について説明できる	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-4)-(5) ④ 総II 4 カ a

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
解剖・組織 6	黒田範行	人体の発生・成長・発達・加齢	人体の発生	生殖形成、排卵、受精、着床	①受精から着床までの成り立ちを説明する。 ②排卵のメカニズム、性ホルモンについて説明する。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 C-3-4)-(11)-① 6-A-a
解剖・組織 7	原矢委子	人体の正常構造・機能	顎顔面の解剖	頭頸部の筋(表情筋を除く)、組織隙	頭頸部における筋および組織隙について説明できる。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 E-2-1)-③ 総II 4 ウb, c, d, 4 キb
解剖・組織 8	原矢委子	人体の正常構造・機能	全身・口腔の構造と機能	表情筋、唾液腺	表情筋構造、神経支配を説明できる。唾液腺について説明できる。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 E-2-1)-③⑤、E-2-2)-⑥ 総II 4 ウa, 4 オb
解剖・組織 9	原矢委子	人体の正常構造・機能	顎顔面の解剖	頭頸部脈管系	①頭頸部における血液循環について説明できる。 ②頭頸部における静脈について説明できる。 ③頭頸部のリンパ系について説明できる。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 E-2-1)-④ 5-A-e 総II 4 エa, b, c
解剖・組織 10	黒田範行	人体の正常構造・機能	顎顔面の解剖	頭頸部の神経	①表情筋の神経支配について説明できる。 ②咽頭・喉頭の神経について説明できる。	予習：講義の理解を深めるため、参考書などで該当箇所を一読しておくこと。 復習：配布資料または参考書で再度確認をし、該当する問題を解いて理解を深めること。 E-2-1)-⑤ 5-A-e

指導教員：黒田範行、原矢委子

参考書：「ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス」  
「入門組織学 改訂第2版」  
ISBN：978-4-263-45826-6 978-4-524-21617-8

医歯薬出版、  
南江堂

# 総合歯科医学Ⅵ (生理学)

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生理 1	本谷安正	神経系	A. 末梢神経	Aa. 体性神経 Ab. 自律神経	A ①体性神経について説明する。 A ②自律神経及びその機能について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p93-110。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-1)-①～③ C-2-4)-①～② C-3-4)-(5)-①～⑨ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e <総論> 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e
			B. 中枢神経	B. 中枢神経	B 脊髄・脳幹・大脳の機能について説明する。	
			C. 伝達物質	Ca. 伝達物質 Cb. 受容体 Cc. 細胞内情報伝達	C ①伝達物質の種類・性質について説明する。 C ②受容体の種類・性質について説明する。 C ③細胞内情報伝達機構について説明する。	
生理 2	大貫芳樹	内分泌系	A. 内分泌	Aa. ホルモン Ab. 分泌調節 Ac. ストレス	①ホルモンの作用について説明する。 ②ホルモンの分泌調節について説明する。 ③ストレス時の生体反応について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p69-84。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-1)-①～③ C-2-4)-①② C-3-4)-(7)-①～③ C-3-4)-(9)-①～④ C-3-4)-(10)-①～③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e <総論> 総Ⅱ-1-エ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a,d 総Ⅱ-1-ク-a,b
生理 3	大貫芳樹	循環・呼吸	A. 循環	Aa. 心臓 Ab. 血圧	A ①心臓の機能について説明する。 A ②心電図について説明する。 A ③血圧とそれに及ぼす要因について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p33-56。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-2-4)-①② C-3-4)-(4)-①～④ C-3-4)-(8)-①② E-1-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必10-エ-a <総論> 総Ⅱ-1-ウ-a,b 総Ⅵ-4-ア-a,b
			B. 呼吸	Ba. 呼吸運動 Bb. ガス交換	B ①呼吸運動について説明する。 B ②呼吸運動調節の機序について説明する。 B ③外・内呼吸におけるガス交換について説明する。	

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生理 4	本谷安正	感覚	A. 体性感覚 B. 特殊感覚 C. 神経感覚系の疾患	Aa. 体性感覚 Ab. 口腔体性感覚 B. 特殊感覚 C. 神経感覚系の疾患	A ①体性感覚について説明する。 A ②歯痛等の口腔感覚について説明する。 B ①特殊感覚について説明する。 B ②味覚、嗅覚について説明する。 C. 神経感覚系の疾患の症状および原因について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p111-121。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(5)-①～④ C-3-4)-(6)-①～④ E-2-2)-⑨⑩ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e <総論> 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-6-ア-a,b,c 総Ⅲ-1-ケ-a,b 総Ⅳ-1-キ,ク
生理 5	大貫芳樹	消化機能・排泄系・加齢 I	A. 消化機能 B. 排尿 C. 加齢	Aa. 消化管の構造と機能 Ab. 栄養素の吸収 Ac. 排便 B. 排尿 Ca. 全身領域の加齢 Cb. 口腔領域の加齢	A ①消化管の構造と機能について説明する。 A ②三大栄養素の吸収と運搬について説明する。 A ③排便反射について説明する。 B ①尿生成・蓄尿・排尿機能について説明する。 C ①内分泌・循環器・呼吸器・泌尿器・神経系・運動系・感覚系の加齢について説明する。 C ②咀嚼・嚥下・口腔体性感覚・味覚・唾液の加齢について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p57-68, p85-92, p122-131, p184-189。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(5)-①～④ C-3-4)-(6)-③ C-3-4)-(7)-①～③ C-3-4)-(10)-①～③ E-2-3)-② E-5-1)-① 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必6-エ-a～c <総論> 総Ⅱ-1-エ-a,b 総Ⅱ-1-カ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-8-ウ-a～c 総Ⅱ-8-エ-a,b
生理 6	本谷安正	口腔機能 I	A. 唾液 B. 顎反射 C. 咀嚼	Aa. 唾液腺 Ab. 唾液の性状・機能 B. 顎反射 C. 咀嚼	A ①唾液腺について説明する A ②唾液の性状・成分・分泌機序について説明する。 B ①顎反射の機序について説明する。 C ①咀嚼の過程・機序、咀嚼能率について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲: p134-168。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(1)-③ C-3-4)-(3)-③ C-3-4)-(5)-①～④ E-2-1)-③⑤⑦⑧～⑪ E-2-2)-⑤⑥ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a～c 総Ⅱ-6-オ-a,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生理 7	大貫芳樹	消化機能・排泄系・加齢Ⅱ	A. 消化機能	Aa. 消化管の構造と機能	A ①消化管の構造と機能について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲： p57-68, p85-92, p122-131, p184-189。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ C-3-4)-(5)-①～④ C-3-4)-(6)-③ C-3-4)-(7)-①～③ C-3-4)-(10)-①～③ E-2-3)-② E-5-1)-① 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必6-エ-a～c <総論> 総Ⅱ-1-エ-a,b 総Ⅱ-1-カ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-8-ウ-a～c 総Ⅱ-8-エ-a,b
				Ab. 栄養素の吸収	A ②三大栄養素の吸収と運搬について説明する。	
生理 7	大貫芳樹	消化機能・排泄系・加齢Ⅱ	A. 消化機能	Ac. 排便	A ③排便反射について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲： p169-183。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ E-2-1)-⑧～⑩ E-2-2)-⑧ E-5-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必10-オ-c～g <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a～c 総Ⅱ-6-エ-a～c 総Ⅵ-1-ア-d 総Ⅵ-1-イ-a～h 総Ⅵ-4-イ-b 総Ⅵ-5-ア-b
				B. 排尿	B ①尿生成・蓄尿・排尿機能について説明する。	
生理 7	大貫芳樹	消化機能・排泄系・加齢Ⅱ	B. 排尿	B. 排尿	B ②尿生成・蓄尿・排尿機能について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲： p169-183。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ E-2-1)-⑧～⑩ E-2-2)-⑧ E-5-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必10-オ-c～g <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a～c 総Ⅱ-6-エ-a～c 総Ⅵ-1-ア-d 総Ⅵ-1-イ-a～h 総Ⅵ-4-イ-b 総Ⅵ-5-ア-b
				C. 加齢	C ①内分泌・循環器・呼吸器・泌尿器・神経系・運動系・感覚系の加齢について説明する。	
生理 7	大貫芳樹	消化機能・排泄系・加齢Ⅱ	C. 加齢	Ca. 全身領域の加齢	C ②咀嚼・嚥下・口腔体性感覚・味覚・唾液の加齢について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲： p169-183。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ E-2-1)-⑧～⑩ E-2-2)-⑧ E-5-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必10-オ-c～g <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a～c 総Ⅱ-6-エ-a～c 総Ⅵ-1-ア-d 総Ⅵ-1-イ-a～h 総Ⅵ-4-イ-b 総Ⅵ-5-ア-b
				Cb. 口腔領域の加齢	C ③咀嚼・嚥下・口腔体性感覚・味覚・唾液の加齢について説明する。	
生理 8	本谷安正	口腔機能Ⅱ	A. 嚥下・嘔吐	Aa. 嚥下	A ①嚥下の機序について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲： p169-183。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ E-2-1)-⑧～⑩ E-2-2)-⑧ E-5-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必10-オ-c～g <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a～c 総Ⅱ-6-エ-a～c 総Ⅵ-1-ア-d 総Ⅵ-1-イ-a～h 総Ⅵ-4-イ-b 総Ⅵ-5-ア-b
				Ab. 嘔吐	A ②嘔吐の機序について説明する。	
生理 8	本谷安正	口腔機能Ⅱ	A. 嚥下・嘔吐	Ba. 声帯と発声	B ①発声機構について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲： p169-183。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ E-2-1)-⑧～⑩ E-2-2)-⑧ E-5-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必10-オ-c～g <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a～c 総Ⅱ-6-エ-a～c 総Ⅵ-1-ア-d 総Ⅵ-1-イ-a～h 総Ⅵ-4-イ-b 総Ⅵ-5-ア-b
				Bb. 構音	B ②構音について説明する。	
生理 8	本谷安正	口腔機能Ⅱ	B. 発声	C. 口腔機能検査	C ③口腔機能検査について説明する。	スタディー生理学の予習復習範囲： p169-183。また、配布物、ノートを整理し復習すること。 コアカリ E-2-1)-⑧～⑩ E-2-2)-⑧ E-5-3)-③ 出題基準 <必修> 必5-ア-a～e 必10-オ-c～g <総論> 総Ⅱ-1-ア-a,b 総Ⅱ-1-イ-a,b 総Ⅱ-1-キ-a～e 総Ⅱ-6-イ-a,b 総Ⅱ-6-ウ-a～c 総Ⅱ-6-エ-a～c 総Ⅵ-1-ア-d 総Ⅵ-1-イ-a～h 総Ⅵ-4-イ-b 総Ⅵ-5-ア-b

指導教員：大貫芳樹、本谷安正

参考書：①「基礎歯科生理学」第7版 医歯薬出版

②「スタディ生理学・口腔生理学」第3版、永末書店

ISBN：① 978-4-263-45846-4、② 978-4-8160-1338-6



# 総合歯科医学Ⅵ (分子生化学)

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生化1	山越康雄 山本竜司	1 ヌクレオチド	1 A 核酸の構造	1 Aa DNAとRNA  1 Ab 染色体	1 Aa① ヌクレオチドの構成成分を説明する。 1 Aa② DNAとRNAの構造を説明する。 1 Ab① 染色体の構造を説明する。 1 Ab② 細胞分裂を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4アa～c.f、総Ⅱ1、総Ⅳ3アg コアカリ：C-2-1)-④、C-2-2)-①～⑤
		2 タンパク質合成	2 A セントラルドグマ	2 Aa DNAの複製 2 Ab PCR検査  2 Ac 転写  2 Ad 翻訳 2 Ae 修飾と分解	2 Aa① DNAの複製機構を説明する。 2 Ab① PCR検査の原理を説明する。 2 Ac① 転写の機構を説明する。 2 Ac② スプライシングの機構を説明する。 2 Ad① 翻訳の機構を説明する。 2 Ae① タンパク質の修飾について説明する。 2 Ae② タンパク質の分解について説明する。	
生化2	山越康雄 山本竜司	3 歯と歯周組織の構造	3 A 結合組織の成分	3 Aa コラーゲン	3 Aa① コラーゲンの生合成を説明する。 3 Aa② コラーゲンファミリーを説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4アa.d、総Ⅴ5イa.b、総Ⅲ2アa コアカリ：C-2-1)-①、②、C-2-2)-③、④、C-2-3)-①、C-2-4)-①、③、C-3-4)-(2)-②、C-5-1)-①
				3 Ab グリコサミノグリカン 3 Ac プロテオグリカン 3 Ad 細胞接着タンパク質	3 Ab① グリコサミノグリカンの種類と構造を説明する。 3 Ac① プロテオグリカンの種類と分布を説明する。 3 Ad① 細胞接着タンパク質の構造と種類を説明する。	
生化3	山越康雄 山本竜司	4 歯と歯周組織の構造	4 A 硬組織の有機成分	4 Aa 非コラーゲン性タンパク(NCP)	4 Aa① 骨のNCPの種類と特徴を説明する。 4 Aa② 象牙質のNCPの種類と特徴を説明する。 4 Aa③ エナメルタンパクの種類と特徴を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4アd.e、総Ⅴ5イa.b、総Ⅱ8イb、総Ⅱ8ウb.c コアカリ：C-2-4)-③、C-3-4)-(2)-②、④、⑤、C-5-1)-①、E-3-1)-①、③、④
			4 B 硬組織の無機成分 4 C 硬組織の石灰化機構	4 Ba ヒドロキシアパタイト  4 Ca 基質小胞性石灰化 4 Cb エナメル芽細胞性石灰化	4 Ba① ヒドロキシアパタイトの構造と特徴を説明する。  4 Ca① 基質小胞性石灰化機構を説明する。 4 Cb① エナメル芽細胞性石灰化機構を説明する。	

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
生化4	山越康雄 山本竜司	5 骨代謝	5 A 軟骨形成 5 B 骨形成 5 C 骨吸収 5 D 骨のリモデリング	5 Aa 軟骨細胞 5 Ba 骨芽細胞 5 Ca 破骨細胞 5 Da 破骨細胞分化	5 Aa① 軟骨細胞の分化調節を説明する。 5 Ba① 骨芽細胞の分化調節を説明する。 5 Ba② 骨細胞の特徴を説明する。 5 Ca① 破骨細胞の特徴を説明する。 5 Da① M-CSF系分化を説明する。 5 Da② RANK-RANKL系分化を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4 Ae、総Ⅱ8ウa～c コアカリ：C-2-4)-③、C-3-4)-(2)-②～⑤、C-5-1)-①
生化5	山越康雄 山本竜司	6 血清Caの恒常性	6 A Ca調節ホルモン 6 B 標的器官	6 Aa 血清Caの調節 6 Ba 副甲状腺ホルモン 6 Bb 活性型ビタミンD 6 Bc カルシトニン	6 Aa① Caの働きを説明する。 6 Aa② 血清Caの恒常性に関わる臓器、ホルモンを説明する。 6 Ba① 副甲状腺ホルモンの構造と作用を説明する。 6 Bb① 活性型ビタミンDの合成機序と作用を説明する。 6 Bc① カルシトニンの構造と作用を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4 Ae、総Ⅱ8ウb,c コアカリ：C-3-4)-(2)-②～⑤、C-5-1)-①
生化6	山越康雄 山本竜司	7 口腔環境	7 A 唾液の有機成分 7 B 唾液の無機成分	7 Aa 唾液のタンパク質 7 Ab 唾液の酵素 7 Ba 唾液の無機成分	7 Aa① 唾液タンパク質の種類と性質を説明する。 7 Ab① 唾液酵素の種類と性質を説明する。 7 Ba① 唾液無機成分の種類と性質を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4 Ae、必4 Ic、総Ⅱ6オa、総Ⅱ7イ コアカリ：C-4-2)-⑦、E-2-2)-⑤
生化7	山越康雄 山本竜司	8 口腔内付着物	8 A ペリクル 8 B プラーク 8 C プラーク内の酸産生	8 Aa ペリクルの組成 8 Ba プラーク形成 8 Bb 菌体外多糖 8 Ca 歯肉縁上プラーク 8 Cb 歯肉縁下プラーク	8 Aa① ペリクルの成分と役割を説明する。 8 Ba① プラークの形成機序を説明する。 8 Bb① 菌体外多糖の生成機序を説明する。 8 Bb② グルカンの構造を説明する。 8 Bb③ フルクタンの構造を説明する。 8 Ca① 歯肉縁上プラークの酸産生機序を説明する。 8 Ca② ステファンカーブを説明する。 8 Cb① 歯肉縁下プラークの酸産生機序を説明する。 8 Cb② 口臭原因物質の種類と産生機序を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4 A e,f、必4 Ic、総Ⅱ2イa,b、総Ⅱ6カa コアカリ：C-2-1)-①、②、④、C-4-2)-⑦、E-2-2)-⑤、E-3-2)-④

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習	
生化 8	山越康雄 山本竜司	9 炎症と免疫	9 A 自然免疫と獲得免疫	9 Aa 免疫担当細胞	9 Aa① 免疫担当細胞の種類と役割を説明する。	配布した資料を確認し、分からない箇所を2年次の講義ノート、補講プリントで復習しておくこと。 国試出題基準：必4アg、必6アド、総Ⅱ3エa,b、総Ⅲ1カa コアカリ：C-2-1)-①～③、C-4-2)-①～③、C-5-5)-①,②	
				9 B ケミカルメディエーター	9 Ba アミン		9 Ba① アミンの種類と生成機序を説明する。 9 Ba② 血管透過性の機序を説明する。
					9 Bb キニン		9 Bb① キニンの種類と生成機序を説明する。 9 Bb② 白血球遊走作用の機序を説明する。
					9 Bc アラキドン酸由来エイコサノイド		9 Bc① アラキドン酸カスケードを説明する。

指導教員：山越康雄、山本竜司

参考書：ベーシック生化学、口腔生化学（第6版）  
ISBN：9784759811766、9784263458228

# 総合歯科医学Ⅵ（口腔微生物学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
微生物 1	大島朋子	口腔生態系	口腔環境と常在微生物	口腔環境の特殊性  口腔常在微生物叢 ペリクル プラーク（歯垢） 歯肉溝滲出液 歯肉縁下プラーク	①微生物の口腔環境適応性を説明する。 ②口腔の生態系について説明する。 ③ヒトと常在微生物の関わりについて説明する。 ④プラーク（歯垢）について説明する。 ⑤歯肉縁下プラークの特性を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。  モデルコアカリキュラム：C 4-1) ①～⑤、E-3-2) ①～④ 国家試験出題基準： 必修4イabc、必修6イj、必修7ウd～il、総論Ⅱ2アbイab、
微生物 2	大島朋子	口腔感染症および口腔に症状がみられる全身感染症	A. う蝕  B. 歯周病  C. その他の口腔感染症および口腔に症状がみられる全身感染症	う蝕原性細菌  歯内-根尖歯周組織の感染症  歯周病原性細菌  口腔カンジダ症  顎放線菌症  結核  梅毒	①う蝕原性細菌の特徴を説明する。 ②う蝕病原性を説明する。 ③歯内-根尖歯周組織の感染症について説明する。 ④歯周病の分類と原因細菌について説明する。 ⑤歯周病と免疫の関わりを説明する。 ⑥歯周病原細菌の病原因子を説明する。 ⑦口腔カンジダ症の原因真菌の病原因子を説明する。 ⑧顎放線菌症の成り立ちを説明する。 ⑨口腔内の結核の特徴を説明する。 ⑩口腔内の梅毒の特徴を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。  モデルコアカリキュラム：C 4-1) ①～⑤、E-3-2) ①～④ 国家試験出題基準： 必修4イabc、必修6イj、必修7ウd～i、総論Ⅱ2アbイab、各論Ⅱ1アab、各論Ⅱ1Ⅰea、各論Ⅱ1Ⅰoa、各論Ⅱ2アa～c、各論Ⅱ2ウa.c、各論Ⅱ3アa.b、各論Ⅲ1ウa～f、クahjt、各論Ⅲ4ウ
微生物 3	大島朋子	ウイルス感染症	A. 総論	ウイルスとは ウイルス感染症の特徴 予防法と治療法	①歯科医にとって重要なウイルス感染症を説明する。 ②予防法と治療法を説明する。	[予習] manabaで配布された講義資料（ノート）を読んで内容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習すること。  モデルコアカリキュラム：C 4-1) ①～⑤、E-6 ①～③ 国家試験出題基準： 必修6アe、必修7ウde、必修11スb、総論Ⅰ7アabc、総論Ⅲ1キab、総論Ⅴ6アi、各論Ⅰ3a～e、各論Ⅲ4イ、総論Ⅶ1Ⅰk、各論Ⅴ2k

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
微生物 4	大島朋子	ウイルス 感染症	B. 各論	RNAウイルス各 論 DNAウイルス各 論	③口腔領域に症状が見ら れるウイルス感染症を 説明する。 ④歯科診療上注意が必要 なウイルス感染症を説 明する。	[予習] manabaで配布された講義 資料（ノート）を読んで内 容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習する こと。 モデルコアカリキュラム： C 4-1) ①～⑤、E-6 ①～③ 国家試験出題基準： 必修7ウde、 総論Ⅲ1キ、 総論Ⅱ2ア、総論Ⅴ6Ai、 総論Ⅶ1エk、各論Ⅰ3ウ、 各論Ⅲ1クahj、各論Ⅲ4 イ
微生物 5	大島朋子	免疫	A. 免疫系の 分類 B. 免疫系の 構成 C. 免疫寛容	自然免疫と獲得免 疫  粘膜免疫  免疫関連臓器  免疫関連細胞  自己寛容	①免疫応答の成り立ちの 特性について説明する。 ②自然免疫について説明 する。 ③獲得免疫について説明 する。 ④粘膜免疫の特殊性につ いて説明する。 ⑤中枢および末梢免疫関 連臓器について説明す る。 ⑥免疫関連細胞を分類し 説明する。 ⑦免疫における自己寛容 の成立について説明す る。	[予習] manabaで配布された講義 資料（ノート）を読んで内 容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習する こと。 モデルコアカリキュラム： C 4-2) ①～⑤、E-6 ①～ ③ 国家試験出題基準： 必修4アg、 総論Ⅱ3ア～オ、 総論Ⅳ1オ
微生物 6	大島朋子	免疫	D. 免疫系の 機能  E. アレルギー F. 免疫異常	体液性免疫  細胞性免疫  サイトカイン	①体液性免疫の仕組みを 説明する。 ②細胞性免疫の仕組みを 説明する。 ③サイトカインを列挙し 分類する。 ④アレルギー反応を分類 し説明する。 ⑥免疫不全症を分類し説 明する。 ⑦自己免疫疾患を分類し 説明する。	[予習] manabaで配布された講義 資料（ノート）を読んで内 容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習する こと。 モデルコアカリキュラム： C 4-2) ①～⑤、E-6 ①～ ③ 国家試験出題基準： 必修4アg、必修6 Af、 総論Ⅱ3ア～オ、 総論Ⅲ1ク、 総論Ⅳ1オ、 総論Ⅴ6 Ak、 総論Ⅵ3 Ad、 総論Ⅶ1 E j、 各論Ⅲ1カe、 各論Ⅲ4 イエオ、 各論Ⅲ4 コbc、 各論Ⅲ4 ス j、 各論Ⅴ E j

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
微生物 7	高尾亜由子	院内感染 対策	A. 感染症化 学療法	抗菌薬 抗真菌薬 抗菌薬の作用機序 抗菌薬の適正使用 <AMS> と薬剤 耐性<AMR> 副作用（有害事 象）	①各種抗菌薬と抗真菌薬 の種類と作用機序を説 明する。 ②各種抗菌薬と抗真菌薬 の耐性、おもな薬剤体 制菌を説明する。 ③各種抗菌薬と抗真菌薬 の副作用を説明する。	[予習] manabaで配布された講義 資料（ノート）を読んで内 容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習する こと。 モデルコアカリキュラム： C 4-1) ①～⑤、E-6 ②～③ 国家試験出題基準： 必修2 キa～d、必修7 Ⅰ a、必修11 Ⅰad、必修11 Ⅰ c、総論Ⅰ 7アbc、総論Ⅶ 4アb、総論Ⅶ 8ウc
微生物 8	高尾亜由子	院内感染 対策	B. 滅菌 C. 滅菌	滅菌法の原理と適 用  消毒薬の作用機序 と適用	①おもな滅菌法の種類、 原理、適用条件を説明 する。 ②おもな消毒薬の種類、 有効範囲、作用機序、 適用条件を説明する。	[予習] manabaで配布された講義 資料（ノート）を読んで内 容を理解しておくこと。 [復習] アンサーの問題で復習する こと。 モデルコアカリキュラム： C 4-1) ①～⑤、E-6 ②～③ 国家試験出題基準： 必修2 キa～d、必修11 Ⅰ ad、総論Ⅰ 7アbc、総論 Ⅶ 4アb

指導教員：大島朋子、高尾亜由子

参考書：口腔微生物学—微生物の性状と感染— 第7版 石原和幸 他編著、学建書院、 ¥8,500+税  
ISBN：978-4-7624-6654-0  
口腔微生物学サイドリーダー 第4版 前田伸子、大島朋子著、学建書院、 ¥3,520+税  
ISBN：978-4-7624-3143-2  
口腔微生物学・免疫学 第5版 川端重忠 他編著、医歯薬出版株式会社、 ¥10,000+税  
ISBN：978-4-263-45866-2 C3047

# 総合歯科医学Ⅵ (病理学)

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
病理 1	尾曲大輔	1 炎症 (総論)	1 A 炎症の基本的概念	1 Aa 炎症の定義	1 A①炎症の定義と機序を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-4-2)⑤⑥ C-5-5)①～④ E-2-4)-(3)② E-2-4)-(4)① E-2-4)-(10)③⑩ E-6① F-1-1)⑦ 必7-ア-d～f 必8-ア-a 必8-イ-a 必8-ウ-d,f,g 総Ⅲ-1-オa～d 総Ⅲ-1-カ-a～c 総Ⅲ-1-キa～c 総Ⅳ-1-ア 各Ⅰ-2-イ-f 各Ⅲ-1-ウ-b,f 各Ⅲ-4-イ-a 各Ⅲ-4-ウ-a,c 各Ⅲ-4-エ-a
				1 Ab 炎症の原因	1 A②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。	
			1 Ac 炎症の経過			
			1 B 炎症の種類	1 Ba 滲出性炎	1 B①滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。	
		1 Bb 変質性炎				
		2 免疫異常	2 A アレルギー	2 A アレルギー	2 AB① アレルギーの分類を説明できる。	
					2 AB② アレルギー、自己免疫疾患の種類と発症機序を説明できる。	
			2 B 自己免疫疾患	2 B 自己免疫疾患	2 C①ヒト免疫不全ウイルス (human immunodeficiency virus <HIV>) 感染症と後天性免疫不全症候群 (acquired immune deficiency syndrome <AIDS>) の口腔症状を説明できる。	
			2 C 後天性免疫不全症候群 <AIDS>	2 C 後天性免疫不全症候群 <AIDS>		
病理 2	松本直行	1 病理検査	1 A 検体検査	1 Aa 細胞診	1 Aa① 細胞診の目的と適応、実施方法を説明できる。	
				1 Ab 組織診	1 Ab① 組織診の目的と適応、実施方法を説明できる。	
		1 Ac 染色法		1 Ac① 標本の染色法を説明できる。		
		2 腫瘍 (総論)	2 A 腫瘍の定義と分類	2 Aa 生物学的性状による分類	2 A①腫瘍の定義と分類を説明できる。	
				2 Ab 発生母組織による分類		
			2 B 腫瘍の発生	2 Ba 発がん因子	2 B①腫瘍の病因を説明できる。	
				2 Bb がん遺伝子/がん抑制遺伝子		
			2 C 腫瘍の組織学的な特徴	2 Ca 腫瘍の病理組織学的特徴	2 C①良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。	
				2 Cb 異型性と組織学的分化度	2 C②腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。	
		2 D 腫瘍の進展	2 D 腫瘍の増殖、浸潤、転移、再発	2 Da 腫瘍の増殖、浸潤、転移、再発	2 D①腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。	
2 Db TNM分類						

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
病理3	尾曲大輔	1 歯・歯周組織疾患	1 A 象牙質・歯髄複合体の進行性・退行性病変	1 Aa 第2象牙質、第3象牙質 1 Ab 硬化象牙質 1 Ac 象牙粒 1 Ad 歯髄の石灰変性 1 Ae 象牙芽細胞の空胞変性 1 Af 歯髄の網様萎縮	1 A①象牙質・歯髄複合体の退行性病変・進行性病変の病因と病態を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-2)①②④ C-5-5)①～③ E-2-4)-(3)② E-2-4)-(5)①② E-3-2)② 必7-ア-d.e.i 必7-イ-b.c.i 必8-イ-a 総Ⅲ-1-イ-a.b 総Ⅲ-1-エ-b 総Ⅲ-1-オ-a～d 総Ⅲ-1-カ-a～c 総Ⅲ-2-ア-b,d,e 総Ⅳ-2-ア 総Ⅳ-2-イ 総Ⅳ-2-キ 各Ⅰ-3-イ-c,d,g 各Ⅱ-2-ア-a,b 各Ⅲ-1-エ-a,b 各Ⅲ-2-オ-a,b 各Ⅲ-3-ア-f 各Ⅲ-4-ア-o
		2 嚢胞	1 B 歯髄炎	1 Ba 歯髄充血 1 Bb 単純性歯髄炎 1 Bc 急性化膿性歯髄炎 1 Bd 慢性潰瘍性歯髄炎 1 Be 壊疽性歯髄炎 1 Bf 慢性増殖性歯髄炎	1 B①歯髄炎の病因と病態を説明できる。	
			1 C 根尖性歯周炎	1 Ca 根尖膿瘍 1 Cb 歯根肉芽腫	1 C①根尖性歯周炎の病因と病態を説明できる。	
			2 A 歯原性炎症性嚢胞	2 Aa 歯根嚢胞 2 Ab 残留嚢胞 2 Ac 炎症性傍側性嚢胞	2 AB① 歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。	
			2 B 歯原性発育性嚢胞	2 Ba 歯周嚢胞 2 Bb 含歯性嚢胞 2 Bc 萌出嚢胞 2 Bd 幼児の歯肉嚢胞 2 Be 歯原性角化嚢胞 2 Bf 石灰化歯原性嚢胞 2 Bg 側方性歯周嚢胞		
			2 C 非歯原性嚢胞	2 Ca 切歯管嚢胞 <鼻口蓋管嚢胞> 2 Cb 鼻歯槽嚢胞 <鼻唇嚢胞> 2 Cc 術後性上顎嚢胞 2 Cd 粘液 [貯留] 嚢胞 <粘液瘤> 2 Ce リンパ上皮性嚢胞 (鰓嚢胞、側頸嚢胞) 2 Cf 甲状腺管嚢胞 2 Cg 類皮嚢胞、類表皮嚢胞	2 C①顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 2 C②軟組織に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。	
			2 D 偽嚢胞	2 Da 単純性骨嚢胞 2 Db 動脈瘤様骨嚢胞 2 Dc 静止性骨空洞	2 D①偽嚢胞の種類と特徴を列挙できる。	



回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習	
病理 4	松本直行	1 口腔粘膜疾患 1	1 A 損傷	1 Aa びらん、潰瘍、アフタ	1 ① 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 1 ② 水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。 1 ③ 口腔粘膜に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫異常の症状を列挙できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-4-1)③ C-4-2)⑤⑥ C-5-5)①②④ E-2-4)-(4)①② E-2-4)-(10)② E-6 ① F-1-1)⑦ 必 7-ア-c~f,i 必 7-イ-h,l,n,o 必 8-イ-a,f 必 8-ウ-d,e,g,i,l 必 8-エ-a 総Ⅲ-1-ウ-d 総Ⅲ-1-オ-a~d 総Ⅲ-1-カ-a~c 総Ⅲ-1-キ-a~d 総Ⅲ-1-サ-a,b 総Ⅲ-2-ア-c,d,g 総Ⅳ-1-イ 総Ⅳ-2-エ 各 I-3-ウ-a~e 各Ⅲ-1-イ-a 各Ⅲ-1-ク-a~g, i,j,m,n 各Ⅲ-4-イ-a~g 各Ⅲ-4-エ-a,d 各Ⅲ-4-オ-a,c 各Ⅲ-4-カ-h 各Ⅲ-1-ク-m,n,p	
				1 B ウイルス感染症			1 Ba 単純疱疹<単純ヘルペス>
							1 Bb 水痘・带状疱疹
			1 Bc ヘルパンギーナ				
			1 C 細菌感染症	1 Bd 手足口病			
				1 Be 麻疹			
				1 Bf 風疹			
			1 D 真菌感染症	1 Bg 毛様白板症			
				1 Ca 顎放線菌症			
				1 Db カンジダ症			
			1 E 免疫異常	1 Ea 移植片対宿主病<GVHD>			
				1 Eb 尋常性天疱瘡			
				1 Ec 水疱性類天疱瘡			
				1 Ed 円板状エリテマトーデス			
				1 Ee 全身性エリテマトーデス			
				1 Ef Behçet病			
				1 Eg 扁平苔癬			
1 Eh 金属/薬剤アレルギー							
1 Ei 多形 [滲出性] 紅斑、Stevens-Johnson症候群、中毒性表皮壊死症							
1 F 色素沈着	1 Fa 単純黒子						
	1 Fb メタルタトゥー						
1 G その他	1 Ga 白色海綿状母斑						
病理 5	松本直行	1 口腔粘膜疾患 2	1 A 腫瘍	1 Aa 乳頭腫	1 ① 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 1 A①口腔粘膜上皮由来の腫瘍を分類できる。 1 A②口腔上皮性異形成から扁平上皮癌への進展と組織像を説明できる。 1 Afg① メラニン産生腫瘍について説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-6)①~⑥ E-2-4-(6)①~⑥ E-2-4)-(10)④ 必 7-ア-d,e,g,j 必 7-イ-c,j,l 必 8-イ-a,d,f 必 8-エ-a 総Ⅲ-1-ウ-a 総Ⅲ-1-サ-b 総Ⅲ-1-ク-a~g	
				1 Ab 口腔潜在的悪性疾患			
				1 Ac 口腔上皮性異形成			
				1 Ad 上皮内癌			
				1 Ae 扁平上皮癌			
				1 Af 色素性母斑			
				1 Ag 悪性黒色腫			
				1 B 腫瘍類似疾患			1 Ba 歯肉線維腫症
							1 Bb 薬物性歯肉増殖症
							1 Bc 義歯性線維腫
			1 Bd エプーリス				
			1 Bd① エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。				

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
病理5						総Ⅲ-2-ア-b~d 総Ⅳ-1-イ 総Ⅳ-2-イ 総Ⅳ-2-エ 各Ⅱ-3-ア-a 各Ⅲ-1-オ-b~i,m ~o 各Ⅲ-1-ク-i~l,o
病理6	松本直行	1 唾液腺疾患	1A 唾液腺炎  1B 唾液腺良性腫瘍 1C 唾液腺悪性腫瘍	1Aa 流行性耳下腺炎 1Ab 巨細胞封入体症 1Ac Sjögren症候群 1Ad IgG4 関連涙腺・唾液腺炎<Mikulicz病> 1Ae 壊死性唾液腺化生  1Ba 多形腺腫 1Bb Warthin腫瘍 1Ca 腺様嚢胞癌 1Cb 粘表皮癌	1① 正常な唾液腺の構造を説明できる。 1A① 唾液腺に発生する非腫瘍性疾患を列挙できる。 1Ac① Sjögren症候群を説明できる。 1Ad① IgG4 関連疾患を説明できる。  1BC① 唾液腺腫瘍を分類できる。 1BC② 唾液腺の腫瘍の成り立ちを説明できる。 1BC③ 主な唾液腺腫瘍の病理組織像を説明できる。 1BC④ 主な唾液腺腫瘍の疫学を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-4-2)⑥ C-5-5)①~④ C-5-6)①②④~⑥ E-2-4)-(8)①~④ 必7-ア-d~g 必7-イ-j,m,n 必8-イ-k 総Ⅲ-1-オ-a~d 総Ⅲ-1-カ-a~c 総Ⅲ-1-キ-a~c 総Ⅲ-1-ク-a~e,g 総Ⅲ-2-ア-f 総Ⅳ-2-キ 総Ⅳ-2-ケ 各Ⅲ-3-ア-d,e, g~j,l
病理7	松本直行	1 歯源性腫瘍	1A 良性上皮性歯源性腫瘍  1B 良性上皮間葉混合性歯源性腫瘍 1C 良性間葉性歯源性腫瘍	1Aa エナメル上皮腫 1Ab 石灰化上皮性歯源性腫瘍 1Ac 腺腫様歯源性腫瘍  1Ba 歯牙腫 1Bb エナメル上皮線維腫  1Ca 歯源性線維腫 1Cb 歯源性粘液腫 1Cc セメント芽細胞腫 1Cd セメント質骨形成線維腫	1① 歯源性腫瘍の発生を説明できる。 1② 歯源性腫瘍を分類できる。 1③ 歯源性腫瘍の特徴的な組織像を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-6)①②④~⑥ E-2-4)-(6)①② 必7-ア-g 必7-イ-j 総Ⅲ-1-ク-a~e,g 総Ⅲ-2-ア-e 総Ⅳ-2-オ 各Ⅰ-3-ア-a 各Ⅲ-1-オ-a 各Ⅲ-2-カ-a,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
病理 8	松本直行	1 顎骨／顎関節疾患	1 A 顎骨の炎症	1 Aa 急性化膿性骨髄炎 1 Ab 慢性化膿性骨髄炎 1 Ac 慢性硬化性骨髄炎 1 Ad 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死	1 A①顎骨骨髄炎の成立機序を説明できる。	授業の理解を図るため、あらかじめ教科書や参考書を熟読して講義に臨み、復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書や参考書等を参照し補うこと。 C-5-5)①～④ C-5-6)①②④～⑥ E-2-4)-(6)①～④ E-2-4)-(7)①② E-6① F-1-1)⑦ 必7-A-d.g 必7-I-j.k.o 必8-I-g,h 必8-II-a 総Ⅲ-1-オ-a～d 総Ⅲ-1-カ-a～c 総Ⅲ-1-ク-a～e.g 総Ⅲ-1-コ-b 総Ⅲ-1-サ-a,b 総Ⅲ-2-A-d,e.g 総Ⅳ-2-オ 総Ⅳ-2-カ 総Ⅳ-2-キ 総Ⅳ-2-ク 各Ⅰ-3-エ-c 各Ⅲ-1-オ-b 各Ⅲ-1-ク-p 各Ⅲ-2-A-c 各Ⅲ-2-エ-a～c,f 各Ⅲ-2-カ-c～f 各Ⅲ-4-A-g 各Ⅲ-4-A-l 各Ⅲ-4-A-n
		2 軟組織疾患	1 B 顎骨の腫瘍および腫瘍類似疾患	1 Ba 外骨症（口蓋隆起、下顎隆起） 1 Bb 骨腫（Gardner症候群を含む） 1 Bc 線維性異形成症（McCune-Albright症候群を含む） 1 Bd 軟骨腫（滑膜軟骨腫症を含む） 1 Be 骨形成線維腫 1 Bf 骨肉腫 1 Bg 骨髄腫	1 B①外骨症（口蓋隆起、下顎隆起）を説明できる。 1 B・2 A① 顎骨および軟組織に発生する腫瘍の特徴を説明できる。 1 B・2 A② 顎骨および軟組織に発生する腫瘍の病理組織像を説明できる。	
			2 A 軟組織の腫瘍および腫瘍類似疾患	2 Aa 脂肪腫 2 Ab 血管腫（Sturge-Weber症候群を含む） 2 Ac リンパ管腫 2 Ad 神経線維腫（I型神経線維腫症・von Recklinghausen病を含む） 2 Ae 神経鞘腫		

指導教員：松本直行、尾曲大輔

参考書：「新口腔病理学」 下野正基・高田隆・田沼順一・豊澤悟 編著 医歯薬出版；第3版 2021  
ISBN：978-4-263-45859-4

# 総合歯科医学Ⅵ（薬理学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
薬理 1	二藤 彰	1. 薬理学総論	1 D. 薬効に影響を及ぼす身体的特徴 1 E. 用量  1 F. 薬物の耐性、依存	1 Da 小児、妊婦、高齢者への投薬、服薬指導  1 Ea. 有効量、治療量 1 Eb. 中毒量 1 Ec. 致死量 1 Ed. 50%有効量 1 Ee. 50%致死量 1 Fa. 耐性と依存 1 Fb. 依存性薬物	1 D①薬物の適用方法の種類を説明する。  1 E①薬物の用量と反応について説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 C-6-2)-③, ④ C-6-3)-② 必11-コ-a~c 総V-4-エ 総V-6-エ 総VII-8-ア-a~c 総VII-8-イ-b~e 総VII-8-ウ-h 各V-4-ア-f
薬理 2	二藤 彰	1. 薬理学総論	1 G. 薬事法規  1 H. 処方、処方箋、治験  1 I. 薬物の種類と管理	1 Ga. 医薬品医療機器等法 1 Gb. 日本薬局方  1 Ha. 処方箋  1 Ia. 劇薬、毒薬、麻薬、覚醒剤の標示と保管 1 Ib. 治験 1 Ic. 薬効の評価	1 G①医薬品医療機器等法と日本薬局方について説明する。 1 G②処方、処方箋について説明する。 1 H①薬物の種類と保管について説明する。 1 H②治験について説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 B-2-1)-④ C-6-1)-①~③ 必02-イ-d 必02-エ-b 必02-カ-f 必02-ケ-a 必02-コ-a 総I-1-エ-e 総I-5-ア-c
薬理 3	出野 尚	1. 薬理学総論	1 J. 薬理作用の機序	1 Ja. 受容体を介する作用	1 J①薬物の作用機序について説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 C-6-2)-①~③, ⑤ 必11-コ-a~c 総VII-4-ウ-a 総VII-8-イ-b, d
薬理 4	出野 尚	1. 薬理学総論	1 J. 薬理作用の機序	1 Jb. 受容体を介さない作用	1 J①薬物の作用機序について説明する。	manabaにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 C-6-2)-①~③, ⑤ 必11-コ-a~c 総VII-4-ウ-a 総VII-8-イ-b, d

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
薬理 5	中島和久	2. 抗感染症薬	2 A. 抗菌薬 2 B. 抗真菌薬 2 C. 抗ウイルス薬 2 D. 消毒薬		2 A①主な抗菌薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 2 B①主な抗真菌薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 2 C①主な抗ウイルス薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 2 D①主な消毒薬を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。	manabalにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 C-4-1)-③～⑤ C-6-2)-②, ③, ⑤ C-6-4)-①, ② 必02-キ-c 必11-コ-a, b, c 総VII-8-ウ-c
薬理 6	中島和久	3. 抗炎症薬	3 A. 抗炎症薬	3 Aa. 非ステロイド性抗炎症薬 3 Ab. ステロイド性抗炎症薬 3 Ac. 解熱鎮痛薬	3 A①主 なNSAID を列挙し、作用機序、薬理作用を説明する。 3 A②ステロイド性抗炎症薬の作用機序、薬理作用を説明する。 3 A③解熱鎮痛薬の作用機序、薬理作用を説明する。 3 A④副作用を説明する。	manabalにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 C-6-2)-②, ⑤ C-6-4)-① 必11-コ-a, b, c 総VII-8-ウ-a, b
薬理 7	中島和久	4. 抗腫瘍薬 5. 代謝改善薬 6. 止血薬と抗血栓薬	4 A. 抗腫瘍薬 5 A. 骨粗鬆症治療薬 6 A. 止血薬 6 B. 抗血栓薬	4 Aa アルキル化薬 4 Ab 代謝拮抗薬 4 Ac 抗がん抗生物質 4 Ad 植物アルカロイド 5 Aa. 骨吸収阻害薬 6 Aa 血液凝固機構 6 Ab 全身性止血薬 6 Ac 局所性止血薬 6 Ba 抗凝血薬 6 Bb 抗血小板薬 6 Bc 血栓溶解薬	4 A①抗腫瘍薬の作用機序を説明する。 4 A②耐性獲得の機序を説明する。 4 A③副作用を説明する。 5 A①骨吸収阻害薬の作用を説明する。 6 A①止血薬の作用機序を説明する。 6 B①抗血栓薬の作用機序を説明する。	manabalにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 C-6-2)-②, ⑤ C-6-3)-① C-6-4)-① 必11-コ-a, c 総VII-5-イ 総VII-8-ウ-d~f 各III-1-カ 各III-1-ク 各III-2-エ
薬理 8	中島和久	7. 治療薬の副作用と有害作用		7 A. 副作用、毒性の種類 7 B. 副作用への対策	7 A①副作用を説明する。 7 B①副作用への対策を説明する。	manabalにアップロードしたまとめプリントをダウンロードする。まとめプリントの予習と講義内容の確認を行う。 C-6-2)-②, ④, ⑤ C-6-4)-① 必07-エ-a 必11-コ-a, b, c 総V-4-エ 総V-6-エ 総VII-8-イ-d, e 各III-1-ク 各V-4-ア-f

指導教員：二藤 彰、中島和久、出野 尚

参考書：解る! 歯科薬理学 (第3版)、学建書院株式会社  
ISBN : 978-4762426643  
現代歯科薬理学 第6版、医歯薬出版株式会社  
ISBN : 978-4-263-45811-2

# 総合歯科医学Ⅵ (歯科理工学)

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習	
理工1	野本理恵	合着・接着・仮着材	セメント  接着性レジンセメント	リン酸亜鉛セメント、ポリカルボキシレートセメント、グラスアイオノマーセメント、酸化亜鉛ユージノールセメント、EBAセメント	①各種セメントの組成と硬化反応を説明する。 ②各種セメントの特徴を説明する。 ③セメントの粉液比と硬化時間・機械的性質・被膜厚さとの関係を説明する。 ④各種シーラントの組成、硬化反応および特徴を説明できる。 ⑤根管充填材の種類、組成および特徴を説明できる。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。  復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。  D-2-①, D-2-③  必12se,h 総Ⅶ5イウ, 総Ⅶ9	
		シーラント	セメントの性質  グラスアイオノマー系シーラント レジン系シーラント	粉液比、稠度、硬化時間、機械的性質、被膜厚さ			
		根管充填材	固形根管充填材 根管用セメント	ガッタパーチャポイント 酸化亜鉛ユージノールセメント			
理工2	野本理恵	セラミック	陶材	長石質陶材、アルミナ陶材、金属焼付用陶材	①広義と狭義のセラミックスを説明する。 ②陶材の組成と特徴を説明する。 ③ニューセラミックスの特徴を説明する。 ④セラミックスの成形方法を説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。  復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。  D-2-②  必12sef 総Ⅶ6イ, 総Ⅶ7イエ	
			ニューセラミックス	リユーサイト、アルミナ、ジルコニア			
			セラミックスの成形技術・機器	築盛、コンデンス、焼成 CAD/CAM、鋳造、射出成形			
理工3	野本理恵	義歯用材料	義歯床用レジン	加熱重合型アクリルレジン、常温重合型アクリルレジン、射出成形レジン	①義歯床用レジンと関連材料を理解する。 ②各種義歯床用レジンの組成を説明する。 ③各種義歯床用レジンの重合方法と硬化反応を説明する。 ④餅状化に影響する因子を説明する。 ⑤義歯裏装材の組成と特徴を説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。  復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。  D-2-②, E-3-4) - (2) -①  必12sef,g 総Ⅶ6アオカ, 総Ⅶ7ア (c除く)	
			義歯裏装材	アクリル系、シリコーンゴム系、ポリオレフィン系			
			レジンの成形技術・機器	使用法と性質 A. 加熱重合 B. 常温重合 C. 加熱・加圧成形			粉液比、餅状化時間、機械的性質

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
理工4	野本理恵	成形修復材料 歯冠修復材料	コンポジットレジン A. 硬化反応による分類  B. フィラーによる分類	化学重合型、光重合型、デュアルキュア型  MFR型 ハイブリッド型	①各種コンポジットレジンの組成、硬化反応の違いとそれらの特徴を説明する。 ②フィラーの役割を説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。  復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。  D-2-①, D-2-②, E-3-3) - (1) -③  必12セe,f 総Ⅷ5アイ, 総Ⅷ6エキ, 総Ⅷ7アc
理工5	野本理恵	歯科接着技術・機器1	A. 歯質被着面処理  B. セラミックス被着面処理  C. 金属接着面処理	エッチング、プライミング、ボンディング  シランカップリング剤  メタルプライマー	①歯質接着システムの構成要素と役割が説明する。 ②化学的接着と機械的嵌合効力の違いを説明する。 ③被着体と接着前処理について説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。  復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。  D-2-③, E-3-3) - (1) -③ E-3-3) - (1) -⑩  必12セh 総Ⅷ8アイウ
理工6	野本理恵	金属材料   熱処理	金合金  銀合金  非貴金属	ISO規格金合金 カラット別金合金 白金加金 陶材焼付用金合金  金銀パラジウム合金 低融銀合金  CoCr合金 NiCr合金 Ti・Ti合金  軟化熱処理、硬化熱処理 焼きなまし	①ISO規格の金合金について説明する。 ②陶材焼付用金合金について説明する。 ③金合金の添加元素について説明する。 ④金銀パラジウム合金について説明する。 ⑤銀合金の添加元素について説明する。 ⑥各種非貴金属について説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。  復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。  D-2-②, D-2-④, E-3-4) - (1) -⑧  必12セf 総Ⅷ6ウ, 総Ⅷ7ウg, 総Ⅷ10ア

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
理工7	野本理恵	模型材  埋没材	模型用石膏  レジン系模型材  石膏系埋没材  高温用埋没材  埋没材の使用法と性質	普通石膏、硬質石膏、超硬質石膏 エポキシレジン  クリストバライト埋没材、石英埋没材  リン酸塩系埋没材、シリカゾル系埋没材、チタン専用埋没材  混水比、硬化時間、硬化膨張、加熱膨張、機械的性質	①各種模型材の組成と性質の違いを説明する。 ②石膏の硬化および硬化膨張の機構を説明する。 ③石膏の硬化時間、硬化膨張に影響する因子を説明する。 ④各種埋没材の組成と特徴を説明する。 ⑤各種埋没材を使用する金属を説明する。 ⑥埋没材の吸水膨張、加熱膨張を説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。  復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。  E-3-4) - (1) -⑧  必12セd 総Ⅷ4ア, 総Ⅷ7ウb
理工8	野本理恵	金属の接合  ワックス	ろう付け 鋳接 溶接  ワックス	ろう、母材、フラックス、アンチフラックス  パラフィンワックス インレーワックス、シートワックス レディーキャスト イングワックス スティッキーワックス ユーティリティーワックス	①ろう付け、鋳接、溶接の違いを説明する。 ②ろう、母材、フラックス、アンチフラックスについて説明する。 ③ワックスの種類、組成および特徴を説明する。 ④ワックスパターンの変形について説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。  復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。  E-3-4) - (1) -⑧  必12セd 総Ⅷ4イ, 総Ⅷ7ウde
理工9	野本理恵	鋳造	鋳造工程 鋳造精度と適合性 鋳造欠陥		①精密鋳造の工程を説明する。 ②鋳造精度と適合性を説明する。 ③鋳造欠陥の原因と対処方法を説明する。	予習：マナバにあげられたドリルの問題や配付済みの理工学ドリルの該当部分の問題を解き、講義のポイントを確認する。  復習：講義時に配付される問題集を解いて、講義内容の理解度を確認する。  E-3-4) - (1) -⑧  必12セg 総Ⅷ7ウ



回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
理工 10	野本理恵	切削、研削、 研磨	切削器械 切削工具 研磨材  レーザー	エアタービン、エ アモーター、マイ クロモーター、 ポイント、ディスク、 バー	①切削、研削、研磨 について、違いを 説明する。 ②レーザーの特質に ついて説明する。 ③レーザーの種類、 用途について説明 する。	予習：マナバにあげら れたドリルの問題や配 付済みの理工学ドリル の該当部分の問題を解 き、講義のポイントを 確認する。  復習：講義時に配付さ れる問題集を解いて、 講義内容の理解度を確 認する。  D-1-①, D-1-③, E-3-4) - (1) -⑧  必12セb 総VII 2 (アa除く)

指導教員：野本理恵

参考書：スタンダード歯科理工学（第7版） 学建書院

ISBN：978-4-7624-5614-5

基礎歯科理工学 医歯薬出版

ISBN：978-4-263-45831-0

# 総合歯科医学Ⅵ（保存修復学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
修復 1	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 C. 診療設備・器材	1 Ca. 回転切削器械 1 Cb. 回転切削器具 1 Cc. 手用切削器具 1 Cd. レーザー	1 Ca① 回転切削器械について説明できる。 1 Cb① 回転切削器具について説明できる。 1 Cc① 手用切削器具について説明できる。 1 Cd① レーザーについて説明できる。	「第五版 保存修復学21」第5章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。D-1①③、必11セb、総VII 2 アa～d、総VII 2 イ
修復 2	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 D. 修復方法  1 E. 歯髄損傷・歯髄保護	1 Da. 修復法の種類  1 Db. 修復の前準備  1 Ea. 歯髄刺激 1 Eb. 歯髄保護 1 Ec. 覆髄と裏層 1 Ed. 仮封	1 Da① 歯冠修復の意義、種類を説明できる。 1 Da② 直接修復と間接修復について説明できる。 1 Da③ 接着性修復と非接着性修復について述べる。 1 Db① 修復に必要な前処置の意義について説明できる。 1 Ea① 歯髄障害について説明できる。 1 Eb① 歯髄保護について説明できる。 1 Ec① 覆髄と裏層について説明できる。 1 Ed① 仮封について説明できる。	「第五版 保存修復学21」第7章、第4章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。D-1①～③、D-2①② E-3-3)-(1) ②③④⑤⑦ 必11ケb、必11セe、必11セf、必11セh、総VIII 5 アab、総VIII 8 ア～ウ、総VIII 9 アab、各II 1ウabd
修復 3	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1 Fa. コンポジットレジン <small>の材料学</small>  1 Fb. コンポジットレジン修復の特徴と適応症	1 Fa① コンポジットレジン <small>の組成を説明</small> できる。 1 Fb① ミニマルインターベンションを説明できる。 1 Fb② コンポジットレジン修復の特徴と適応症を説明できる。	「第五版 保存修復学21」第8章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。D-1①②、D-2① E-3-3)-(1) ①～④⑥⑧ 必11ケb、必11セeh、総VII 5 アa、総VIII 8 イab、各II 1ウa、各II 1ウd

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
修復 4	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1 Fc. コンポジットレジン接着理論  1 Fd. コンポジットレジン修復の手順  1 Fe. 補修修復	1 Fc① コンポジットレジンの接着メカニズムを説明できる。  1 Fd① コンポジットレジン修復の手順を説明できる。  1 Fe① 補修修復について説明できる。	「第五版 保存修復学21」第8章、第17章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1 ①②、D-2 ① E-3-3)-(1) ①～④⑥⑧ 必11ケb、必11セeh、総VII 5 アa、総VIII 8 ア、総VIII 8 イab、総VIII 8 ウab、各II 1 ウade
修復 5	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 G. 窩洞  1 H. 間接修復法	1 Ga. 窩洞の名称と分類  1 Gb. 窩洞の条件  1 Ha. メタルインレー修復	1 Ga① 窩洞の構成、名称、分類を説明できる。  1 Gb① 窩洞形成法を説明できる。  1 Ha① メタルインレー修復の手順を説明できる。	「第五版 保存修復学21」第6章、第13章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1 ①②、D-2 ②③ E-3-3)-(1) ①③⑥⑦ 必11ケb、必11セf、総VII 6 ウab、総VIII 8 ウc、各II 1 ウbcd
修復 6	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 H. 間接修復法	1 Hb. コンポジットレジンインレー修復  1 Hc. セラミックインレー修復  1 Hd. 合着・接着	1 Hb① コンポジットレジンインレー修復の手順を説明できる。  1 Hc① セラミックインレー修復の手順を説明できる。  1 Hd① 合着用、接着用セメントについて説明できる。  1 Hd② 各種セメントの素性・用法・注意点について説明できる。	「第五版 保存修復学21」第11～12章、第14章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1 ①②、D-2 ②③ E-3-3)-(1) ①③⑥～⑧ 必11ケb、必11セf、総VII 6 イab、総VIII 6 Ⅰac、総VII 7 アcd、総VIII 8 ウab、総VII 9 アa～c、各II 1 ウb～d
修復 7	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1 Ff. グラスアイオノマーセメントの基礎と特徴  1 Fg. グラスアイオノマーセメント修復の臨床手順	1 Ff① グラスアイオノマーセメントの組成について述べる。  1 Ff② グラスアイオノマーセメント修復の材料学的特徴を述べる。  1 Fg① グラスアイオノマー修復の手順について述べる。	「第五版 保存修復学21」第9章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1 ①②、D-2 ① E-3-3)-(1) ①③⑥ 必11ケb、必11セeh、総VIII 5 アb、各II 1 ウad

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
修復 8	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 I. 歯の漂白  1 J. ベニア修復	1 Ia. 変色歯の漂白の特徴・臨床手順  1 Ja. ベニア修復の特徴・臨床手順	1 Ia① 変色歯・着色歯の症状、診断および処置について述べる。 1 Ia② 無髄歯の漂白の特徴・手順について述べる。 1 Ia③ 有髄歯の漂白の特徴・手順について述べる。 1 Ja① ベニア修復の特徴・手順について述べる。	〔第五版 保存修復学21〕第15～16章を読み、講義に備えること。授業の理解を図るため、必ず復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 D-1 ①②、D-2 ①～③ E-3-2) ①、E-3-3)-(1) ①③⑥⑧ 必11ケb、必11セefh、総Ⅲ 2アb、総Ⅳ 2ア、各Ⅱ 1アe、各Ⅱ 1ウabf
修復 9	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 A. 保存修復学概論 1 B. 齲蝕、齲蝕以外の硬組織疾患 1 F. 歯の硬組織疾患の直接修復法	1 Aa. 歯の構造 1 Ab. 検査・診断  1 Ba. 歯の硬組織疾患の特徴と病因  1 Fa. コンポジットレジン <small>の材料学</small> 1 Fb. コンポジットレジン修復の特徴と適応症 1 Fc. コンポジットレジン <small>の接着理論</small> 1 Fd. コンポジットレジン修復の手順 1 Fe. 補修修復 1 Ff. グラスアイオノマーセメントの基礎と特徴 1 Fg. グラスアイオノマーセメント修復の臨床手順	第 1、2、5、6、9 回講義の復習。	第 1、2、5、6、9 回講義についてあらかじめ自己で復習してから本講義に臨むこと。講義後は、理解が不十分であった範囲を再度、復習すること。
修復 10	山本雄嗣	1. 歯の硬組織疾患の治療	1 G. 窩洞  1 H. 間接修復法	1 Ga. 窩洞の名称と分類 1 Gb. 窩洞の条件 1 Ha. メタルインレー修復 1 Hb. コンポジットレジンインレー修復 1 Hc. セラミックインレー修復 1 Hd. 合着・接着	第 7、8 回講義の復習。	第 7、8 回講義についてあらかじめ自己で復習してから本講義に臨むこと。講義後は、理解が不十分であった範囲を再度、復習すること。

指導教員：山本雄嗣

参考書：〔第五版 保存修復学21〕 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、斎藤隆史 監修 永末書店 2017年  
ISBN：978-4-8160-1321-8

# 総合歯科医学Ⅵ (歯周病学)

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯周 1	長野孝俊	歯周疾患の診断	1. 歯肉病変の診断	1 a. プラーク性歯肉炎 1 b. 非プラーク性歯肉病変 1 c. 歯肉増殖症	1 b③. アレルギー歯肉病変を説明できる。 1 c①. 薬物性歯肉増殖症を説明できる。 1 c②. 歯肉線維腫症を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ①②③ 必7イc 必8イd 必9キc 総Ⅲ 2アb 総Ⅳ 2イ 各Ⅱ 3アa,b,c,d,e,g,h 各Ⅱ 3ウa,d,j
			2. 歯周炎の分類	2 a. 慢性歯周炎 2 b. 侵襲性歯周炎 2 c. 遺伝が関与する歯周炎	2 a①. 慢性歯周炎を説明できる。 2 b①. 侵襲性歯周炎を説明できる。 2 c①. 遺伝が関与する歯周炎を列挙する。	
			3. 壊死性歯周疾患	3 a. 壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎	3 a①. 壊死性潰瘍性歯肉炎・歯周炎を説明できる。	
			4. 歯周組織の膿瘍	4 a. 歯周膿瘍 5 a. 歯肉退縮 6 a. 一次性咬合性外傷 6 b. 二次性咬合性外傷	4 a①. 歯周膿瘍を説明できる。 4 a②. 歯内一歯周疾患を説明できる。 5 a①. 歯肉退縮を説明できる。 6 a①. 一次性咬合性外傷を説明できる。 6 b①. 二次性咬合性外傷を説明できる。	
歯周 2	長野孝俊	歯周基本治療	1. プラークコントロール	1 a. 歯ブラシ法	1 a①. 各種歯ブラシ法を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ④ E-3-3) (-3) ①-③ 必8イe 必10オb 必12ケd 総Ⅵ 1アc 総Ⅶ 2アc 各Ⅱ 3ウb,c,h
			2. スケーリング・ルートプレーニング	2 a. スケーリング 2 b. ルートプレーニング 2 c. グレーシーキュレットの特徴	2 a①. スケーリングを説明できる。 2 b①. ルートプレーニングを説明できる。 2 c①. スケーラーの種類と特徴を説明できる。	
			3. 咬合調整	3 a. 咬合調整の各種法則	3 a①. 咬合調整の各種法則を説明できる。	
			4. 暫間固定	4. A-splint 4 b. レジン隣接面間固定	4 ①. 暫間固定の種類と目的を説明できる。 4 a①. A-splintについて説明できる。 4 b①. レジン隣接面間固定について説明できる。	
			5. 歯周薬物療法	5 a. 局所薬物配送システム (LDDS)	5 a①. 局所薬物配送療法 (LDDS) を説明できる。	

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯周 3・4	松島友二	歯周外科治療	1. 歯周外科処置の目的	1 a. 歯周組の治癒形態	1 a①. 上皮性付着の治癒形態を説明できる。 1 a②. 新付着の治癒形態を説明できる。 1 a③. 再生の治癒形態を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-3) (-3) ④⑤ 必12ケd 総VII 2 アc 各II 3 ウd,e,f
				1 b. 歯周外科処置の分類	1 b①. 歯周ポケットを除去・減少させる手術の目的を説明できる。 1 b②. 口腔環境を改善する手術を列挙できる。 1 b③. 歯周組織再生療法を列挙できる。	
歯周 5	松島友二	歯周外科治療	再生療法	2 a. 組織付着療法	2 a①. 組織付着療法を列挙し、術式を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-3) (-3) ④⑤ 必12ケd 総VII 2 アc 各総VII11e 各II 3 ウd,f
				2 b. 切除療法	2 b①. 切除療法を列挙し、術式を説明できる。	
歯周 6	松島友二	歯周外科治療	1. 根分岐部病変の治療	1. 骨移植術	1 ①. 骨移植術の適応と術式、材料について説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ③④ 必12ケd 総VII 2 アc 各II 3 ウf
				2. 組織再生誘導法(GTR)	2 ①. GTR法の再生メカニズムを説明できる。 2 ②. GTR法の適応と術式を説明できる。	
歯周 6	松島友二	歯周外科治療	1. 根分岐部病変の治療	3. エナメルマトリックスタンパク質	3 ①. エナメルマトリックスタンパク質の適応と術式を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ③④ 必12ケd 総VII 2 アc 各II 3 ウf
				4. b-FGF	4 ①. b-FGFの適応と術式を説明できる。	
歯周 6	松島友二	歯周外科治療	1. 根分岐部病変の治療	1 a. ファルカプラスティール	1 a①. ファルカプラスティールを説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ③④ 必12ケd 総VII 2 アc 各II 3 ウf
				1 b. ルートセパレーション	1 b①. ルートセパレーションを説明できる。	
歯周 6	松島友二	歯周外科治療	1. 根分岐部病変の治療	1 c. ヘミセクション	1 c①. ヘミセクションについて説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ③④ 必12ケd 総VII 2 アc 各II 3 ウf
				1 d. ルートリセクション	1 d①. ルートリセクションについて説明できる。	
歯周 6	松島友二	歯周外科治療	1. 根分岐部病変の治療	1 e. トンネリング	1 e①. トンネリングについて説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ③④ 必12ケd 総VII 2 アc 各II 3 ウf

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯周7	松島友二	歯周外科治療	歯周形成外科手術	1 a. 付着歯肉幅の獲得手術  1 b. 露出根面被覆術 2. 粘膜弁の種類	1 ①. 歯周形成外科手術の目的を説明できる。 1 ②. 歯周形成外科手術の分類を説明できる。 1 a①. 付着歯肉幅の獲得手術の種類と方法を説明できる。 1 b①. 露出根面被覆術の種類と方法を説明できる。 2 ①. 部分層弁と全部層弁を説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-3) (-3) ④⑤ 必12ケd 総VII 2 アc 各II 3 ウe
歯周8	松島友二	歯周外科治療	1. 根分岐部病変の治療	1 a. ファルカプラスティ 1 b. ルートセパレーション 1 c. ヘミセクション 1 d. ルートリセクション 1 e. トンネリング	1 ①. 根分岐部病変の診査と分類について説明できる。 1 ②. 根分岐部病変に対する処置の目的を説明できる。 1 ③. 根分岐部病変の分類と処置法を説明できる。 1 a①. ファルカプラスティを説明できる。 1 b①. ルートセパレーションを説明できる。 1 c①. ヘミセクションについて説明できる。 1 d①. ルートリセクションについて説明できる。 1 e①. トンネリングについて説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ③④ 必12ケd 総VII 2 アc 各II 3 ウf
歯周9	松島友二	1. 口腔機能回復治療  2. 患者管理  3. 高齢者 4. その他歯科用器具	1A. 歯周補綴前処置  2A. メインテナンス  2B. SPT  3A. 高齢者の歯周疾患 4A. レーザー	1Aa. バイオロジカルウィズ (生物学的幅径) 2Aa. 治癒の定義 2Ba. 病状安定の定義 3Aa. 高齢者の歯周組織の特徴 4Aa. レーザー機器の特徴・用途	1Aa①. バイオロジカルウィズの意義を説明できる。 1Aa②. バイオロジカルウィズを獲得する処置法を列挙し説明できる。 2Aa①. 歯周病の治癒の定義について説明できる。 2Aa②. メインテナンス項目について説明できる。 2Ba①. 病状安定を決める検査について説明できる。 2Bb②. SPTの項目について説明できる。 3Aa①. 高齢者の歯周組織の特徴と管理について説明できる。 4Aa①. 各種レーザー機器の特徴・用途について説明できる。	配布している講義資料を参照し予習すること 授業後は配付資料に授業中記載した内容の確認し十分復習すること。 E-3-1) ⑥ E-3-2) ③ E-3-3) (-3) ①③⑤ 必8イd 必12ケd 総II 5 イb 総III 2 アb 総IV 2 イ 総V 2 アc 総VII 2 アc 総VII 9 エ 各II 3 アc 各II 3 ウd.g.i 各II 3 オ 各II 3 ウd.e.g 各V 5 ア

指導教員：長野孝俊、松島友二

参考書：臨床歯周病学第3版、医歯薬出版社  
ISBN：978-4-263-45844-0

# 総合歯科医学Ⅵ（歯内療法学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯内1	長谷川雅子	歯の硬組織疾患	歯の硬組織疾患の病因と病態  歯髄保存療法 覆髄材	歯髄鎮痛消炎療法、間接覆髄法  暫間的間接覆髄法、直接覆髄法 生活・失活断髄法、覆髄材	①歯髄保存療法の適応症、処置、治癒機転を説明できる。  ②覆髄材の特徴を説明できる。	予習：教科書を読み、講義に備えること。前回の授業の復習を併せて行うこと。 復習：歯髄保存療法の適応症、処置について説明できる。配布資料に記載した関連問題番号を解答すること。 E-3-3)-(1) ①⑤⑦、 E-3-3)-(2) ①、 必6イa、必7イb、 必9アa、イa、カd、 総Ⅲ2アb、総Ⅳ2ア、 総Ⅶ1アab、2アa、 各Ⅱ2アa、イa
歯内2	長谷川雅子	歯髄疾患	歯髄疾患の病因、病態、症候、治療	歯髄炎の症候  歯髄除去療法の適応  内部吸収歯の治療	①歯髄疾患の病因、分類、特徴を説明できる。 ②歯髄疾患の診断、治療法を選択できる。 ③内部吸収歯の処置が選択できる。	予習：教科書を読み、講義に備えること。前回の授業の復習を併せて行うこと。 復習：症状から診断名を決定できる。配布資料に記載した関連問題番号を解答すること。 E-3-2) ②⑤、 E-3-3)-(2) ①、 必6イb、7イc、8キb、 9アa、9イa、総Ⅲ2アb、 総Ⅳ2ア、総Ⅵ1アab、 総Ⅶ1アab、イb、2アb、 各Ⅱ2アa、2イb
歯内3	長谷川雅子	根尖性歯周疾患	根尖性歯周疾患の病因、病態、症候、治療  根尖歯周組織の治癒 再根管治療	根尖性歯周疾患の病因と病態、治療	①根尖歯周組織疾患の診断、治療法（救急処置を含む）を選択出来る。 ②根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響	予習：教科書を読み、講義に備えること。前回の授業の復習を併せて行うこと。 復習：急性化膿性根尖性歯周炎の各期の症状、処置を列挙できる。根尖の治癒経過を説明できる。配布資料に記載した関連問題番号を解答すること。 E-3-2) ② E-3-3)-(2) ①④ 必6イb、必8キb、必7イab、 必8イb、総Ⅲ2アb、 総Ⅳ2ア、 総Ⅵ1アab、2イb、コa、 総Ⅶ1アab、イb、 総Ⅶ2アb、各Ⅱ2アb、イc、 各Ⅲ1ウb、2エdg、オa



回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯内4	長谷川雅子	治療の基本 手技	歯髄疾患・ 根尖性歯周 疾患の治療  歯科材料・ 機器	根管処置 根管充填 歯内療法用材 料	①根管処置を説明で きる。 ②根管充填の目的、 時期、術式、材料 を説明できる。 ③器材、根管清掃剤、 根管消毒剤、仮封、 隔壁について説明 できる。	予習：教科書を読み、講義に備 えること。前回の授業の 復習を併せて行うこと。 復習：歯内治療で用いる器材、 隔壁の手順を説明でき る。配布資料に記載した 関連問題番号を解答す ること。 D-1 ①②③、D-2 ⑥、 E-3-3)-(1) ⑦、E-3-3)-(2) ②、 必6 イb、必8 キb、総Ⅶ2 アb、 総Ⅷ5 ウa,b、各Ⅱ2 イde
歯内5	長谷川雅子	歯髄疾患、 根尖性歯周 疾患	偶発症と安 全対策	皮下気腫  リーマー破折  顕微鏡を用い た治療	①歯内治療における 偶発事故の原因、 予防、経過、処置 法を説明できる。 ②顕微鏡を用いた治 療の特徴を説明で きる。	予習：教科書を読み、講義に備 えること。前回の授業の 復習を併せて行うこと。 復習：偶発症の処置方法を説明 できる。配布資料に記載 した関連問題番号を解 答すること。 E-3-3)-(2) ③⑤、D-1 ①③⑥、 必2 カabcf、必8 アa、 総Ⅲ1 スb、総Ⅴ1 エ、 各Ⅱ2 イj
歯内6	長谷川雅子	歯髄疾患、 根尖性歯周 疾患	外科的歯内 療法	外科的歯内療 法の分類、適 応症、術式	①外科的歯内療法の 適応症、処置法を 説明できる。	予習：教科書を読み、講義に備 えること。前回の授業の 復習を併せて行うこと。 復習：外科的歯内療法を列挙で き、手順を説明できる。 E-3-3)-(2) ⑤ 必9 アab、総Ⅵ1 アab、 2 エb,c、オa、コa、 総Ⅶ1 アa、イc、各Ⅱ2 イg
歯内7	長谷川雅子	歯髄疾患、 根尖性歯周 疾患	歯の外傷  歯根の病的 吸収	外傷歯の分類、 歯・歯根の亀 裂・破折  内部吸収、外 部吸収の診断、 処置	①外傷歯の特徴、診 断、治療法を説明 できる。 ②内部吸収、外部吸 収の原因、診査、 診断、治療が説明 できる。 ③エックス線画像よ り病的吸収、歯根 破折が読影できる。	予習：教科書を読み、講義に備 えること。前回の授業の 復習を併せて行うこと。 外傷の分類が列挙でき る。 復習：エックス線画像、CT画 像より診断ができる。配 布資料に記載した関連 問題番号を解答するこ と。 E-2-4)-(2) ③、E-1-2) ⑦、⑨、 E-3-3)-(2) ⑦、 総Ⅴ1 アイウエ、総Ⅵ1 アab、 2 エb,c、オa、コa、 総Ⅶ1 アa、各Ⅱ1 アf、 各Ⅱ2 アd、イh、i、各Ⅲ2 ウa

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
歯内 8	長谷川雅子	歯髄疾患、 根尖性歯周 疾患	歯内-歯周 疾患  歯の変色  根末完成歯 の治療	歯内-歯周疾 患の分類  歯の漂白  アペキシゲネ ーシス、アペ キシフィケー ション、歯髄 血管再生療法	①歯内-歯周疾患の 原因、分類、処置 を説明できる。 ②歯の変色の原因、 漂白の治療法を説 明できる。 ③根尖末完成歯の治 療を説明できる。	予習：教科書を読み、講義に備 えること。前回の授業の 復習を併せて行うこと。 復習：歯内-歯周疾患の原因、 分類、処置、歯の変色の 原因、処置、根末完成歯 の治療を説明できる。配 布資料に記載した関連 問題番号を解答するこ と。 E-3-3)-(2) ⑥、E-4-2) ④⑤、 総V1アイウエ、総VI1アab、 2エb,c、オa、コa、 各II1アe、ウf、各II2アc、 2イf、3アg

指導教員：長谷川雅子

参 考 書：1) 歯内治療学第5版 (医歯薬出版) 10,800円(税込み) ISBN：978-4-263-45823-5  
2) エンドドンティクス第5版 (永末書店) 9,720円(税込み) ISBN：978-4-8160-1340-9

# 総合歯科医学Ⅵ（全部床義歯補綴学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
全部床 1	西山雄一郎	(総論) 口腔・顎顔 面の機能	運動 食物摂取	下顎位 下顎運動要素 咬合接触、咬合 様式 基準平面	①下顎位を説明できる。 ②下顎運動要素を説明 できる。 ③全部床義歯に関連し た基準平面を説明で きる。 ④咬合接触、咬合様式 を説明できる。	「予習・復習」全部床義歯 補綴学講義ノート13,18-20 章/ 歯科国試パーフェクトマス ター全部床義歯補綴学 Chapter2,11 E-3-4)-(2)-⑦⑩ 総Ⅱ-6-イ-a 各Ⅳ-2-イ-bc 各Ⅳ-2-ウ 各Ⅳ-5-イ-c 各Ⅳ-5-ウ-bc
全部床 2	西山雄一郎	(総論) 口腔・顎顔 面の機能  (各) 全部床義歯 による治療	運動  臨床操作  技工操作	下顎位 下顎運動要素  顎間関係の記録  咬合器装着・調 節	①下顎位を説明できる。 ②下顎運動要素を説明 できる。 ③全部床義歯の咬合平 衡を説明できる。 ④咬合器装着を説明で きる。 ⑤顎路調節を説明でき る。	「予習・復習」全部床義歯 補綴学講義ノート13,18-20 章/ E-3-4)-(2)-⑦⑧ 総Ⅱ-6-イ-a 各Ⅳ-2-イ-bc 各Ⅳ-2-ウ 各Ⅳ-5-イ-c 各Ⅳ-5-ウ-b
全部床 3	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	前処置、印象採 得、個人トレー の製作、作業用 模型の製作	①無歯顎患者の印象採 得について説明でき る。	「予習・復習」無歯顎補綴 治療第3版 p86-125 E-3-4)-(2)-⑥ 必11-セ-c 総Ⅶ-2-ア-d 総Ⅶ-3-ア-abc 総Ⅶ-3-イ-ac 総Ⅶ-3-ウエオ 各Ⅳ-5-ア-ab 各Ⅳ-5-イ-ab 各Ⅳ-5-ウ-a
全部床 4	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	印象採得、顎間 関係の記録、個 人トレーの製作、 作業用模型の製 作、咬合器装着・ 調節	①無歯顎患者の印象採 得について説明でき る。 ②無歯顎患者の咬合採 得について説明でき る。	「予習・復習」無歯顎補綴 治療第3版 p86-126 E-3-4)-(3)-⑥⑩ 必11-セ-c 総Ⅶ-2-ア-d 総Ⅶ-3-ア-abc 総Ⅶ-3-イ-ac 総Ⅶ-3-ウエオ 各Ⅳ-5-イ-abc 各Ⅳ-5-ウ-ab
全部床 5	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	顎間関係の記録、 咬合器装着・調 節	①無歯顎患者の咬合採 得(垂直的顎間関係) について説明できる。 ②無歯顎患者の咬合採 得(水平的顎間関係) について説明できる。	「予習・復習」無歯顎補綴 治療第3版 p126-156,165-180 E-3-4)-(4)-⑥⑦⑧ 総Ⅶ-3-オ 各Ⅳ-5-イ-c 各Ⅳ-5-ウ-b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
全部床 6	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	顎間関係の記録、 咬合器装着・調 節、人工歯の選 択・排列・削合	①無歯顎患者の咬合採 得(垂直的顎間関係) について説明できる。 ②無歯顎患者の咬合採 得(水平的顎間関係) について説明できる。 ③咬合器装着について 説明できる。 ④顆路調節を説明でき る。	「予習・復習」無歯顎補綴 治療第3版 p126-156,165-181 E-3-4)-(5)-(6)⑦⑧ 総Ⅶ-6-オ 各Ⅳ-5-イ-c 各Ⅳ-5-ウ-bc
全部床 7	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	ろう義歯の試適、 人工歯の選択・ 排列・削合、歯 肉形成	①ろう義歯試適につい て説明できる。 ②人工歯の選択・排列・ 削合について説明で きる。 ③歯肉形成について説 明できる。	「予習・復習」無歯顎補綴 治療第3版 p157-164,181-216 E-3-4)-(6)-(9)⑩ 各Ⅳ-5-イ-cd 各Ⅳ-5-ウ-c
全部床 8	櫻井敏継	(各論Ⅳ) 歯質・歯・ 顎顔面欠損 と機能障害 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作 補綴装置に 対する指導 リコールと メンテナンス 治療効果の 評価	装着、埋没、重合、 咬合調整(削合) と仕上げ、ホー ムケア、プロフ ェッショナルケ ア、残存組織の 変化とその対応、 咬合の変化とそ の対応、機能低 下とその対応、 補綴装置の破損 とその対応	①全部床義歯の装着に ついて説明できる。 ②全部床義歯の埋没、 重合について節美で きる。 ③咬合調整・削合につ いて説明できる。 ④全部床義歯の術後調 整・管理について説 明できる。 ⑤金属床義歯の設計に ついて説明できる。	「予習・復習」無歯顎補綴 治療第3版 p217-263 E-3-4)-(9)-(12)⑬⑭ 必11-セ-f 総Ⅶ-6-ア-ab 各Ⅳ-5-イ-e 各Ⅳ-5-ウ-cde 各Ⅳ-8-イウ 各Ⅳ-8-オ-bcde 各Ⅳ-8-カ
全部床 9	西山雄一郎	(各論) 全部床義歯 による治療	臨床操作 技工操作	人工歯の選択・ 排列・削合(咬 合様式を含む)  咬合調整(削 合)と仕上げ  装着  メンテナンス	①人工歯の選択・排列・ 削合を説明できる。  ②咬合調整(削合)と 仕上げを説明できる。  ③装着を説明できる。 ④残存組織の変化と対 応を説明できる。 ⑤補綴装置の破損と対 応を説明できる。	「予習・復習」全部床義歯 補綴学講義ノート15-17,25- 27,29章/歯科国試パーフェ クトマスター全部床義歯補 綴学Chapter11-16 E-3-4)-(2)-(9)⑩⑪⑫⑬⑭ 総Ⅶ-6-オカ 各Ⅳ-5-ウ-ce 各Ⅳ-8-オ-bcde 各Ⅳ-8-カ
全部床 10	西山雄一郎	(各論) 特殊な装置 による治療	顎顔面補綴 装置 摂食嚥下補 助床  構音補助床	顎義歯 舌接触補助床 軟口蓋挙上装置 スピーチエイド	①顎義歯を説明できる。 ②舌接触補助床を説明 できる。 ③軟口蓋挙上装置を説 明できる。 ④スピーチエイドを説 明できる。 ⑤構音障害を説明でき る。	「予習・復習」無歯顎補綴 治療学第3版p287-292/ 歯科国試パーフェクトマス ター全部床義歯補綴学 Chapter19 E-2-4)-(11)-②③ E-3-4)-(2)-①②⑤ 総Ⅶ-6-イ-abc 各Ⅲ-2-キ 各Ⅳ-7-アウエオ 各Ⅳ-5-ウ-b 各Ⅳ-7-アウエ

指導教員：西山雄一郎、櫻井敏継

参考書：市川哲雄、大川周治、平井敏博、細井紀雄 編：無歯顎補綴治療学 第3版。医歯薬出版。東京。2016。  
ISBN：978-4-263-45792-4  
西山雄一郎 著：歯科国試パーフェクトマスター 全部床義歯補綴学。医歯薬出版。東京。2019。  
ISBN：978-4-263-45842-6

# 総合歯科医学Ⅵ（部分床義歯補綴学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
部分床 1	白井麻衣	7. 連結装置	A. 意義と役割 B. 設計の所要条件 C. 種類 D. 大連結子の種類	a. 大連結子 b. 小連結子 a. 上顎の大連結子 b. 下顎の大連結子	①連結装置の概念を説明する。 ②意義と役割を説明する。 ③設計の所要条件を列挙する。 ④種類と適応症を説明する。 ⑤大連結子を説明する。 ⑥小連結子を説明する	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 8章 「復習」 E-3-4)-(2)④ 各論Ⅳ 4アa,b
部分床 2	白井麻衣	8. 義歯床と人工歯	E. 義歯床 F. 人工歯		⑦義歯床の役割を説明する。 ⑧義歯床の要件を列挙する。 ⑨義歯床各部の名称を説明する。 ⑩義歯床の辺縁形態を説明する。 ⑪各種人工歯の特徴と適応を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 9,10,11章 「復習」 E-3-4)-(2)④, ⑨ 各論Ⅳ 4アa,b 各論Ⅳ 4ウe
部分床 3	白井麻衣	Ⅱ 部分無歯顎の補綴治療 1. 診察・検査と診断 2. 診察・検査と診断	A. 診察と検査 B. 治療計画を左右する因子	a. 欠損補綴の主要な診察・検査項目	①部分無歯顎の診察・検査項目を記述する。 ②機能検査を説明する。 ③治療計画を左右する因子を列挙する。 ④前処置の目的を述べる。 ⑤広義の前処置を列挙する。 ⑥粘膜調整の目的と方法を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 12,13,14章 「復習」 E-3-4)-(2)⑩ 各論Ⅳ 2ア～エ
部分床 4	白井麻衣	3. 義歯の設計	A. 支台歯の保護 B. 支台歯間線の法則		①基本設計の考え方を説明する。 ②支台歯の保護について説明する。 ③支台歯間線について説明する	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 15,16,17章 「復習」 E-3-4)-(2)⑤ 各論Ⅳ 4アa
部分床 5	鈴木恭典	Ⅱ 部分無歯顎の補綴治療 1. 支台歯の前処置 2. 印象採得	B. 治療計画を左右する因子 A. 支台歯の前処置 A. 印象の種類 B. 印象の目的 C. 部分床義歯の印象法の D. 印象用トレー E. 模型	a. 欠損補綴の主要な診察 a. ガイドプレートの形成 b. レストシートの形成 c. 歯冠形態修正 a. 被圧変位性 a. オルタードキャストテクニック a. 既製トレー b. 個人トレー	①支台歯の前処置を説明する。 ①各種印象の名称と意義を説明する。 ②部分床義歯印象の特殊性を説明する。 ③部分床義歯の各種印象法を説明する。 ④既製トレーの具備条件を説明する。 ⑤個人トレーの目的と製作法を説明する。 ⑥オルタードキャストテクニックについて説明する。 ⑦模型の種類と製作法を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート 19,20章 「復習」 E-3-4)-(2)⑤⑥ 各論Ⅳ 4イabウab

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
部分床 6	鈴木恭典	3. 顎間関係の記録 〔咬合採得〕	A. 定義 B. 咬合床 C. 歯列、対向関係による咬合採得の種類 D. 咬合器装着	a. 基礎床 b. 咬合堤  a. リジッドサポート b. 連結強度	①咬合床の役割を列挙する。 ②歯列、対向関係による咬合採得の種類を説明する。 ③咬合採得の注意点を説明する。 ④咬合採得で生じやすいエラーを説明する。  ①リジッドサポートを説明する。 ②連結強度を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート18,21章 「復習」E-3-4)-(2)④⑤⑥⑦⑧ 各論Ⅳ4アa-i-c
		4. 設計	A. 設計			
部分床 7	鈴木恭典	5. サベイング 6. 製作	A. サベイヤールの構造と用具 B. サベイングに関連する用語 C. サベイングの必要な事項  A. レジン床義歯の製作 B. 金属床義歯の製作 C. 試適 D. 埋没と重合	a. サベイヤール a. サベイング  a. 金属床義歯の構造 b. フレームワークの製作 c. 金属材料  a. 人工歯排列試適 b. フレームワークの試適	①サベイングに関連する用語を説明する。 ②サベイングの必要な事項を列挙する。  ①金属床義歯の構造を具体的に述べる。 ②金属床義歯各部の名称と目的を説明する。 ③フレームワークの製作法を説明する。 ④金属床義歯に用いる金属の種類と特徴を説明する。 ⑤蠟義歯試適時の確認事項を説明する。 ⑥フレームワーク試適時の確認事項を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート22,23,24,25,26章 「復習」E-3-4)-(2)⑨⑩⑪⑫⑬ 各論Ⅳ4イd-u-def
		7. 装着	E. 義歯の装着  F. 装着時の指導とホームケア	a. 装着の手順 b. 部分床義歯に与える咬合 c. 不適合の原因  a. デンチャープラーク  a. 義歯装着後の不快事項 b. 適合性検査  a. 長期経過後の変化 b. 粘膜の病的変化 c. 定期検診	①義歯装着の手順を説明する。 ②部分床義歯に与える咬合を説明する。 ③装着時の指導内容を説明する。 ④デンチャープラークについて説明する。 ⑤義歯装着後に起こりやすい不快事項とその対応を説明する。 ⑥適合性検査について説明する。 ⑦長期経過後に起こる変化を説明する。 ⑧粘膜の病的変化を説明する。 ⑨定期検診の重要性を説明する。	
部分床 9	鈴木恭典	8. 装着後の管理		a. 義歯修理の種類と方法 b. リベース c. リライン	①義歯破折の原因を列挙する。 ②義歯修理の方法を具体的に述べる。 ③リベースとリラインを説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート29,30,31章 「復習」E-3-4)-(2)⑬⑭ 各論Ⅳ8イ～オabcde

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
部分床 10	鈴木恭典	9. 特殊な義 歯	A. 即時義歯 B. 治療用義歯 C. オーバーデ ンチャー D. インプラン トデンチャ ー		①即時義歯について説明する。 ②治療用義歯について説明する。 ③オーバーデンチャーについて説明する。 ④インプラントオーバーデンチャーの特徴、適応症を説明する。 ⑤埋入計画、義歯の設計を説明する。 ⑥インプラントオーバーデンチャーの併発症を説明する。	「予習」部分床義歯補綴学講義ノート4,32,33章 「復習」 E-3-4)-(2)②③ E-3-4)-(3)①⑥⑦ 各論IV 4 アa 6 ウc 8 才f

**指導教員：**鈴木恭典、白井麻衣

**参考書：**部分床義歯補綴学講義ノート  
歯学生のパーシャルデンチャー第6版  
スタンダードパーシャルデンチャー補綴学

# 総合歯科医学Ⅵ (クラウンブリッジ補綴学)

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
Cr-Br 1	重田優子	必修 治療の基礎・ 基本手技	歯科材料・機 械	接着用材料、接 着処理	D-2 歯科材料の種類、 用途、成分・組成、特製、 操作法 ③接着・合着・仮着材の種 類、用途、成分・組成、 特製、操作法を説明でき る。	「予習」 Answer2023 P264-290, P291-294, P426-457  「復習」 Answer2023 P264-290, P291-294, P426-457 必修12せh 各論Ⅳ 3-イh,i D-2-③ E-3-4)-(1)-⑪⑫⑬
Cr-Br 2	重田優子	各論 クラウンブリ ッジによる治 療	臨床操作	支台築造	E-3-4)-(1) クラウンブリ ッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及 び特徴を説明できる。	「予習」 Answer2023 P133-164  「復習」 Answer2023 P133-164 各論Ⅳ 3-イc E-3-4)-(1)-③
				支台歯形成	E-3-4)-(1) クラウンブリ ッジによる治療 ④支台歯形成の意義、種類 と方法を説明できる。	「予習」 Answer2023 P121-132, P165-187  「復習」 Answer2023 P121-132, P165-187 各論Ⅳ 3-イa,b E-3-4)-(1)③④
Cr-Br 3	重田優子	必修 治療の基礎・ 基本手技  各論 クラウンブリ ッジによる治 療	歯科材料・機 械  臨床操作	印象用材料	D-2 歯科材料の種類、 用途、成分・組成、特製、 操作法 ②歯冠修復・義歯用材料の 種類、用途、成分・組成、 特製、操作法を説明でき る。	「予習」 Answer2023 P188-206, P239-252  「復習」 Answer2023 P188-206, P239-252 必修12せc 各論Ⅳ 3-イd,e D-2-② E-3-4)-(1)⑤⑦
				印象採得  顎間関係の記録	E-3-4)-(1) クラウンブリ ッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作の ための印象採得・咬合採 得に用いる材料と方法を 説明できる。  E-3-4)-(1) クラウンブリ ッジによる治療 ⑤クラウンブリッジ製作の ための印象採得・咬合採 得に用いる材料と方法を 説明できる。	「予習」 Answer2023 P207-238  「復習」 Answer2023 P207-238 各論Ⅳ 3-イf,g E-3-4)-(1)-⑥⑩



回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
Cr-Br 4 ・ 5 ・ 6	重田優子	必修 治療の基礎・ 基本手技	歯科材料・機 械	基本的性質 診療用機器、切 削・研削工具、 研磨剤 模型用材料、ワ ックス 歯冠修復・義歯 用材料	D-2 歯科材料の種類、 用途、成分・組成、特製、 操作法 ②歯冠修復・義歯用材料の 種類、用途、成分・組成、 特製、操作法を説明でき る。	「予習」 Answer2023 P320-329 「復習」 Answer2023 P320-329 必修12セa,b,d,f 各論IV 3ウa D-2-② E-3-4)-(1)-②⑥⑧
		各論 クラウンブリ ッジによる治 療	技工操作	ロストワック ス法による製 作 陶材焼付冠 CAD/CAMに よる製作	E-3-4)-(1) クラウンブリ ッジによる治療 ②クラウンブリッジの種類、 特徴、及び製作法(CAD/ CAMを含む)を説明でき る。 ⑥色調選択(シェードテイ キング)を説明できる。 ⑧クラウンブリッジの製作 に必要な材料の基本的操 作を説明できる。	「予習」 Answer2023 P264-290, P291-294, P426-457 「復習」 Answer2023 P264-290, P291-294, P426-457 必修12セh 各論IV 3イh,i D-2-③ E-3-4)-(1)-⑪⑫⑬
			臨床操作	口腔内試適 装着	E-3-4)-(1) クラウンブリ ッジによる治療 ⑪クラウンブリッジの装着 方法を説明できる。 ⑫クラウンブリッジの維持 管理の目的と方法を説明 できる。 ⑬クラウンブリッジ装着後 のメンテナンスの重要 性を説明できる。	「予習」 Answer2023 P253-263 「復習」 Answer2023 P253-263 各論IV 3ウa,b E-3-4)-(1)-②⑧⑨ 「予習」 Answer2023 P74-109 「復習」 Answer2023 P74-109 各論IV 3ウb E-3-4)-(1)-②⑧
Cr-Br 7	重田優子	各論 クラウンブリ ッジによる治 療	クラウンブリ ッジの設計		①支台歯数と欠損歯数の関 係を説明できる。 ②ブリッジの連結法を説明 できる。	「予習」 Answer2023 P330-362, P297-319 P363-381, P410-425, P71-73, P382-409 「復習」 Answer2023 P330-362, P297-319 P363-381, P410-425, P71-73, P382-409 各論IV 3ア

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
Cr-Br 8	重田優子	各論 特殊な装置による治療	オーラルアプライアンス		E-2-4)-(12) 口腔・学顔面領域の機能障害 ⑥睡眠時無呼吸の原因、診察、検査、診断及び治療方針を概説できる。	「予習」 Answer2023 P32-70  「復習」 Answer2023 P32-70 各論Ⅳ 7 イ E-2-4)-(11)-⑥
Cr-Br 9 ・ 10	重田優子	各論 病態	睡眠時無呼吸		E-2-4)-(11) 口腔・学顔面領域の機能障害 ⑥睡眠時無呼吸の原因、診察、検査、診断及び治療方針を概説できる。	「予習」 Answer2023 P58-70  「復習」 Answer2023 P58-70 各論Ⅳ 1 ク E-2-4)-(11)-⑥

指導教員：重田優子、重本修伺、中村善治

参考書：クラウンブリッジ補綴学 第6版

ISBN：978-4-263-45856-3

# 総合歯科医学Ⅵ（口腔顎顔面外科学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口外1	中岡一敏	顎変形症	顎顔面の変形をきたす疾患・病態・診断	a 顎矯正手術 b 骨延長術 c 顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群	顎口腔領域における発育異常の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。また、顎口腔領域に症状を伴う症候群について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(1)①、③ 各論Ⅲ 2アa-c
口外2	中岡一敏	顎変形症	顎顔面骨の変形に対する治療	a 顎矯正手術 b 骨延長術 c 顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群	顎口腔領域における発育異常の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。また、顎口腔領域に症状を伴う症候群について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(1)①、③ 各論Ⅲ 2アa-c
口外3	佐藤光一郎	手術の基本	手術の基本	a 消毒と滅菌 b 切開法 c 止血法、縫合法 d 穿孔、切開排膿、ドレナージ e 抜歯、小手術 f 移植・再建手術 g 創傷の治療	口腔外科の手術手技を行う際に必要な術野の消毒・滅菌の概念および器具や歯科材料の概念およびその治療における使用方法について理解できる。周術期の管理についても理解を深める。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-1-5)①～⑩ 必修12ウb 必修12Ⅰa-d 必修12キa-c 必修12クa 必修12セj 総Ⅶ4アa-h 総Ⅶ9ア-コ 総Ⅷ11ア-エ
口外4	佐藤光一郎	先天異常	口腔・顎顔面の先天異常 口腔・顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群	a 顔面裂 b 口唇裂・口蓋裂 c Apert症候群<尖頭合指症> d Beckwith-Wiedemann症候群<EMG症候群> e Crouzon症候群<頭蓋顔面異骨症> f Down症候群 g Gardner症候群 h Marfan症候群 i McCune-Albright症候群<多骨性線維性(骨)異形成症>	顎口腔領域における発育異常の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。また、顎口腔領域に症状を伴う症候群について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)(1)①、②、④ E-2-4)(10)⑤ 各論I01ア-Ⅰ 各論I02ア-Ⅱ 各論Ⅲ1アa 各論Ⅲ4アa-t

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口外 4				j Melkersson-Rosenthal症候群 k Peutz-Jeghers症候群 l Ramsay Hunt症候群 <Hunt症候群> m Robin シークエンス <PierreRobin症候群> n Sturge-Weber症候群 o Treacher Collins症候群 <下顎顔面異骨症> p von Recklinghausen病 <神経線維腫症 I 型> q 基底細胞母斑症候群 r 口腔・顔面・指趾症候群 <OFD症候群> s 骨形成不全症 t 鎖骨頭蓋骨異形成症<鎖骨頭蓋異骨症> u 第一第二鰓弓症候群 Goldenhar症候群を含む v 大理石骨病		
口外 5	佐藤光一郎	嚢胞	顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療	a 歯原性嚢胞 b 非歯原性嚢胞	顎口腔領域の嚢胞の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(5)①、② 各論Ⅲ 2才 a、b
口外 6	佐藤光一郎	嚢胞	顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療	a 歯原性嚢胞 b 非歯原性嚢胞	顎口腔領域の嚢胞の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-4)-(5)①、② 各論Ⅲ 2才 a、b
口外 7	中岡一敏	顎関節疾患	顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	a 下顎頭欠損、関節突起発育不全 b 下顎頭肥大 c 関節突起骨折 d 顎関節脱臼 e 非感染性顎関節炎 f 感染性顎関節炎 g 顎関節リウマチ<リウマチ性顎関節炎> h 痛風性顎関節炎 i 腫瘍および腫瘍類似疾患 j 顎関節強直症 k 顎関節症 l 咀嚼筋腱・腱膜過形成	顎関節疾患の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。 ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-1)①~⑦ E-2-4)-(7)①、② 各論Ⅲ 3ウ a-l

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口外 8	中岡一敏	顎関節疾患	顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	a 下顎頭欠損、関節突起発育不全 b 下顎頭肥大 c 関節突起骨折 d 顎関節脱臼 e 非感染性顎関節炎 f 感染性顎関節炎 g 顎関節リウマチ<リウマチ性顎関節炎> h 痛風性顎関節炎 i 腫瘍および腫瘍類似疾患 j 顎関節強直症 k 顎関節症 l 咀嚼筋腱・腱膜過形成	顎関節疾患の概念と種類、その診断と治療法について理解をする。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 E-2-1)①～⑦ E-2-4)-(7)①、② 各論Ⅲ 3ウa-l
口外 9	長谷部充彦	外傷	軟組織の損傷	a 口腔軟組織の損傷 b 顔面軟組織の損傷	顎口腔領域の損傷の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-3)④、⑤ E-2-1)②～⑥ E-2-4)(2)①、② 各論Ⅲ 1イa、b
口外 10	長谷部充彦	外傷	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療	a 歯の亀裂・破折・脱臼 b 歯槽骨骨折 c 下顎骨骨折 d 上顎骨骨折 e 頬骨・頬骨弓骨折 f 鼻骨骨折	顎口腔領域の損傷の病態を理解し、診断および適切な治療法について理解できる。	授業の理解を図るため、必ず予習し、授業後は繰り返し復習すること。ノート等を見直し、理解が不十分な場合は教科書等を参照し補うこと。 C-5-3)④、⑤ E-2-1)②～⑥ E-2-4)(2)①、② 各論Ⅲ 2ウa-f

指導教員：川口浩司、中岡一敏、長谷部充彦、佐藤光一郎、江口貴紀

参考書：「最新 口腔外科学 第5版」 榎本昭二、道 健一 医歯薬出版  
ISBN：978-4-263-45806-8

# 総合歯科医学Ⅵ（口腔内科学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口内 1	館原誠晃	総論 炎症・感 染・歯性感 染症	総論	a 炎症による症候	a 炎症による全身および 局所所見を生化学的な 観点から説明できる。	シラバスを確認し、 講義内容に関わる 範囲を参考書をも とに予習する。授 業の理解を深める ため講義資料と参 考書で復習する。 コアカリ： C-4-1)-②,③,⑤ C-5-5)-①～④ C-6-4)①,② E-1-3)-①,②,⑤ E-2-4)-(3)-①～⑦ E-2-4)-(10)-② F-1-2)-①～④ 国試出題基準： 必-6-イ-j 必-11-エ-d 総Ⅶ-8-ウ-b,c
			ア 炎症疾患 の病因・ 病態 イ 全身に及 ぼす影響 ウ 炎症の診 察・検査	b 診断に必要な検査	b 炎症を診断する上で必 要な血液学的検査、免 疫血清学検査（炎症マ ーカー）、微生物学検 査について説明できる。	
口内 2	館原誠晃	治療の基礎	工 歯性感 染症の治 療法	c 歯性感 染症の治 療法 抗炎症薬 抗微生物薬 穿刺 切開 ドレナージ	c 炎症の診断法および各 治療法について説明で きる。	シラバスを確認し、 講義内容に関わる 範囲を参考書をも とに予習する。授 業の理解を深める ため講義資料と参 考書で復習する。 コアカリ： C-5-5)-①～④ C-6-4)①,② E-1-3)-①,②,⑤ E-2-4)-(3)-①～⑦ E-2-4)-(10)-② 国試出題基準： 必-6-イ-j 必-7-ウ-f 各Ⅲ-1-ウ a～f
			ア 感染対策	a 標準予防策 b 抗菌薬の適正使用 と薬剤耐性	a 標準予防策を説明でき る。 b 抗菌薬の適正使用と薬 剤耐性を説明できる。	
口内 2	館原誠晃	炎症各論 軟組織に 関連する炎症 疾患の病 態・診断・ 治療	ア 軟組織の 炎症の病 態・診 断・治療	a 歯冠周囲炎〈智歯 周囲炎〉 b 口腔軟組織の炎症	a 歯冠周囲炎〈智歯周囲 炎〉について説明でき る。 b 歯肉膿瘍、歯槽膿瘍、 骨膜下膿瘍、蜂窩織炎、 組織隙の炎症、歯性扁 桃周囲炎、放線菌症、 壊死性筋膜炎について 説明できる。	シラバスを確認し、 講義内容に関わる 範囲を参考書をも とに予習する。授 業の理解を深める ため講義資料と参 考書で復習する。 コアカリ： C-5-5)-①～④ C-6-4)①,② E-1-3)-①,②,⑤ E-2-4)-(3)-①～⑦ E-2-4)-(10)-② 国試出題基準： 必-6-イ-j 必-7-ウ-f 各Ⅲ-1-ウ a～f
				c 所属リンパ節の炎 症 d 歯性上顎洞炎 e 歯性全身感染症 f 肉芽腫性炎	c 所属リンパ節の炎症に ついて説明できる。 d 歯性上顎洞炎について 説明できる。 e 菌血症、敗血症、歯性 病巣感染、全身性炎症 反応症候群〈SIRS〉、 感染性心内膜炎につ いて説明できる。 f 口腔結核、口腔梅毒、 Hansen病、サルコイ ドーシスについて説明 できる。	

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習	
口内 3	舘原誠晃	炎症各論 硬組織に関 連する疾患 の病態・診 断・治療	ア 歯槽骨・ 顎骨の炎 症の病 態・診 断・治療	ア歯槽骨・顎骨の炎 症の病態・診断・ 治療	a 歯槽骨炎、顎骨炎につ いて説明できる。 b 顎骨骨髄炎について説 明できる。 c 顎骨骨髄炎について説 明できる。 d 歯性上顎洞炎について 説明できる。 e 放射線性骨壊死につ いて説明できる。 f 薬剤関連顎骨壊死・壊 疽・骨髄炎について説 明できる。 g 外歯瘻、内歯瘻につ いて説明できる。 h 歯肉膿瘍、骨膜下膿瘍、 顎骨骨膜炎、顎骨周囲 炎について説明できる。	シラバスを確認し、 講義内容に関わる 範囲を参考書をも とに予習する。授 業の理解を深める ため講義資料と参 考書で復習する。 コアカリ： C-4-1)-(2),③,⑤ C-5-5)-①～④ C-6-4)①,② E-1-3)-①,②,⑤ E-2-4)-(3)-①～⑦ 国試出題基準： 必-7-工 各Ⅲ-2-工-a～h 各Ⅲ-4-ウ-a～c	
		全身に関連 する疾患の 病態・診 断・治療	イ 口腔症状 を呈する 細菌感染 症	イ口腔症状を呈する 細菌感染症	a 梅毒（粘膜斑、潰瘍な ど）について説明でき る。 b 破傷風（開口障害）に ついて説明できる。 c 結核について説明でき る。		
口内 4	舘原誠晃	総論 神経疾患	ア 神経疾患 の概念	a 神経疾患の症候	a 神経の解剖生理を復習 すると共に神経疾患の 症候を説明できる。	シラバスを確認し、 講義内容に関わる 範囲を参考書をも とに予習する。授 業の理解を深める ため講義資料と参 考書で復習する。 コアカリ： C-3-4)-(5)-①～③ C-3-4)-(6)-④ E-1-3)-①,②,⑤ E-2-2)-⑩ E-2-4)-(9)-①～④ E-2-4)-(10)-⑤,⑩ 国試出題基準： 必-6-イ-o 必-7-イ-m 必-9-オ-g 総Ⅳ-2-ク 総Ⅵ-1-イ-h	
			イ 神経疾患 の症候		b 感覚異常 (味覚、体性感覚)		b 感覚異常（味覚、体性 感覚）の原因、症状を 説明できる。
			ウ 神経機能 障害によ る症状		c 感覚の検査		c 感覚異常（知覚、味覚） に対する検査方法を説 明できる。
			エ 神経疾患 の検査				

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習	
口内 5	館原誠晃	各論 神経疾患	神経疾患の病態・診断・治療	a 三叉神経痛	a 三叉神経痛の病態、診断法、治療法について説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-3-4)-(5)-①～③ C-3-4)-(6)-④ E-1-3)-①,②,⑤ E-2-2)-⑩ E-2-4)-(9)-①～④ E-2-4)-(10)-⑤,⑩ 国試出題基準： 各Ⅲ-3-イ-a～k	
				b 三叉神経麻痺、三叉神経ニューロパチー	b 三叉神経麻痺と三叉神経ニューロパチーの病態、検査法、診断法、治療法について説明できる。		
				c 顔面神経麻痺	c 顔面神経麻痺の原因、病態、損傷部位による症状違い、診断法、治療法について説明できる。		
				d 舌咽神経痛	d 舌咽神経の生理機能と舌咽神経痛の病態、検査法、治療法について説明できる。		
				e 舌下神経麻痺	e 舌下神経の解剖生理と舌下神経麻痺について説明できる。		
				f 非歯原性歯痛	f 非歯原性歯痛について説明できる。		
				g 外傷性神経障害 ※神経障害性疼痛	g 外傷性神経障害について説明できる。		
				h 帯状疱疹後神経痛	h 帯状疱疹後神経痛について説明できる。		
				i 顔面けいれん	i 顔面けいれんについて説明できる。		
				j ジストニア	j ジストニアについて説明できる。		
				k ジスキネジア	k ジスキネジアについて説明できる。		
口内 6	館原誠晃	総論 血液疾患	ア 血液総論	a 血液総論	a 血液について説明する。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-3-4)-(4)-④～⑦ C-5-4)-②,③ E-2-4)-10-① 国試出題基準： 必-7-ウ-a～c 総Ⅳ-1-オ 総Ⅳ-6-ア-d 各Ⅲ-4-オ-f 各Ⅲ-4-ク-a～b	
				b 血液の検査	b 血液疾患を診断する上での検査項目を説明できる。		
				イ 血液疾患に関連する口腔顎顔面領域の症候	a 貧血に伴う症候		a 貧血に関連する平滑舌・舌炎などについて説明できる。
					b 出血性素因に伴う症候		b 出血性素因に伴う歯肉出血、抜歯後出血などについて説明できる。
					c 急性白血病に伴う症候		c 急性白血病による歯肉出血の機序を説明できる。
				各論 赤血球系疾患	ウ 赤血球系疾患		a 貧血
		b 赤血球増多症	b 赤血球増多症について説明できる。				
		c 悪性貧血	c 悪性貧血の発症機序、症状等を説明できる。				



回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口内 7	舘原誠晃	各論 白血球系疾患  出血性素因  血液疾患患者に対する 観血的治療、 歯科治療時の 留意点	ア 白血球系疾患	a 白血病 b 無顆粒球症 c 悪性リンパ腫 d 多発性骨髄腫	a 白血病について説明する。 b 無顆粒球症（※発熱性好中球減少症）について説明できる。 c 悪性リンパ腫について説明する。 d 多発性骨髄腫について説明する。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-3-4)-(4)-④～⑦ C-5-4)-②、③ E-2-4)-10-① 国試出題基準： 各Ⅲ-4-Ⅰ-b 各Ⅲ-4-Ⅰ-e,f 各Ⅲ-4-Ⅰ-a,b 各Ⅲ-4-Ⅰ-a-d 各Ⅲ-4-Ⅰ-a-f 各Ⅲ-4-Ⅰ-c
			イ 出血性素因	a Osler病 b IgA血管炎（アレルギー性紫斑病）	a Osler病を説明する。 b アレルギー性紫斑病について説明する。	
			ウ 口腔症状を呈するアレルギー疾患・免疫異常	c ITP d 血小板無力症 e 血友病A・B f DIC g くる病 h 壊血病	c ITPについて説明する。 d 血小板無力症について説明する。 e 血友病A・Bについて説明する。 f DICについて説明する。 g くる病について説明する。 h 壊血病	
口内 8	舘原誠晃	総論 粘膜疾患	ア 口腔粘膜疾患の概念	a 口腔粘膜の症候 b 舌の症候	a,b 粘膜の解剖および粘膜疾患の症候を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-4-2)-⑤、⑥ E-2-4)-(4)-①、② E-2-4)-(10)-②、③、⑦、⑧、⑩ 国試出題基準： 必-6-Ⅰ-m,p 必-7-Ⅰ-f,g 必-7-Ⅰ-d-i 必-7-Ⅰ-a 必-8-Ⅰ-a-c 総Ⅳ-1-Ⅰ 総Ⅳ-2-Ⅰ 総Ⅴ-6-Ⅰ-k 総Ⅳ-1-Ⅰ-a-d 各Ⅲ-4-Ⅰ-a 各Ⅲ-4-Ⅰ-a,d
			イ 口腔粘膜の症候	c 舌・口腔粘膜診察・検査	c 粘膜疾患の診察法について説明できる。	
			ウ 口腔粘膜疾患の診察	d アレルギー検査（プリックテスト、皮内テスト、針反応テスト、パッチテスト）	d 各種皮膚アレルギー検査の種類、その特徴について説明できる。	
	エ 口腔粘膜疾患の検査	e 後天性免疫不全症候群〈AIDS〉に伴う症候	e AIDSに関連する疾患について機序および病態を説明できる。[カンジダ症、歯周疾患、毛状く様>白板症など]			
	オ 全身的疾患に関連する口腔粘膜疾患の症候	f ウイルス感染に伴う症候 g 免疫・アレルギー疾患	f 全身に感染するウイルス感染による口腔内症状を説明できる。 g 関節リウマチ、アナフィラキシー、金属アレルギー、全身性エリテマトーデス（SLE）、移植片対宿主病〈GVHD〉、IgA血管炎〈アレルギー性紫斑病〉により生じる皮膚・粘膜の症候について説明できる。			

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口内 9	館原誠晃	各論 粘膜疾患	ア ウイルス感染による疾患  イ 口腔症状を呈する自己免疫疾患	a 単純疱疹  b 水痘・带状疱疹  c 手足口病 d ヘルパンギーナ  e 麻疹  f 天疱瘡、類天疱瘡  g 全身性エリテマトーデス (SLE) h 関節リウマチ	a 単純疱疹を説明できる。(疱疹性歯肉口内炎、口唇ヘルペスを含む。) b 水痘・带状疱疹を説明できる。 c 手足口病を説明できる。 d ヘルパンギーナを説明できる。 e 麻疹を説明できる。(Koplik 斑) f 天疱瘡および類天疱瘡を説明できる。 g SLEについて説明できる。 h 関節リウマチに関連する口腔領域の疾患を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-4-2)-⑤、⑥ E-2-4)-(4)-①、② E-2-4)-(10)-③ 国試出題基準： 各Ⅰ-3-ウ-a～e 各Ⅲ-1-ク-a,b,e 各Ⅲ-4-イ-a～g 各Ⅲ-4-オ-b
口内 10	館原誠晃	各論 粘膜疾患	薬物に関連する口腔粘膜疾患	a 多形滲出性紅斑 b 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群) c 中毒性表皮剥離壊死症 (TEN) d 薬物性口内炎 (抗腫瘍薬による口腔粘膜炎) e 菌交代症に伴う症候	a 多形滲出性紅斑を説明できる。 b 皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群)を説明できる。 c 中毒性表皮剥離壊死症 (TEN)を説明できる。 d 薬物に関連して発症する口内炎の機序を説明できる。 e 菌交代症の発症の原理を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-4-2)-⑤、⑥ E-2-4)-(4)-①、② E-2-4)-(10)-③、⑤、⑦ 国試出題基準： 必-7-エ-a,c 各Ⅰ-3-ウ-a～e 各Ⅲ-1-ク-c,d
口内 11	館原誠晃	各論 粘膜疾患	ア 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療          イ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	f アフタ性口内炎 (慢性再発性アフタ) g Behçet病 h 壊死性潰瘍性歯肉口内炎、壊疽性口内炎  i 口腔扁平苔癬 j 口腔カンジダ症  k 白板症 l 紅板症 m 白色海綿状母斑  n 色素沈着 o 色素性母斑  p von Recklinghausen 病 (神経線維腫症Ⅰ型) q 口腔潜在的悪性疾患	f アフタ性口内炎 (慢性再発性アフタ)を説明できる。 g Behçet病を説明できる。 h 壊死性潰瘍性歯肉口内炎と壊疽性口内炎を説明できる。 i 口腔扁平苔癬を説明できる。 j 口腔カンジダ症 (鷲口瘡)を説明できる。 k 白板症を説明できる。 l 紅板症を説明できる。 m 白色海綿状母斑を説明できる。 n,p 色素沈着症を説明できる。(メラニン色素沈着症、Peutz-Jeghers症候群、Addison病、von Recklinghausen病を含む) o 色素性母斑を説明できる。 q 上皮性異形成<上皮異形成>、前癌病変、前癌状態について説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-4-2)-⑤、⑥ E-2-4)-(4)-①、② E-2-4)-(10)-②、③、⑤、⑦、⑧、⑩ 国試出題基準： 各Ⅲ-1-オ-j 各Ⅲ-4-ク-f～p

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口内 12	舘原誠晃	各論 粘膜疾患	ア 口腔粘膜 疾患の病 態・診断 ・治療	q 口腔乾燥症	q 口腔乾燥症に伴う口腔 粘膜の状態を説明でき る。	シラバスを確認し、 講義内容に関わる 範囲を参考書をも とに予習する。授 業の理解を深める ため講義資料と参 考書で復習する。 コアカリ： C-4-2)-⑤,⑥ E-2-4)-(4)-①,② E-2-4)-(10)-②,③, ⑤,⑦,⑩ 国試出題基準： 各Ⅲ-4-ク-q~z 各Ⅲ-4-エ-a~e 各Ⅲ-5-イ-c
				r 貧血を伴う舌炎	r 貧血に伴う口腔粘膜症 状を説明できる。(鉄 欠乏性貧血,Plummer- Vinson症候群,Hunter 舌炎を含む)	
				s 溝(状)舌	s 溝状舌について説明で きる。	
				t 毛舌	t 毛舌(黒毛舌)を説明 できる。	
				u 地図状舌	u 地図状舌を説明できる。	
				v 正中菱形舌炎	v 正中菱形舌炎を説明で きる。	
				w 肉芽腫性口唇炎	w 肉芽腫性口唇炎を説明 できる。 (Melkersson-rosenthal 症候群含む)	
				x 口角炎、口角びら ん	x 口角炎、口角びらんを 説明できる。	
				y 褥瘡性潰瘍	y 褥瘡性潰瘍を説明でき る。	
				z その他	z Fordyce斑、舌扁桃に ついて説明できる。	
			イ 口腔粘膜 症状を呈 するアレ ルギー疾 患：免疫 異常	a 金属アレルギー	a 金属アレルギーに関連 する口腔粘膜疾患を説 明できる。	
				b IgA血管炎(アレ ルギー性紫斑病)	b IgA血管炎(アレルギー 性紫斑病)を説明でき る。	
				c Quincke浮腫	c Quincke浮腫について 説明できる。	
				d 移植片対宿主病 <GVHD>	d 移植片対宿主病 <GVHD>を説明できる。	
口内 13	舘原誠晃	総合医学総 論	ア 全身の症 候	発熱 全身倦怠感 体重減少・増加	各全身の症候および一般 的症候を説明できる。	シラバスを参照し、 講義内容に関わる 範囲を参考書と Manaba掲載資料 をもとに予習する。 授業の理解を深め るため講義資料と 参考書で復習し、 ポストテストでの 誤答箇所は必ず確 認する。 コアカリ E-6-① 国家試験出題基準 必7-ア-a 総Ⅳ-1-ア
			イ 一般的症 候	ショック 意識障害 失神 脱水 浮腫 けいれん めまい 不整脈 血圧上昇・低下 黄疸 呼吸困難 チアノーゼ 頭痛 動悸 息切れ 胸痛 嘔吐 下痢		

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習	
口内 14	舘原誠晃	各論 総合医学	ア 全体的疾患に関連する口腔・顎顔面領域の症候	a 糖尿病に伴う症候（口腔乾燥、歯周疾患など）	a 糖尿病に伴う口腔疾患を説明できる。	シラバスを確認し、講義内容に関わる範囲を参考書をもとに予習する。授業の理解を深めるため講義資料と参考書で復習する。 コアカリ： C-3-4)-(9)-① E-2-4)-(10)-⑤,⑧ E-6-② 国試出題基準： 必-7-u-h 総Ⅶ-4-イ-a 各Ⅲ-4-カ-a~h,k 各Ⅲ-4-キ-a,b	
				イ 口腔症状を呈する内分泌障害、代謝障害	a 先端巨人症<下垂体性巨人症>		a,b 下垂体ホルモンに関連する疾患について説明できる。
					b 成長ホルモン分泌不全性低身長<下垂体性小人症>		c 甲状腺機能亢進症（Basedow病<Graves病>）について説明できる。
					c 甲状腺機能亢進症		d 甲状腺機能低下症、粘液水腫、クレチン病、慢性甲状腺炎（橋本病）について説明できる。
					d 甲状腺機能低下症		e,f 副甲状腺の機能亢進・低下により発症する疾患の症状を理解している。
					e 副甲状腺機能亢進症		g Cushing病、Cushing症候群について説明できる。
					f 副甲状腺機能機能低下症		h Addison病の口腔粘膜疾患の状態を説明できる。
					g 副腎皮質機能亢進症		k 鉄欠乏性貧血に伴う口腔疾患、その他の症状を説明できる。
					h 副腎皮質機能低下症		
					k 鉄欠乏性貧血※ Plummer-Vinson症候		
ウ 口腔症状を呈する栄養障害	a くる病	a くる病の発症のメカニズムと症状を説明できる。					
	b 壊血病	b 壊血病の発症のメカニズムと症状を説明できる。					
エ 周術期の管理	a 口腔の評価、口腔機能管理	a 周術期における口腔機能管理の必要性、管理方法について説明できる。					

指導教員：舘原誠晃

参考書：「口腔外科学」 白砂兼光、古郷幹彦 医歯薬出版株式会社  
ISBN：978-4-263-45635-4 C3047  
「口腔内科学」 山根源之、草間幹夫、久保田朗 編集主幹 永末書店  
ISBN：978-4-8160-1304-1

# 総合歯科医学Ⅵ（歯科麻酔学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
麻酔 1	阿部佳子	全身麻酔	全身麻酔Ⅰ	吸入麻酔 静脈麻酔 筋弛緩薬	①吸入麻酔・薬を説明する ②静脈麻酔・薬を説明する ③筋弛緩薬を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カb 総Ⅷ 4 ウb  E- 1-4)-(4)①-③
麻酔 2	阿部佳子	全身麻酔	全身麻酔Ⅱ	全身麻酔に用いる器具 生体監視モニタ 全身麻酔困難症例	①全身麻酔に用いる器具を説明する ②生体監視モニタの基本を説明する ②全身麻酔が困難な症例について説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カb 総Ⅷ 4 ウb  E- 1-4)-(4)①-③
麻酔 3	阿部佳子	精神鎮静法	精神鎮静法	概念 適応と禁忌 亜酸化窒素吸入鎮静法 静脈内鎮静法	①精神鎮静法の概念を説明する ②精神鎮静法の適応と禁忌を説明する ③亜酸化窒素吸入鎮静法を説明する ④静脈内鎮静法を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カc 総Ⅷ 4 ウd  E- 1-4)-(2)①-④
麻酔 4	阿部佳子	局所麻酔	局所麻酔	局所麻酔の目的と作用機序 各種局所麻酔薬 血管収縮薬 局所麻酔法 局所的偶発症	①局所麻酔の目的と作用機序を説明する ②局所麻酔薬の種類を挙げその特徴を説明する ③血管収縮薬を添加する目的を説明する ④局所麻酔法の種類と実施法を説明する ⑤局所麻酔に伴う局所的偶発症を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カa 総Ⅷ 4 ウa  E- 1-4)-(3)①-⑤
麻酔 5	阿部佳子	心電図	心電図	心電図の基礎 モニター心電図 12誘導心電図 心電図不整脈 読影	①心電図の基礎・誘導を説明できる ②モニター心電図が読影できる ③12誘導心電図を説明できる ④モニター心電図の不整脈を読影し、対応を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必10工a 総Ⅵ 4 アb  C- 3-4)-(4)① E- 1-3)①③⑤

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
麻酔 6	阿部佳子	全身の偶発症	全身の偶発症 I	歯科治療で見られる全身の偶発症	①全身の偶発症の種類・発症機序・処置を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必 8 ア・必10ウエ 総Ⅳ 1 アウ 総Ⅵ 4 アb 各Ⅲ 4 ソ  C-3-4)-(4)① C-5-4)⑥ E-1-4-(1)①-⑥ E-1-3)①③⑤
麻酔 7	阿部佳子	全身の偶発症	全身の偶発症 II	歯科治療で見られる全身の偶発症	①実際の偶発症の診断・処置を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必 8 ア 総Ⅳ 1 アウ 各Ⅲ 4 ソ C-5-4)⑥ E-1-4-(1)①-⑥
麻酔 8	阿部佳子	全身麻酔	全身麻酔Ⅲ	麻酔計画 全身麻酔に必要な器具	①症例の全身管理上の問題点を挙げる ②症例に応じた麻酔計画をたてる ③症例に応じた麻酔器具を説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必12カb 総Ⅷ 4 ウb  E-1-4)-(4)①-③
麻酔 9	河端和音	救命救急	救命救急	一次救命処置 (BLS) 二次救命処置 (ACLS)	①救急処置の基本を説明する。 ②BLSの手順を説明する。 ③BLSの有用性を説明する。 ④ACLSの有用性を説明する。	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 必11アイ 総Ⅶ 3 ア-ウ  E-1-6)①-③
麻酔 10	河端和音	ペインクリニック	ペインクリニック	顎顔面領域の疼痛性疾患 顎顔面領域の麻痺性疾患	①顎顔面領域の疼痛性疾患の種類、病態と診断、その処置について説明する ②顎顔面領域の麻痺性疾患の種類、病態と診断、その処置について説明する	授業の理解を図るため、配布プリントだけではなく、テキスト・参考書による予習復習を必ず行うこと 総Ⅲ 1 ケa-d 各Ⅲ 3 イa-j  E-2-4)-(9)①-④

指導教員：阿部佳子 河端和音

参考書：医歯薬出版株式会社 歯科麻酔学第 8 版

ISBN：978-4-263-45829-7

# 総合歯科医学Ⅵ（口腔顎顔面放射線画像診断学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
放射線 1	五十嵐千浪	画像検査	エックス線検査	パノラマX線検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パノラマ撮影の原理が説明できる</li> <li>・口外法の適応が説明できる</li> </ul>	既出問題での予習、マナビとうでの復習。 D-1 ①③、 E-1-2) ⑤⑥⑦⑧、 F-2-2) ⑤⑥ 必修9カd、 総論Ⅵ2工
放射線 2	五十嵐千浪	画像検査	CT	原理、特徴、適応 造影剤の副作用 CT（単純、造影）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CT及びCBCTについて説明できる</li> <li>・造影検査について説明できる</li> </ul>	既出問題での予習、マナビとうでの復習。 D-1 ①②③、 E-1-2) ⑨、 F-2-2) ⑤⑥ 必修9カe、 総論Ⅱキab、 総論Ⅵ2オaケb
放射線 3	五十嵐千浪	画像検査	MRI シンチグラフィ 超音波検査	原理、特徴、適応 造影剤の副作用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造影剤の副作用を説明できる</li> <li>・MRIについて説明できる</li> <li>・核医学検査について説明できる</li> <li>・超音波検査について説明できる</li> </ul>	既出問題での予習、マナビとうでの復習。 D-1 ①③、 E-1-2) ⑨、 F-2-2) ⑤⑥ 総論Ⅵ2カキク
放射線 4	五十嵐千浪	放射線防護	医療放射線被曝の防護と管理	正当化、最適化、線量限度 患者と医療従事者の縫線防護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線防護の定義、分類を説明できる</li> <li>・放射線防護を説明できる</li> </ul>	既出問題での予習、マナビとうでの復習。 E-1-2) ②③ 必修9カc、 必修2カcd、 必修6アイ、 総論Ⅰ9e、 総論Ⅵ2アb、 ウab
放射線 5	五十嵐千浪	放射線治療	放射線治療の生物学的・物理学的基礎 口腔領域の放射線治療 放射線治療患者の有害反応と口腔管理 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療	放射線感受性、生物学的効果、治療の意義と目的 種類、適応、特徴 有害反応の種類と特徴 有害反応に対する口腔管理 放射線療法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線治療の種類と適応を分類、説明できる</li> </ul>	既出問題での予習、マナビとうでの復習。 D-1 ②③、 E-1-2) ① E-2-4)-(6)③ 総論Ⅲ1シb、 総論Ⅶ7アイウ、 各論Ⅲ1カキ
放射線 6	五十嵐千浪	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	顎骨に発生する嚢胞性疾患の診断	a 歯原性嚢胞 b 非歯原性嚢胞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顎骨内の嚢胞性疾患の画像診断ができる</li> </ul>	既出問題での予習、マナビとうでの復習。 E-1-2) ⑨ E-2-4)-(5)①② 総論Ⅵ2コ1a、 各論Ⅲ2オ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
放射線 7	五十嵐千浪	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a 歯源性良性腫瘍 b 歯源性悪性腫瘍 c 非歯源性良性腫瘍 e 骨関連病変 f 線維性骨病変	・顎骨内の腫瘍の画像診断ができる	既出問題での予習、マナバとうでの復習。 E-1-2)⑨ E-2-4)-(6)①② 総論Ⅵ2コ1a、各論2カ
放射線 8	五十嵐千浪	主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a 舌癌 b 歯肉癌 c 上顎洞癌	・軟組織内の悪性腫瘍の画像診断ができる ・顎骨内の悪性腫瘍の画像診断ができる ・リンパ節転移の画像診断ができる ・上顎洞疾患の画像診断ができる	既出問題での予習、マナバとうでの復習。 E-1-2)⑨ E-2-4)-(6)①② 総論Ⅵ2コ1a、各論Ⅲ1ウオカ、各論2カ
放射線 9	五十嵐千浪	主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	軟組織に発生する嚢胞、腫瘍及び腫瘍類似疾患 歯槽骨・顎骨の炎症の病態。診断・治療 唾液腺疾患の病態・診断・治療	a 非歯源性嚢胞 b 非歯原生良性腫瘍 c 顎骨骨髓炎 d 歯性上顎洞炎 e 放射線性骨壊死 f 薬剤関連顎骨壊死 g 顎骨周囲軟組織の炎症 h 唾液腺炎 i Sjogren症候群 g 粘液嚢胞 k 良性腫瘍 L 唾石症	・骨髓炎、蜂窩織炎の画像診断ができる ・軟組織内に発生する嚢胞、腫瘍性病変の画像診断ができる ・唾液腺疾患の画像診断ができる	既出問題での予習、マナバとうでの復習。 E-1-2)⑨ E-2-4)-(3)③ E-2-4)-(5)①② E-2-4)-(6)①② E-2-4)-(8)②③④⑦ 総論Ⅵ2コ1a、各論Ⅲ1ウエオ、各論Ⅲ2エ、各論Ⅲア
放射線 10	五十嵐千浪	主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療	顎骨の損傷の病態・診断・治療 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	a 歯槽骨骨折 b 下顎骨骨折 c 上顎骨骨折 d 頬骨・頬骨弓骨折 e 顎関節脱臼 f 腫瘍及び腫瘍類似疾患 g 顎関節強直症 h 顎関節症 i Gardner症候群 j McCune-Albright症候群 k 基底細胞母斑症候群 l 鎖骨頭蓋異形成症 m 大理石骨病	・外傷の画像診断ができる ・顎関節疾患の画像診断できる ・遺伝性疾患を画像診断できる	既出問題での予習、マナバとうでの復習。 E-1-2)⑨、 E-2-4)-(2)①③④、 E-2-4)-(7)①②、 E-2-4)-(8)①②③④⑤⑥⑦、 E-2-4)-(10)⑥ 各論Ⅲ2ウ、 各論Ⅲ3ウ、 各論Ⅲ4ア

指導教員：五十嵐千浪、伊東宏和

参考書：歯科放射線学第6版、解説と例題で分かる歯科放射線テキスト

ISBN：978-4-263-45812-9 C3047、978-4-8160-1384-3



# 総合歯科医学Ⅵ（歯科矯正学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
矯正 1	関谷利子	不正咬合の原因 1	先天的原因 全身的・局所的 原因 先天異常 歯の異常 軟組織異常	口唇裂・口蓋裂 Beckwith- Wiedemann症候群 Marfan症候群 先天性外胚葉形成不全 Apert症候群 Crouzon症候群 Robinシークエンス Treacher Collins 症候群 鎖骨頭蓋骨異形成症 第一第二鰓弓症候群 軟骨無形成症 Down症候群 Turner症候群 過剰歯、先天欠如、 癒合歯、癒着歯、双 生歯、巨舌症、小舌 症	① 遺伝的・環境的原因、 全身的・局所的原因、 先天的・後天的原因 について説明できる。 ② 各先天異常が引き起 こす顎骨の不正につ いて理解する。 ③ 歯数の異常、歯の形 態異常、軟組織の形 態異常が引き起こす 不正咬合について理 解する。	教科書を事前に読み予習し、 授業後はmanaba等で配布 している講義資料を参照し 復習すること。 E-2-3)③、E-2-4)-(1)①②、 E-3-1)③、E-4-1)③ 必6アb、必6イd,e,h、 必7イe、総Ⅱ8アb、 各Ⅰ1アb、各Ⅰ1イa,b,e、 各Ⅰ1ウa～e、 各Ⅰ1エa,b、各Ⅰ2アa,b、 各Ⅰ2イa,d,e、 各Ⅰ3アa,b、各Ⅰ3イd、 各Ⅰ5ア～エ、各Ⅲ1アb、 各Ⅲ4アa～c,e,j,n,o
矯正 2	関谷利子	不正咬合の原因 2	後天的原因 全身的・局所的 原因 口腔習癖	先端巨人症 弄指癖、弄唇癖、弄 舌癖、異常嚥下癖、 口呼吸	① 後天的原因、全身 的・局所的原因につ いて説明できる。 ② 口腔習癖と不正咬合 について理解する。	教科書を事前に読み予習し、 授業後はmanaba等で配布 している講義資料を参照し 復習すること。 E-2-3)③、E-2-4)-(1)④、 E-3-1)③、E-4-1)⑥、 E-4-2)⑫ 必6イd,e、必7イe、 総Ⅳ2ウ、各Ⅰ5ウ、エ、 各Ⅲ4カa
矯正 3	及川 崇	不正咬合 の診断・ 治療方針	診察 検査 診断 治療計画	顔面所見 口腔内所見 模型分析 頭部エックス線規格 写真分析	① 不正咬合の診査に必 要な項目を知り、理 解する。 ② 模型分析の項目とそ の意味を理解する。 ③ 頭部エックス線規格 写真の分析結果から 症例の特徴を把握す る。 ④ 治療目標に基づいた 治療の順序、処置・ 術式の決定、矯正装 置の選択、治療計画 が立てられる。	教科書を事前に読み予習し、 授業後はmanaba等で配布 している講義資料を参照し 復習すること。 E-1-1)①③⑥～⑧、 E-1-2)⑥～⑧、 E-1-3)①② 必8イa、必8オa,c,f、 必8カa～c、総Ⅵ2ウ、 各Ⅰ6ア～エ
矯正 4	及川 崇	矯正歯科 治療にお ける抜歯 矯正治療 に伴う生 体反応	抜歯の意 義・部位と 数 矯正治療に 伴う全身反 応・局所反 応	抜歯の目的・適応症・ 決定法 連続抜去法 抜歯の長所と短所 Tweed三角 歯根膜反応 歯槽骨の変化	① 矯正治療における抜 歯の意義、部位を具 体的に説明できる。 ② 歯の移動のメカニズ ムと歯周組織の反応 について説明できる。	教科書を事前に読み予習し、 授業後はmanaba等で配布 している講義資料を参照し 復習すること。 E-4-1)③⑥ 各Ⅰ6ウ、各Ⅰ8

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
矯正 5	及川 崇	矯正力・固定	狭義の矯正力 顎整形力 固定の定義・種類	作用様式による矯正力の分類 歯の移動様式 部位による固定の種類 抵抗の性質による固定の分類 抜歯空隙利用のための固定の分類（歯科矯正用アンカースクリューを含む）	①矯正力の分類を説明できる。 ②歯の移動様式を説明できる。 ③固定の分類を説明できる。	教科書を事前に読み予習し、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-2④、E-4-1)②③⑤⑥ 必11セi、総Ⅷ10ア～オ、各17ア～エ
矯正 6	及川 崇	矯正装置 1	唇舌側弧線装置 顎外固定装置 マルチブラケット装置 拡大装置	リンガルアーチ トランスパラルアーチ Nanceのホールディングアーチ タンククリブ ヘッドギア チンキャップ 上顎前方牽引装置 急速拡大装置 クワドヘリックス	①矯正装置の構造、作用、適応症について説明できる。	教科書を事前に読み予習し、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-2④、E-4-1)③～⑤ 必11ケf、必11セi、総Ⅶ2アe、総Ⅷ10ア～オ、各19アa～d、各19イa～c、各19ウ、各19工ab
矯正 7	及川 崇	矯正装置 2	機能的矯正装置 床矯正装置	アクチバートル バイオネーター Fränkel装置 リップバンパー 咬合挙上板 咬合斜面板 スライディングプレート	①矯正装置の構造、作用、適応症について説明できる。	教科書を事前に読み予習し、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-2④、E-4-1)③～⑤ 必11ケf、必11セi、総Ⅶ2アe、総Ⅷ10ア～オ、各19オa～d、各19カa,b
矯正 8	及川 崇	歯科矯正材料・器械・器具	線材料 バンド ブラケット チューブ エラストイック コイルスプリング 接着用材料	ステンレス鋼 コバルトクロム ニッケルチタン チタンモリブテン	①矯正治療に必要な器具・器材について説明できる。	教科書を事前に読み予習し、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 D-2④、E-4-1)③～⑤ 必11ケf、必11セi、総Ⅶ2アe、総Ⅷ10ア～オ、各19ウ
矯正 9	関谷利子	不正咬合の治療 1	不正咬合の予防 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 永久歯列期の不正咬合の治療	予防矯正 抑制矯正 限局矯正 本格矯正 エッジワイズ法	①混合歯列期での顎整形力を用いた治療法について理解する。 ②永久歯列期での各種不正咬合の治療法について理解する。	教科書を事前に読み予習し、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-3-2)①、D-2④、E-4-1)①～⑥、E-4-2)⑧⑨⑫ 必11ケf、必11セi、総Ⅶ2アe、総Ⅷ10ア～オ、各110ア～ウ

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
矯正 10	関谷利子	不正咬合の治療 2	先天性疾患を伴う不正咬合の治療 顎変形症の治療 補綴・歯周治療との併用 治療中の管理 保定 偶発症	口蓋裂の治療 外科的矯正治療 保定装置 Hawleyタイプリテーナー Beggタイプリテーナー トゥースポジションナー 犬歯間保定装置 矯正治療に伴う偶発症	①矯正学と隣接歯学との関連を知る。 ②矯正治療の治療目標と適用範囲を考える。 ③保定の意義と装置を説明できる。 ④矯正治療中の口腔管理と偶発症を説明できる。	教科書を事前に読み予習し、授業後はmanaba等で配布している講義資料を参照し復習すること。 B-3-2)①③、D-2④、E-2-4)-(1)②③、E-4-1)③～⑥⑦ 必11ケf、必11ゼi、総VII2アe、総VIII10ア～オ、各I10エ～ク、各III1アb、各III2アa、各III2イa

指導教員：関谷利子、及川 崇

参考書：「歯科矯正学 第6版」 飯田順一郎 他 医歯薬出版 2019年

ISBN：978-4-263-45832-7

「歯科国試パーフェクトマスター歯科矯正学 第2版」 清水典佳 医歯薬出版 2022年

ISBN：978-4-263-45874-7

# 総合歯科医学Ⅵ（小児歯科学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
小児 1	守安克也	1 齲蝕と予防	1 A齲蝕の予防	1 Aa齲蝕の要因 1 Ab齲蝕予防の重要性 1 Ac齲蝕の予防法	1 Aa①齲蝕の要因について説明する。 1 Ab①小児の齲蝕予防の重要性を説明する。 1 Ba①小児の齲蝕の予防法を述べる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-4-2)①,② 各Ⅱ1イa,b,c,d,e
小児 2	守安克也	1 小児の臨床における対応	1 A臨床における対応法	1 Aa一般的対応法 1 Ab心理学的対応 1 Ac特殊な対応法	1 A①小児の一般的対応法を列挙し説明する。 1 Ab①行動療法による対応法を列挙し説明する。 1 Ac①特殊な対応法を列挙し説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-4-2)⑩ 必11イa,b,c 総V2ア 総V2イ 総V2ウ 総V2エ
小児 3	守安克也	1 齲蝕治療	1 A乳歯の歯冠修復 1 B幼若永久歯の歯冠修復	1 Aa乳歯齲蝕の診察・診断 1 Ab成形充填 1 Ac全部被覆冠 1 Ba幼若永久歯の歯冠修復法	1 A①乳歯の歯冠修復の適応と術式を述べる。 1 B①幼若永久歯の歯冠修復の適応と術式を述べる。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-4-2)③ 総Ⅶ1ウa 各Ⅱ1エb、d
小児 4	守安克也	1 齲蝕治療	1 A乳歯および幼若永久歯の歯内療法	1 Aa診察・診断 1 Ab歯髄炎の臨床的分類 1 Ac歯髄炎の処置 1 Ad根尖性歯周炎の臨床的分類 1 Ae根尖性歯周炎の処置	1 A①乳歯の歯髄疾患の特徴と処置を説明する。 1 A②乳歯の歯内療法術式の術式を説明する。 1 A③幼若永久歯の歯髄疾患の特徴と処置を説明する。 1 A④幼若永久歯の歯内療法術式を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-4-2)④,⑤ 各Ⅱ2イf 各Ⅱ2ウa,b,c,d

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
小児 5	守安克也	1 外科的処置  2 歯の外傷と処置	1 A 抜歯  2 A 歯の外傷の処置  2 B 歯の外傷の処置  2 C その他の外傷	1 Aa 抜歯  1 Ba 小児の薬用量 1 Bb 前投薬  2 Aa 診察・検査・診断  2 Ba 破折・脱臼 2 Bb 受傷歯の固定 2 Bc 再植法  2 Ca スポーツ外傷  2 Cb 児童虐待による外傷	1 Aa①小児の抜歯の適応症を列挙し、術式を説明する。 1 B①小児の薬用量を説明する。 2 A①乳歯の外傷の臨床的特徴を説明する。 2 A②幼若永久歯の外傷の臨床的特徴を説明する。 2 B①小児の歯の外傷の処置法を列挙し説明する。 2 Ca①スポーツ外傷の臨床的特徴を説明する。 2 Cb①虐待による外傷の特徴について説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-4-2)⑦ 総 I 2アg 総 VII 4アf 各 I 4アa,b 各 I 4イ 各 I 2ウ 各 I 2エ 各 I 2オ
小児 6	守安克也	1 咬合誘導	1 A 咬合誘導法	1 Aa 咬合誘導の目的と分類  1 Ab 歯列・咬合の正常発育を阻害する因子  1 Ac 静的(受動的)咬合誘導	1 Aa①咬合誘導の目的と分類を説明する。 1 Ab①歯列・咬合の正常発育を阻害する因子を説明する。 1 Ac①静的(受動的)咬合誘導の意義と目的を説明する。 1 Ac②静的(受動的)咬合誘導の種類を列挙し説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-4-2)⑧ 各 I 3アa,b,c,d,e,f 各 I 5ア 各 I 5イa,b,c
小児 7	守安克也	1 咬合誘導	1 A 咬合誘導法	1 Aa 動的(能動的)咬合誘導  1 Ab 口腔習癖と処置	1 Aa①動的(能動的)咬合誘導の意義と目的を説明する。 1 Aa②動的(能動的)咬合誘導の種類を列挙し説明する。 1 Ab①口腔習癖の種類と歯科的問題について説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-4-2)⑩ 各 I 10ア,b 各 I 10イa
小児 8	守安克也	1 歯周疾患  2 顎・口腔軟組織疾患	1 A 歯周疾患の種類および特徴と処置  1 B 歯周疾患の予防  2 A 口腔軟組織の疾患  2 B 顎関節症	1 Aa 正常な歯周組織の構造  1 Ab 歯肉炎・歯周炎  1 Ba 歯周組織および歯周疾患の評価 1 Bb ブラークコントロール  2 Aa 口腔軟組織疾患  2 Ba 顎関節症	1 Aa①小児の歯周組織の特徴を説明する。 1 Ab①小児の歯周疾患を列挙し説明する。 1 Ba①小児の歯周疾患の評価法を説明する。 1 Bb①小児の歯周疾患の予防法を説明する。 2 Aa①小児の口腔軟組織疾患を列挙し臨床的特徴を説明する。 2 Ba①小児の顎関節症の臨床的特徴を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。  E-4-2)⑥,⑦ E-2-4)-(7)② 各 II 3エa,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
小児 9	守安克也	1 治療時に留意すべき小児疾患	1 A先天異常 1 B染色体異常 1 C感染症 1 D骨代謝異常 1 E内分泌異常		1 ①臨床上注意すべき全身疾患を列挙し、説明する。 1 ②遺伝性疾患と口腔疾患との関連性について説明する。 1 ③全身疾患に伴う硬組織異常を列挙し説明する。 1 ④全身疾患に伴う軟組織異常を列挙し説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-2-4)-(1)①,②,③,④ 総Ⅶ 1 Ⅰ 各Ⅰ 1 Ⅰ a,b,c,d,e,f 各Ⅰ 1 Ⅰ u a,b,c,d,e 各Ⅰ 1 Ⅰ E a,b
小児 10	守安克也	1 障害児の歯科診療	1 A主な障害の概要 1 B障害児の歯科的問題 1 C歯科的対応		1 A①障害児を分類し、その特徴を説明する。  1 C①障害児の口腔の特徴と歯科的問題を説明する。 1 C①障害児への歯科的対応を説明する。	中項目に該当する講義内容について事前に配布した教科書や授業プリントを参照し、十分な予習を行うこと。講義終了後に実施する講義内容に関する問題演習にて理解度を確認して復習すること。 E-5-2)①,②,③ 必1Ⅰ a,b,c 総Ⅴ 3 ア 総Ⅴ 3 ア 総Ⅴ 3 Ⅰ a,b,c,d 総Ⅴ 3 ウ 総Ⅴ 3 エ 総Ⅴ 3 オ 総Ⅴ 3 カ 各Ⅴ 8 ア 各Ⅴ 8 Ⅰ a,b,c 各Ⅴ 8 ウ 各Ⅴ 8 エ

指導教員：朝田芳信 守安克也

参考書：小児の口腔科学 第5版  
ISBN：978-4-7624-4646-7

# 総合歯科医学Ⅵ（高齢者歯科学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
高齢者 1	菅 武雄	0. 国家試験受験に向けてのオリエンテーション 1. 歯科医師国家試験に向けての学修計画 2. 高齢医療分野のトレンド 3. リハビリテーション医学の概要	0) 歯科医師国家試験既出問題の分析 1) 効果的な試験対策に向けてのアドバイス 2) 高齢医療分野のトレンドと医師・歯科医師国家試験 3) リハビリテーションの位置づけ	a. 歯科医師国家試験で問われているテーマ b. 短期記憶と長期記憶の性質と受験術 c. 高齢医療分野のトレンドと医師・歯科医師国家試験 d. リハビリテーション医学・歯科医学	1 歯科医師国家試験における高齢者歯科学分野の範囲を俯瞰し、学習する項目を把握する。 2 受験術としての学習方法を見直す。 3 リハビリテーション医学を説明する。	【予習】 1. 4年次の高齢者歯科学総論の復習。  【復習】 年間の学習計画を立案する。 必2アc 必2Af 必12イb 必12シa E-5-9)-9
高齢者 2	赤松那保	1. 超高齢社会概観 2. 高齢者に関わる制度論 (1)	1) 超高齢社会を理解するための基本統計の経口と特徴	a. 高齢化率 b. 死亡原因 c. 合計特殊出生率 d. その他の超高齢社会を理解するためのキーワード	①本邦の超高齢社会における制度を説明する。 ②本邦の超高齢社会の現実を説明する。	【予習】 1. 日本の社会保障制度の概略を復習しておく。  【復習】 1. 医療保険と介護保険の関係を説明できるようにする。 2. 地域包括ケアシステムの5つの要素、在宅医療に求められる4つの機能。 A-7-1)-③： 総I1才abc、 総V5イf
高齢者 3	菅 武雄	摂食嚥下リハビリテーション1	1) 嚥下障害とは 2) 嚥下障害の原因となる疾患 3) 嚥下障害の症状 4) 嚥下機能スクリーニング検査	a. 嚥下障害の定義 b. 嚥下障害を引き起こす疾患 c. 嚥下障害の症状 d. 問診・調査票 e. RSST f. MWST g. FT h. 簡易咳テスト i. 頸部聴診	①嚥下障害について説明する。 ②嚥下障害の原因を列挙する。 ③嚥下障害の症状を列挙する。 ④嚥下障害患者の医療面接を説明する。 ⑤嚥下機能スクリーニング検査を列挙する。 ⑥嚥下機能スクリーニング検査を説明する。	【予習】 1. 4年次の高齢者歯科学の復習(プリント)。  【復習】 摂食嚥下障害を引き起こす疾患と症状の一覧をまとめておく。 B-1-③、E-5-10)-⑩ 総V5ウb、総VII9ク、 各V3アe、 各V4イc、各V6オE-5-8)-⑧、必7イf、 必8ウi、 総V5イe、 総VI1イe、 総VI1イg、

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
高齢者 3						各V1ウa, 各V1ウc, 各V1エa, 各V1エb, 各V2アb, 各V3イa E-5-9)-⑨, 必2アc, 必2アフ, 必12イb, 必12シa, 総VII6ア, 総VII6イa, 各V6アa, 各V6アb, 各V6イ, 各V6ウ, 各V6エ
高齢者 4	菅 武雄	摂食嚥下リハビリテーション2	1) 嚥下機能精密検査 2) 嚥下機能訓練 3) 摂食嚥下リハビリテーションの展開 4) 栄養療法の実際	a. 嚥下造影検査 b. 嚥下内視鏡検査 c. 直接訓練 d. 間接訓練 e. 摂食嚥下リハビリテーションが実施される場所・環境 f. 栄養投与法の実際 g. 胃瘻の意味と考え方 h. 摂食嚥下機能の回復のプログラム	① 嚥下造影検査について説明する。 ② 嚥下内視鏡検査について説明する。 ③ 嚥下機能訓練方法を列挙する。 ④ ステージ別摂食嚥下リハビリテーションの実際(急性期・回復期・維持期・終末期) ⑤ 栄養投与ルートを選択 ⑥ 胃瘻の選択と離脱 ⑦ 経口摂取の禁止から経口摂取再開、食上げへの道	【予習】 1. 4年次の高齢者歯科学の復習(プリント)。  【復習】 VFとVEの長所短所をまとめる。正常像(解剖学的所見)を復習する。 B-1-③, E-5-10)-⑩ 必12サa, 総V5ウa, 総V5ウb, 総VII9ク, 各V3アe, 各V4イc, 各V6オ E-5-8)-⑧, 必7イf, 必8ウi, 総V5イe, 総VI1イe, 総VI1イg, 各V1ウa, 各V1ウc, 各V1エa, 各V1エb, 各V2アb, 各V3イa E-5-9)-⑨, 必2アc, 必2アフ, 必12イb, 必12シa, 総VII6ア, 総VII6イa, 各V6アa, 各V6アb, 各V6イ, 各V6ウ, 各V6エ
高齢者 5	赤松那保	1. 高齢者に関わる制度論 (2)	1) 社会保障制度	a. 医療保険 b. 介護保険 c. 地域包括ケアシステム	① 各種社会保障制度の概要を説明する。	【予習】 1. 4年次の高齢者歯科学総論の復習。  【復習】 1. 高齢化率の定義、 2. 現在の高齢化率、 3. 関連職種の法律上の位置付け A-5-1)-①②③: 必3アabc, 必3イabc B-2-2)-④: 必2アag B-4-2)-②: 総I2オa



回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
高齢者 6	赤松那保	1. 加齢に伴う変化  2. コモンディーズ 1	1) 加齢に伴う各臓器の変化  2) 高齢者によくみられる基礎疾患  3) 歯科診療に配慮が必要な基礎疾患	a. 加齢に伴う循環器、呼吸器、消化器などの変化  b. 老年症候群	①加齢に伴う変化を説明する。  ②高齢者によくみられる基礎疾患を説明する。	【予習】 内科学、生理学の復習。  【復習】 加齢に伴う変化の一覧を作成する。 A-6-1)-③④： 必6Ⅰabc C-3-3)-①②③： 総Ⅱ8Ⅰab E-1-4)-(-1)-⑥： 必6Ⅰabc、 総Ⅰ2オb E-2-3)-④： 総Ⅱ8Ⅰab、 各Ⅴ2アイ E-5-1)-①②： 必6Ⅰabc、 総Ⅰ2オb
高齢者 7	赤松那保	1. コモンディーズ 2	1) 認知症	a. 認知症の原因疾患 b. 認知症の種類 c. 認知症の評価・検査	①認知症の原因疾患について説明する。 ②認知症の評価方法について説明する。 ③認知症の種類を列挙する。	【予習】 歯科医師国家試験過去問を見直しておく。  【復習】 認知症の原因疾患、症状、評価方法をまとめる。 C-3-3)-①②③： 必7Ⅰイp、総Ⅴ5Ⅰc、 各Ⅴ1Ⅰa E-1-4)-(-1)-⑥： E-2-3)-④ E-5-1)-①②
高齢者 8	赤松那保	1. 栄養評価  2. 高齢者の虐待 3. 口腔機能低下症	1) 各種栄養評価方法  2) 虐待の徴候と対応 3) 口腔機能低下症	a. SGA b. MNA c. その他の栄養評価方法 b. 虐待の徴候と対応 c-1. 口腔衛生状態 c-2. 口腔乾燥 c-3. 咬合力 c-4. 舌口唇機能 c-5. 舌圧 c-6. 咀嚼機能 c-7. 嚥下機能	①各種栄養評価方法を説明する。  ②高齢者の虐待について説明する。 ③口腔機能低下症についての項目、評価方法、検査法補について詳しく説明する。	【予習】 1. 栄養療法について  【復習】 1. 各種栄養評価方法 2. 口腔機能低下症の全容を説明できるようにしておく。 B-1-③：総Ⅴ5ウa E-1-4)-(-1)-⑥： 総Ⅰ2オc、 各Ⅴ1オ、 各Ⅴ3アe E-5-1)-①②： 各Ⅴ3アe E-5-1)-⑩  E-5-1)-③：必2アg、 総Ⅰ2オd、 総Ⅱ8Ⅰab、 総Ⅵ1Ⅰイ、 総Ⅶ6Ⅰc、 各Ⅴ1オ、 各Ⅴ3Ⅰabcd、 各Ⅴ4Ⅰb

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
高齢者 9	菅 武雄	サルコペニア・フレイル	1)サルコペニア 2)フレイル	a.サルコペニア診断基準 b.フレイルの概念	①フレイル、サルコペニアの概念を評価方法を説明する。	【予習】 サルコペニア・フレイルについて、4年次までの講義ノートを読み返す。  【復習】 サルコペニア・フレイルについて説明できるように復習する。 E-5-1)-③：必2アg、 総I2オd、 総II8エab、 総VI1イ、 総VII6イc、 各V1オ、 各V3イabcd、 各V4イb
高齢者 10	菅 武雄	1.在宅医療・在宅歯科医療  2.終末期医療ターミナルケアACP	1)在宅医療  2)在宅歯科医療  3)終末期医療 4)緩和ケア 5)ターミナルケア 6)アドバンスケアプランニング 7)人生会議	a.在宅医療の対象者 b.在宅医療の内容 c.在宅歯科医療の基本的考え方 d.終末期医療 e.緩和ケアとターミナルケア f.アドバンスケアプランニングと人生会議	①在宅医療・在宅歯科医療について説明する。 ②在宅医療の内容を説明する。  ③在宅歯科医療の基本的考え方を説明する。  ④終末期医療の定義を説明する。 ⑤緩和ケアについて説明する。 ⑥ACPを説明する。	【予習】 1.4年次の高齢者歯科学の復習。  【復習】 医療の場と生活の場での対応の違いをまとめておく。 A-1-1)-③：必2アa、 総I2オb、各V1カ A-1-2)-③：必6エc、 必12イc、総I2オb、 総VII1ウc C-5-7)-①：必2アg、 必6エb、総I2オb、 各V1カ A-7-1)-④⑤： 必3イabc、必12イd、 総I1エj、 総I1オabc、各8イ E-5-1)-⑥⑦： 必3イb、各8アa

指導教員：菅 武雄、赤松那保

- 参考書：1. 老年歯科医学（医歯薬出版）  
ISBN：978-4-263-45789-4  
2. よくわかる高齢者歯科学（永末書店）  
ISBN：978-4-8160-1339-3  
3. 摂食嚥下リハビリテーション第三版（医歯薬出版）  
ISBN：978-4-263-44447-4

# 総合歯科医学Ⅵ (法医歯学)

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
法医 1	勝村聖子	1. 災害歯科 医学	1 A 災害医療  1 B 救急医療  1 C 医療救護  1 D トリアー ジ	1 Aa 災害救助法  1 Ab 災害対策基 本法	1 ① 災害時の歯科医 師の活動につ いて説明する。 1 ② 災害時における 医療救護につ いて説明する。 1 ③ 救急時における 医療救護につ いて説明する。 1 ④ トリアージにつ いて説明する。	3年次「歯科法医学」、 4年次「社会歯科学」 の内容を各自見返して おくこと。講義後はプ リント等を参照に復習 すること。  A-7-1)⑥、 B-2-2)⑨ 総 I-1-エ-h
法医 2	勝村聖子	1. 虐待	1 A 児童虐待  1 B 高齢者虐 待	1 Aa 児童虐待防 止法  1 Ba 高齢者虐待 防止法	1 ① 児童虐待につ いて説明する。 1 ② 高齢者虐待につ いて説明する。	3年次「歯科法医学」、 4年次「社会歯科学」 の内容を各自見返して おくこと。講義後はプ リント等を参照に復習 すること。  B-2-2)⑥、 E-5-1)⑩ 総 I-2-ア-g
法医 3	佐藤慶太	1. 歯科医師 法 1	1 A 歯科医師 の任務、 資格、業 務	1 Aa 歯科医師免 許 1 Ab 歯科医師の 欠格事由 1 Ac 業務の独占 1 Ad 応召の義務 1 Ae 診療録の記 載・保管 1 Af 処方せん及 び診断書の 発行 1 Ag 保健指導	1 A① 歯科医師の法的 根拠を説明する。 1 A② 歯科医師の法的 任務を説明する。 1 A③ 歯科医師の行政 処分について説 明する。 1 A④ 歯科医業の独占 及び名称使用の 制限について説 明する。 1 A⑤ 歯科医師の発行 文書について説 明する。 1 A⑥ 診療録の取扱に ついて説明する。	3年次「歯科法医学」、 4年次「社会歯科学」 の内容を各自見返して おくこと。講義後はプ リント等を参照に復習 すること。  A-1-3)④、 B-2-1)① 必 2-イ-a、 総 I-1-ウ-a
法医 4	佐藤慶太	1. 歯科医療 関係職種	1 A 歯科衛生 士 1 B 歯科技工 士 1 C 看護師  1 D 薬剤師 1 E 臨床放射 線技師	1 Aa 歯科衛生士 法 1 Ba 歯科技工士 法 1 Ca 保健師・助 産師・看護 師法 1 Da 薬剤師法 1 Ea 臨床放射線 技師法	1 ① 歯科医業と関係 職との業務上の 関連について説 明する。 1 ② 歯科関係職にお ける歯科医行為 の禁止について 説明する。 1 ③ 歯科関係職の特 性について説明 する。	3年次「歯科法医学」、 4年次「社会歯科学」 の内容を各自見返して おくこと。講義後はプ リント等を参照に復習 すること。  B-2-1)③⑥⑦ 必 2-イ-a-e、 総 I-1-ウ-i

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
法医5	佐藤慶太	1. 医療法1	1 A 医療機関の管理	1 Aa 医療機関の開設届け 1 Ab 医療機関の管理者 1 Ac 医療広告 1 Ad 標榜診療科	1 A① 医療機関の管理・開設について説明する。 1 A② 医療広告の範囲について説明する。 1 A③ 歯科医療機関の標榜診療科について説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 B-2-1)② 必2-イ-b、 総I-1-ウ-a
法医6	佐藤慶太	1. 医療法2とその関連法規	1 A 医療の安全対策 1 B 医薬品や医療機器の取り扱い	1 Aa 医療安全の確保 1 Ab リクスマネージメント 1 Ac ヒヤリハットレポート 1 Ad アクシデントレポート 1 Ae クリニカルパス 1 Af 医療事故調査制度 1 Ag 院内感染対策 1 Ba 医薬品と医療機器の安全管理 1 Bb 薬機法 1 Bc 麻薬及び向精神薬取締法等	1 A① 医療安全体制について説明する。 1 A② 医療事故の発生原因についてを説明する。 1 A③ 医療事故の防止について説明する。 1 A④ 医療事故の報告及び調査について説明する。 1 A⑤ 院内感染対策について説明する。 1 B① 医薬品や医療機器の安全管理について説明する。 1 B② 麻薬等の管理・施用について説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 A-6-1)①～⑤、⑦、 A-6-2)①～⑥、 B-2-1)②④ 必2-イ-b、 必2-イ-d、 必2-オ-a～h、 総I-1-ウ-a,b,e
法医7	佐藤慶太	1. 医療事故と医事紛争	1 A 説明義務 1 B セカンドオピニオン 1 C 医療契約 1 D 医療過誤 1 E 刑事責任 1 F 民事責任 1 G 医療裁判	1 Aa 医療法 1 Ba リスボン宣言 1 Ea 刑法 1 Fa 民法 1 Ga 和解・調停	1 ① 医療を受ける患者権利について説明する。 1 ② 医療事故の法的責任について説明する。 1 ③ 医事紛争の回避・解決法について説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 A-1-2)①～④、 A-1-3)④、 A-6-1)①～⑦、 A-6-2)①～⑥、 A-6-3)①～⑤ 必2-イ-d、 必2-カ-a～d、 必2-キ-a,b、 総I-1-ウ-a,b
法医8	佐藤慶太	1. 診療情報の保護	1 A 医療記録の保存 1 B 医療記録の開示 1 C 秘密漏洩の禁止 1 D 診療情報の提供	1 Aa 医療法 1 Ba 個人情報保護法 1 Ca 刑法 1 Da 健康保険法	1 ① 診療情報の対象と保管について説明する。 1 ② 診療情報の開示について説明する。 1 ③ 診療情報の秘密保持について説明する。 1 ④ 医療機関同士での診療情報の共有について説明する。	3年次「歯科法医学」、4年次「社会歯科学」の内容を各自見返しておくこと。講義後はプリント等を参照に復習すること。 A-4-2)④～⑦、 A-5-1)④～⑦、 B-4-3)①② 必2-エ-a～c、 必2-コ-a～d、 必3-イ-c,d、

指導教員：佐藤慶太、勝村聖子

参考書：臨床のための法医学（第6版）、朝倉書店

ISBN：978-4-254-31091-7 C3047

# 総合歯科医学Ⅵ（口腔衛生学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口腔衛生 1	梁 洪淵	口腔衛生学1	1A 口腔環境	1Aa ベリクル 1Ab ブラークと沈着物 1B ブラークコントロール	1Aa① ベリクル(AEP)と健康な口腔内について説明する。 1Ab① ベリクルとブラークの違いを列挙し説明する。 1Ab② 口腔内の沈着物と疾患についての関係を説明する。 1Ba① ブラークコントロールの概念と分類を説明する。 1Bb① ブラッシング法について説明する。 1Bb② PTC、PMTCについて説明する。 1Bc① 歯磨剤について説明する。 1Bc② b洗口剤、義歯洗浄剤について説明する。	5年生までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 B-5-1)②、B-5-2)①③、E-5-1)①～⑥、E-5-2)①～⑤ 【歯科医師国家試験出題基準】 必3ウbc、必4イc、総I11イa、総II21イa、各II11イae
口腔衛生 2	梁 洪淵	口腔衛生学2	2A 口腔疾患予防の実践	2Aa 齲蝕 2Ab 歯周疾患 2Ac 口臭	2Aa① 齲蝕予防の機序と実践方法について説明する。 2Aa② Keysの輪の概念とリスクファクター別の対処法を説明する。 2Aa③ フッ化物の応用について説明する。 2Ab① 歯周疾患予防の機序と実践方法について説明する。 2Ac① 口臭予防の機序と実践方法について説明する。	5年生までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 B-5-2)①～⑤ 【歯科医師国家試験出題基準】 必3ウa、必6イac、必9オh、総VI1Af、各II1Aab、各III51e、
口腔衛生 3	山田秀則	口腔衛生学3	3A 環境と健康	3Aa 環境汚染対策防 3Ab 生活環境保全	3Aa① 地球規模の環境問題を説明できる。 3Aa② 生物濃縮を説明できる。 3Aa③ 公害を説明できる。 3Aa④ わが国の環境基準を説明できる。 3Bb① 浄水法、下水処理法を説明できる。 3Bb② 感覚温度を説明できる。 3Bb③ シックハウス症候群を説明できる。 3Bb④ 廃棄物処理法を説明できる。	事前に教科書で予習すること。受講に際しては、指定教科書を用意すること。講義の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は講義担当教員に個別に質問すること。 【コアカリキュラム】 B-2-4)①②、B-2-1)⑤ 【国家試験出題基準】 総I9Aa～e

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口腔衛生 4	山田秀則	口腔衛生学4	4A 人口統計  4B 健康・疾病統計	4Aa 人口動態統計・人口動態統計  4Ba 保健統計	4Aa① 基幹統計・一般統計を説明できる。 4Aa② 国勢調査を説明できる。 4Aa③ 人口動態統計調査を説明できる。 4Ba① 歯科疾患実態調査を説明できる。 4Ba② 学校保健統計調査を説明できる。 4Ba③ 国民健康・栄養調査を説明できる。 4Ba④ 患者調査を説明できる。 4Ba⑤ 国民生活基礎調査を説明できる。 4Ba⑥ 医師・歯科医師・薬剤師調査を説明できる。	事前に教科書で予習すること。受講に際しては、指定教科書を用意すること。講義の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は講義担当教員に個別に質問すること。 【コアカリキュラム】 B-4-2)②③ 【国家試験出題基準】 総I6ウab
口腔衛生 5	梁 洪淵	口腔衛生学5	5A 口腔保健の疫学的指標  5B 口腔保健と疫学的手法	5Aa 齲蝕の指標  5Ab 歯周疾患の指標  5Ac 口腔清掃状態の指標  5Ad その他の歯科保健的指標	5Aa① DMF (demf)を用いた指標について説明する。 5Aa② RID、ICDASを説明する。 5Ab①PMA、GI、PI、PDI、Gbcount、CPIを説明する。 5Ac① PI-I、OHI、OHI-S、PHP、O' LearyのPCRを説明する。 5Ad① DAI、CFI、WHOのCPIプロンプを説明する。	5年生までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 B-4-1)②③、 B-4-2)①④ E-5-1)①～⑥、 E-5-2)①～⑥ 【歯科医師国家試験出題基準】 総I6イb、Iab
口腔衛生 6	梁 洪淵	口腔衛生学6	6A 行動科学  6B 健康教育  6C 地域歯科保健活動	6Aa 行動科学の理論と保健行動モデル  6Ba 健康教育の変遷と方法  6Ca 保健情報の作成と評価	6Aa① 行動科学の理論を説明する。 6Aa② KAPモデル、健康信念モデル、プリシードプロセスモデル、変化のステージモデルを説明する。 6Ba① ヘルスプロモーション、ヘルスリテラシーを具体例をあげて説明する。 6Ca① PDCAサイクルの概念に基づいた地域診断を説明する。	5年生までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 B-5-1)③、B-5-2)⑦⑧ 【歯科医師国家試験出題基準】 必3アc、必3ウb、 総I1イa～c、 総I1オc、e
口腔衛生 7	村田貴俊	口腔衛生学7	7A 疫学1	7Aa 健康・疾病の指標  7Ab 疫学研究のデザイン  7Ac 疫学の効果指標	7Aa① 有病率、罹患率を説明できる。 7Aa② 年齢調整死亡率を説明できる。 7Ab① 観察研究、介入研究を説明できる。 7Ac① 相対危険を説明できる。 7Ac② 寄与危険を説明できる。 7Ac③ オッズ比を説明できる。	事前に教科書で予習すること。受講に際しては、指定教科書を用意すること。講義の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は講義担当教員に個別に質問すること。 【コアカリキュラム】 B-4-2)③④ 【国家試験出題基準】 総I6アabcdef、 総I6イa

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口腔衛生 8	村田貴俊	口腔衛生学8	8A 疫学2	8Aa 統計解析の基礎  8Ab スクリーニング  8Ac EBMの実践	8Aa① 正規分布を説明できる。 8Aa② 代表値を説明できる。 8Aa③ t検定を説明できる。 8Aa④ カイ二乗検定を説明できる。 8Ab① 感度、特異度、カットオフ値を説明できる。 8Ac① エビデンスレベルを説明できる。 8Ac② EBMの手順を説明できる。	事前に教科書で予習すること。受講に際しては、指定教科書を用意すること。講義の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は講義担当教員に個別に質問すること。 【コアカリキュラム】 A-8-1)①～③、 A-9-1)①～④、 B-4-1)①②、 B-4-2)①④ 【国家試験出題基準】 総I 6アabcdef、 総I 7a
口腔衛生 9	山田秀則	口腔衛生学9	9A 地域保健1	9Aa 母子保健  9Ab 学校保健  9Ac 産業保健	9Aa① 母子保健法に基づく事業を説明できる。 9Aa② 児童福祉法を説明できる。 9Aa③ 児童虐待防止法を説明できる。 9Ab① 学校保健安全法に基づく事業を説明できる。 9Ab② 学校保健の領域を説明できる。 9Ab③ 学校感染症を説明できる。 9Ac① 労働安全衛生法に基づく事業を説明できる。 9Ac② 産業衛生の3管理を説明できる。 9Ac③ 職業関連疾患を説明できる。 9Ac④ THPを説明できる。	事前に教科書で予習すること。受講に際しては、指定教科書を用意すること。講義の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は講義担当教員に個別に質問すること。 【コアカリキュラム】 A-6-3)①～⑥、 B-2-1)⑤、 B-2-2)⑥ 【国家試験出題基準】 必3イb、 総I 2アabcdefg、 総I 2イabcdefg、 総I 2ウabcdefg
口腔衛生 10	山田秀則	口腔衛生学10	10A 地域保健2	10Aa 成人保健  10Ab 高齢者保健 10Ac 障害者保健・精神保健福祉  10Ad 国際保健	10Aa① 健康増進法に基づく事業を説明できる。 10Aa② 特定健康診査・特定保健指導を説明できる。 10Ab① 高齢者保健の現状を説明できる。 10Ac① 障害者総合支援法を説明できる。 10Ac② 自立支援医療を説明できる。 10Ac③ 精神保健福祉法を説明できる。 10Ad① 国際保健機関を説明できる。 10Ad② わが国の2国間援助を説明できる。 10Ad③ わが国の多国間援助を説明できる。	事前に教科書で予習すること。受講に際しては、指定教科書を用意すること。講義の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は講義担当教員に個別に質問すること。 【コアカリキュラム】 A-7-1)③、A-7-2)③～⑤、 B-2-1)⑤、B-2-2)④～⑧ 【国家試験出題基準】 必3アa～f、 必3イa～h、 総I 1 Ia、 総I 2 I abc、 総I 2 才abcd、 総I 2 カabcde、 総I 5 アabcd



回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口腔衛生 11	梁 洪淵	口腔衛生学11	11A 国民の生涯にわたる歯科保健制度	11Aa 母子保健制度と母子歯科保健	11Aa① 母子保健制度と乳幼児期の歯科保健指導を説明する。 11Aa② 1歳6か月歯科健康診査、3歳児歯科健康診査を説明する。	5年生までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 B-1②、 B-2-1)⑤、 B-2-2)①④⑤⑧ E-4-2)①②、 E-5-1)③⑦ 【歯科医師国家試験出題基準】 必2イc～g、 総I1ウa～d、 総I1エa～j、 総I1カa～c、 総I2オa～d、 総I4アab、
				11Ab 学校保健制度と学校歯科保健	11Ab① 学校歯科健康診断(歯・口くうの健康診断)を説明する。	
				11Ac 生涯にわたる歯科保健制度	11Ac① 産業保健制度と3管理、職業性疾病、THPを説明する。 11Ac② 「歯科口腔保健の推進に関する法律」と「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」を説明する。 11Ac③ 「健康日本21(第二次)」の「歯・口腔の目標」を説明する。 11Ac④ 成人期以降のわが国の健康施策と法的根拠を説明する。 11Ac④ 成人期以降のわが国の健康施策と法的根拠を説明する。	
			11B 地域歯科保健活動体制	11Ba.保健所と市町村保健センター 11Bb.口腔保健センターと口腔保健支援センター	11Ba① 保健所と市町村保健センターの役割を相違点をあげて説明する。 11Bb① 口腔保健センターと口腔保健支援センターの役割を相違点をあげて説明する。	
口腔衛生 12	梁 洪淵	口腔衛生学12	12A 口腔保健活動と疫学	12Aa 国民の口腔保健情報	12Aa① わが国の口腔保健の統計調査を列挙する。 12Aa② わが国の口腔保健に関する情報を概説する。 12Aa③ 平成28年度歯科疾患実態調査を説明する。	5年生までの学習で用いた教科書、ノート、プリント等の資料の内容を見返しておくこと。受講に際しては指定の教科書を用意すること。受講後には講義内容を復習し、理解の充足に努めること。受講後にmanaba等による課題が与えられた場合は指定期限までに修了すること。 【コアカリキュラム】 A-2-2)①、B-4-1)①④、 B-4-2)② 【歯科医師国家試験出題基準】 総I6ウb



回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
口腔衛生 13	山田秀則	口腔衛生学13	13A 保健・医療・福祉の制度	13Aa 社会保障制度	13Aa① わが国の社会保険制度を説明できる。 13Aa② わが国の社会福祉制度を説明できる。 13Aa③ わが国の公的扶助を説明できる。 13Aa④ わが国の保険医療制度を説明できる。 13Aa⑤ わが国の公衆衛生施策を説明できる。 13Aa⑥ 後期高齢者医療制度を説明できる。 13Aa⑦ 介護保険制度を説明できる。 13Aa⑧ 地域包括ケアシステムを説明できる。	事前に教科書で予習すること。受講に際しては、指定教科書を用意すること。講義の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は講義担当教員に個別に質問すること。 【コアカリキュラム】 A-7-1)③、 B-2-1)⑤、 B-2-2)④⑥、 B-2-2)①③④⑥⑧ 【国家試験出題基準】 必2イf、 総11ウa～d、 総11エa-j、 総11オa～c
口腔衛生 14	山田秀則	口腔衛生学14	14A 保健・医療・福祉の制度	14Ab 医療経済 14Ac 医療法と医療体制 18Ad 歯科医療関連法規	14Ab① 国民医療費を説明できる。 14Ac① 医療の安全の確保を説明できる。 14Ac② 医業の広告を説明できる。 14Ac③ 医療施設を説明できる。 14Ac④ 医療計画を説明できる。 14Ad① 医療関連職種的身分法を説明できる。 14Ad② 薬事関連法規を説明できる。	事前に教科書で予習すること。受講に際しては、指定教科書を用意すること。講義の理解を図るため必ず復習すること。理解が不十分な場合は講義担当教員に個別に質問すること。 【コアカリキュラム】 A-6-1)⑤⑥、 A-6-2)②、 A-6-3)①～⑤、 A-7-1)①②⑤⑥、 B-2-1)①～④⑥⑦、 B-2-2)②⑨ 【国家試験出題基準】 必2イg、必2カa～g、 総11エabcdefghij、 総14アab

指導教員：山田秀則、梁 洪淵、村田貴俊

参考書：「口腔保健・予防歯科学」

医歯薬出版

第2版

ISBN：ISBN978-4-263-45897-6

「公衆衛生がみえる2022-2023」

医療情報科学研究所 編

メディックメディア

第5版

ISBN：978-4-89632-858-5

# 総合歯科医学Ⅵ（口腔インプラント学）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
インプラント 1	小久保裕司	1. インプラント義歯による治療 1	1 A 口腔インプラント用材料 1 B インプラント義歯の設計	1 Ba 上部構造の設計（診断用セットアップ, 診断用ステントの製作, インプラント体の選択）  1 Bb 埋入計画の立案	1 A① 口腔インプラント用材料について説明できる。 1 Ba①口腔インプラントの種類, 特徴, 目的及び意義を説明できる。 1 Ba②口腔インプラントの適応症を説明できる。 1 Ba③口腔インプラントに必要な診察と検査を説明できる。 1 Bb①口腔インプラントの治療計画, 治療手順を説明できる。 1 Bb②コンピューター支援手術について説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answer2022, Vol.10 4-9, P.582-630など）を用いて到達度の確認を行うこと。  D-2 ⑤, E-3-4)-(3)①～④  必修11セ], 総論Ⅷ11ア, 各論Ⅳ6アa～c, 各論Ⅳ6イa,b
インプラント 2	小久保裕司	1. インプラント義歯による治療 2	1C 臨床操作（外科処置）	1 Ca インプラント埋入手術（一次手術） 1 Cb オッセオインテグレーションの獲得（初期固定, 生物学的固定） 1 Cc 二次手術	1 Ca①インプラント体の埋入手術方法を説明できる。 1 Cb①咬合負荷までの期間について説明できる  1 Cc① 2次手術について説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answer2022, Vol.10 4-9, P.582-630など）を用いて到達度の確認を行うこと。  E-3-4)-(3)⑤  各論Ⅳ6ウa,b
インプラント 3	積田光由	1. インプラント義歯による治療 3	1 D 臨床操作（補綴処置）  1 E 技工操作	1 Da 印象採得 1 Db プロビジョナルレストレーション 1 Dc 顎間関係の記録 1 Dd 患者情報の記録と伝達 1 De 装着  1 Ea セメント固定式上部構造の製作（既製アバットメント, カスタムアバットメント） 1 Eb スクリュー固定式上部構造の製作	1 D①口腔インプラントの印象採得と咬合採得を説明できる。 1 D②口腔インプラントにおけるプロビジョナルレストレーションについて説明できる。 1 D③口腔インプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。 1 E①セメント固定式上部構造の特徴について説明できる。 1 E②スクリュー固定式上部構造の特徴について説明できる。 1 E③既製アバットメントとカスタムアバットメントについて説明できる。	予習：「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習：過去問（Answer2022, Vol.10 4-9, P.582-630など）を用いて到達度の確認を行うこと。  E-3-4)-(3)⑥⑦  各論Ⅳ6ウc～g, 各論Ⅳ6イa,b

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
インプラント 4	積田光由	1. インプラント義歯による治療 4	1 F リコールとメインテナンス 1 G トラブルと合併症	1 Fa ホームケア, プロフェッショナルケア 1 Ga トラブルとその対応 1 Gb インプラント支持療法	1 Fa①メインテナンスの重要性を説明できる。 1 Ga①手術中, 手術直後のトラブルと合併症について説明できる。 1 Ga②上部構造装着後のトラブルと合併症について説明できる。 1 Gb①インプラント支持療法について説明できる。	予習: 「よくわかる口腔インプラント学」第3版の当該項目を復習しておくこと。 復習: 過去問 (Answer2022, Vol.10 4-9, P.582-630など)を用いて到達度の確認を行うこと。 E-3-4)-(3)⑧ 各論IV 8 アイ, オf

指導教員: 小久保裕司、積田光由

参考書: よくわかる口腔インプラント学 (第3版) 医歯薬出版 赤川安正ら 編  
ISBN: 978-4-263-45640-8

# 総合歯科医学Ⅵ（一般教養的事項）

## ■ 授業日程

回数	担当教員	大項目	中項目	小項目	学習目標	準備学習
教養 1	阿部道生	1 一般教養的知識	1 A 地球環境の変化 1 B 生活環境と健康	1 Aa 環境の評価 1 Ba 環境基準 1 Bb 環境による健康への影響	1 Aa①環境汚染の種類を列記する。 1 Ba①環境についての基準を説明する。 1 Ba①国際的な環境保護の取り組みについて説明する。 1 Bb①国際的な環境基準について説明する。	予習：代表的な環境基準について復習しておくこと。環境についての国際的な取り決めについて復習しておくこと。 復習：地球環境の基準についての国際的取り決めを説明する。環境汚染を分類し、説明する。 B-2-4) ①② 歯科医学総論I-8-アa～g

指導教員：阿部道生

参考書：ヒトの生命科学 医歯薬出版  
ISBN：978-4263222775